取扱説明書

はじめに

ハードディスクレコーダー一体型 DVD プレーヤー

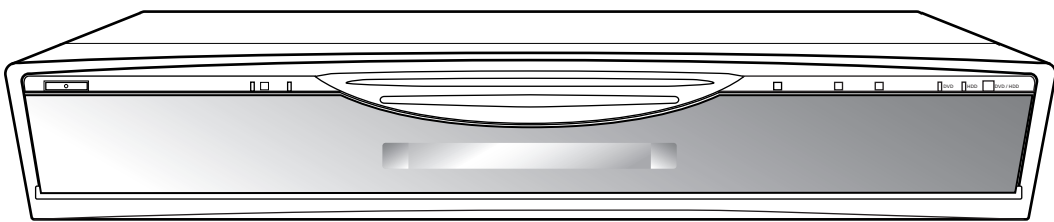
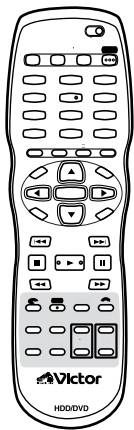
型名 XV-HDV1

設置と準備

HDDレコーダー編

DVDプレーヤー編

HDD G-CODE® DVD VIDEO™ COMPACT disc SUPER VIDEO

知っておいて欲しいこと

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に4～7ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LET0225-003C

もくじ

はじめに　ページ

設置と準備　ページ

HDDレコーダー編　ページ

DVDプレーヤー編　ページ

知っておいて欲しいこと　ページ

この取扱説明書の見かた

■ 本文中では、おもにリモコンのボタンを使って説明しています。
■ ボタン名称については[ ]で囲って表記している場合があります。
　例　メニューボタン→[メニュー]
■ 本文中の記号の見かた

:HDDレコーダーの動作または操作についての説明です。

:DVDプレーヤーの動作または操作についての説明です。

ご注意 :操作上の注意などが書かれています。

お知らせ :機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

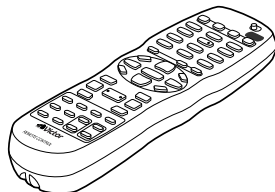
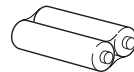
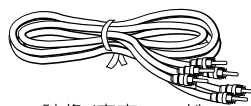
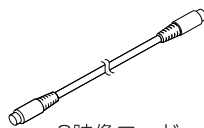
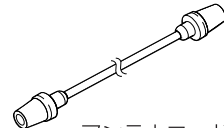
➡ :参照ページや参照項目を示しています。

DVDプレーヤーの機能の中には、ディスクの種類によっては使えないものもあります。次のマークは、どのディスクで使える機能なのかを示すためのものです。

例:

例は、オーディオCDでは使えない機能を意味しています。

付属品をご確認ください

■ 本機をお使いになる前に、同梱の付属品をお確かめください。

リモコン(RM-SXV025D)

単3形乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)

映像/音声コード

S映像コード

アンテナコード

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

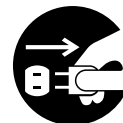
行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

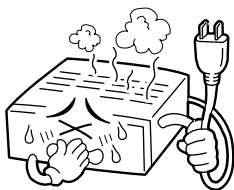
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

• 煙が出ている、へんなにおいがするとき

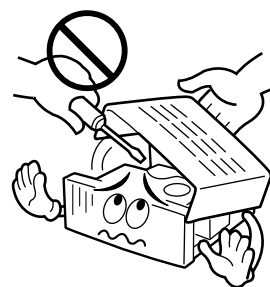
電源プラグを抜く

• 内部に水や異物が入ってしまったとき
• 落としたり、破損したとき
• 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

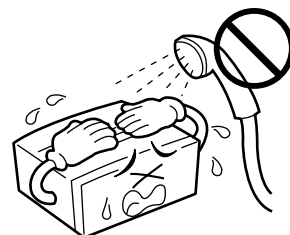
すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

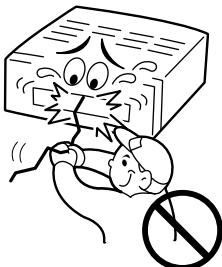
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

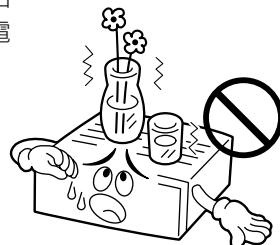
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

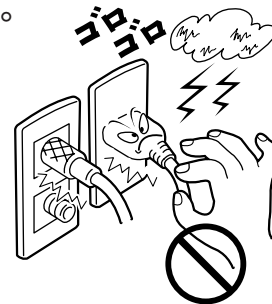
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

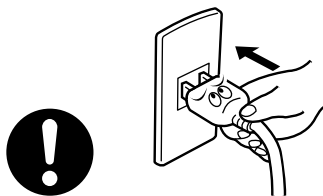
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

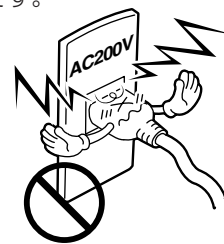
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災·感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

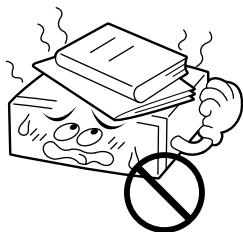
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置する場合は、壁から１０ｃｍ以上離してください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

設置場所に注意する。

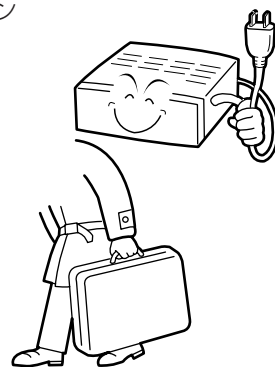
次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

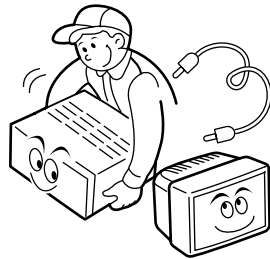
電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

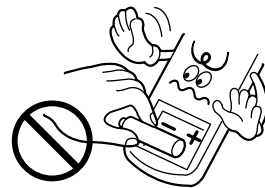
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない

- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

設置についてのご注意

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- 不安定な所
- 振動の激しい所
- 湿気やほこりの多い所

寒い所から急に暖かい部屋へ移動したときは、約1～2時間待ってから電源を入れてください。

使用上のご注意

ご使用の前にお読みください。

設置する際のご注意

■ 本機はハードディスクを搭載しています。ハードディスクは微細な磁気変化を読みとる装置で、内部は精密な構造になっていますので次の点に注意して設置してください。

- **振動する場所、ちりやほこりの多いところなどで使用しない。**
- **温度差の激しいところ、湿気の多いところに置かない（結露することがあります）。**
- **本体背面の冷却ファンの排熱孔をふさぐような場所に設置したり、本体を囲うような収納は避ける。**
- **縦置きなどで使用しない。**

ご使用になる際のご注意

■ 本機は電源が「入」の状態では、常にハードディスクが高速で回転しています。

このためご使用になるときは、特に次の点にご注意ください。

- **振動や衝撃をあたえない。**
  無理な衝撃を与えると記録されているデータが損なわれるだけではなく、ハードディスクそのものを破損する恐れがあります。
- **強い磁気をもっているもの、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近づけない。**
  ハードディスクに記録されているデータが損なわれることがあります。
- **本機の電源が入っているときに電源プラグを電源コンセントから抜かない。**
  ハードディスクの動作中に電源プラグを抜くと、ディスクを傷めることがあります。また、保存されたデータを損なう原因となることがあります。必ず電源ボタンを押して電源「切」にしてから電源プラグを抜いてください。
- **温度差の激しいところ、湿気の多いところに置かない（結露することがあります）。**
  - **結露（つゆつき）について**
    よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「結露」（またはつゆつき）といいます。
  - **結露（つゆつき）が発生すると**
    ハードディスクに水滴が付き、ハードディスクを傷めてしまいます。
  - **次のようなときは、結露（つゆつき）になりやすい**ので、ご注意ください。
    - 本機を、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
    - 急に部屋を暖房したとき
    - エアコンなどの冷風が直接当たるところ
    - 湿気の多いところ
  - **結露（つゆつき）状態になりそうなときは、**あらかじめ本機の電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
  - 再生ができないなどの症状が出たら、結露の可能性があります。数時間待ってからご使用ください。

■ HDD側を選んで視聴するときは、実際の放送と時間的なズレがあります。

これは、受信した映像を一度ハードディスクに書き込んでから再生するためで、時間の遅れは約3秒間になります。また、電源を入れると、受信した映像が画面に出るまで約30秒が必要になります。それまでは操作ができません。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて、動作させてください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書きに従ってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナについて

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをお勧めします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

録画の前にお読みください

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。

内容の補償について

■ 万一、本機の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
■ 本機の使用中に停電などが起こったときは、記録されているデータなどが損なわれることがあります。
ハードディスクに録画した番組は、早めにビデオカセットにダビングするなど、ハードディスクの破損に備えることをお勧めします。
■ ハードディスクが破損したとき、録画されていた番組やデータの修復はできません。

お知らせ

- 本機搭載のDVDプレーヤーからHDDレコーダーへの録画はできません。

著作権保護技術について

本機は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

著作権について

- 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を録画・ダビングできません。
- 本機で録画・編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類とマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVD VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ*
スーパービデオCD/ビデオCD Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ*
オーディオCD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	12センチと8センチ*

＊本機は8センチディスクをアダプター(CDシングルアダプター)なしで再生してください。アダプターをつけた状態では再生できません。

次のディスクも再生できます。

- DVDビデオのフォーマットで記録し、ファイナライズされたDVD-R/RWディスク
- 音楽用のCDフォーマット(ファイナライズされたディスクに限ります)あるいはMP3フォーマット、JPEG(ジェイペグ)フォーマットで記録されたCD-R/RWディスク

ご注意

- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCD など)は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。

お知らせ

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。
  本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。このようなときは、テレビ画面に「⊘」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
  CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、
  CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE(ミックス モード) CD

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

・VRフォーマットで記録されたDVD-RW
・DVDオーディオ　・DVD-ROM(ロム)　・DVD-RAM(ラム)
・CD-ROM(ロム)　・SACD　・フォトCD

お知らせ

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、国や地域ごとに割り当てられている番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるDVDビデオの表示例

テレビ方式について

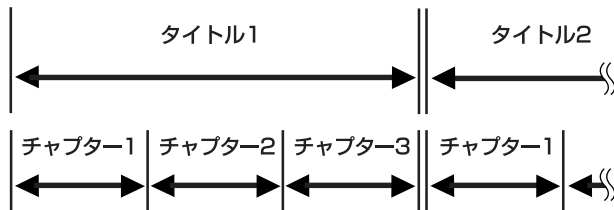
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PAL(パル)など)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

お知らせ

- NTSC方式以外のテレビ方式(PALなど)で収録されたディスクを再生するときは、プログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。

ディスクの構成

DVDビデオ

多くのDVDビデオは、**「タイトル」**と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに**「チャプター(章)」**という小さな単位に分割されています。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号(タイトル番号、チャプター番号)が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。

お知らせ

・ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

次ページに続く

はじめに

ディスクの構成(つづき)

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD

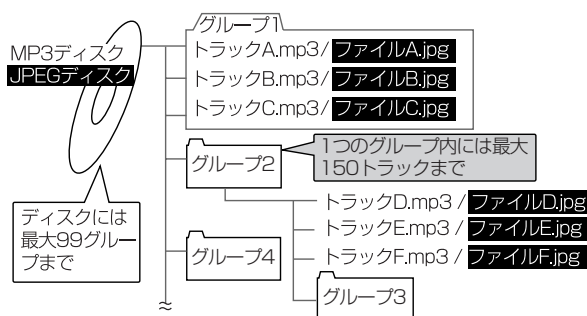
これらのディスクは、**「トラック」**と呼ばれる単位から構成されていて、それぞれのトラックには番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目は、「トラック2」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

お知らせ

- ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。
  本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません。

MP3ディスク/JPEG(ジェイペグ)ディスク

本機はMP3ファイル、JPEGファイルを記録したCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。(本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」「JPEGディスク」と呼びます)

MP3ディスク/JPEGディスクには、それぞれの曲または映像が「**トラック/ファイル**」として記録されています。また、複数のトラック/ファイルをジャンル別、アーティスト別などの「**グループ(フォルダ)**」にまとめて分類できます。さらに「グループの中にグループ」を作ることにより、グループ/トラックの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ/ファイルの階層と同じです。

お知らせ

- ファイルが入っていないフォルダは、グループとして認識されません。
- フォルダに入っていないファイルはグループ1のトラックまたはファイルとして扱われます。
- 本機は、1 枚のディスク内に最大99のグループ、各グループ内に最大150のトラック/ファイルが認識できます。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またグループ(フォルダ)内にMP3/JPEG以外のファイルが含まれるとき、認識できるファイル数が150に満たないことがあります。

MP3/JPEGディスクやファイルについて

ディスクについて

- MP3/JPEGディスクは、ISO9660フォーマットで記録されている必要があります。パケットライト(UDFフォーマット)方式で記録されたディスクは、再生できません。
- 本機はマルチセッションで記録されたディスクの再生に対応しています。

ファイル名について

- MP3ファイルには「.mp3」、JPEGファイルには「.jpg」または「.jpeg」の拡張子が必要です。(拡張子に、大文字小文字が混在していても可)
- MP3/JPEG ファイルのファイル名に半角英数字以外の文字が使われていると、MP3コントロール画面(➡ **88** ページ)やJPEGコントロール画面(➡ **88** ページ)にトラック/ファイル名が正しく表示されないことがあります。

再生について

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3ファイルとJPEGファイルの両方が収録されているディスクは、初期設定でどちらのファイルを再生するか選択します。(➡ **40** ページ)
  MP3/JPEGディスクが入っていると初期設定画面が表示できませんので、ご注意ください。
- MP3コントロール画面に表示されるトラック/グループの順序、およびJPEG コントロール画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。
- MP3ディスクのグループ/トラックやJPEGディスクのファイルの、プログラム/ランダム再生はできません。

MP3ディスクについて

- MP3ファイルのID3タグには対応していません。
- MP3ファイルがサンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたMP3ディスクを推奨します。

JPEGディスクについて

- JPEGファイルの解像度は「640 ×480」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、水平解像度が2400ピクセルを超える画像は表示できません。
- JPEGディスクをスライドショー再生(➡ **89** ページ)しているとき、スクリーンセーバー機能は働きません。
- 本機で再生できるJPEGファイルはベースライン方式です。
- 再生できないJPEGファイルの場合は、黒い画面になります。

オーディオフォーマットについて

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声の信号には、次の3 種類のフォーマットがあります。

ドルビーデジタル (Dolby Digital)

サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、フロント2ch、センター1ch、リア2chおよびサブウーハー0.1ch の5.1ch まで対応しています。
ただし、全てのドルビーデジタルディスクが5.1ch で収録されているとは限りません。

DTS Digital Surround（サラウンド）

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1ch です。音声データの圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。ただし、全てのDTS 対応のディスクが5.1ch で収録されているとは限りません。

リニアPCM

主にCDなどで使われているデジタル信号方式の一つです。

お知らせ

- フォーマット、および本機と接続するデジタル音声機器に応じて、初期設定の「音声設定画面」で「デジタルOUT」の設定を変更する必要があります。詳しくは、**41**、**42**ページをご覧ください。

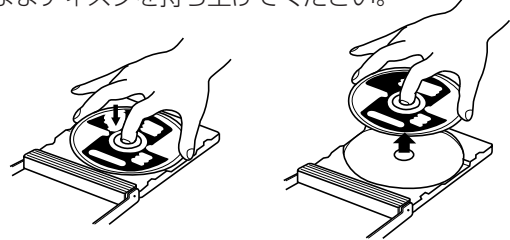
商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル・シアター・システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTS およびDTS Digital Surround は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。
- 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送は録画・ダビングできません。
- 本機で録画・編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

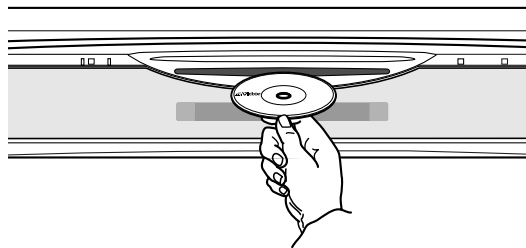
ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。

- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面（文字の書かれていない面）を汚したり、ラベル面（文字の書かれている面）に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

8センチディスクの取り出しかたについて

8センチディスクを取り出すときは、下図のようにディスクの端を持って取り出してください。ディスクにほこりや指紋などが付いた場合には、下記「ディスクのクリーニング」をご覧ください。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

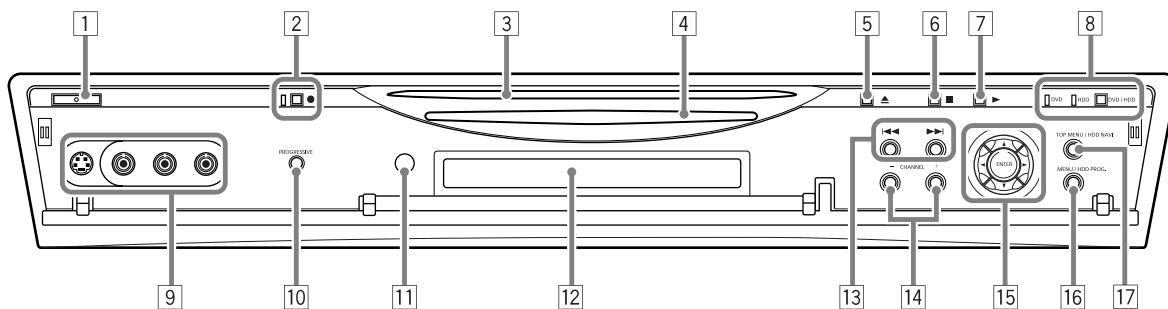
- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

各部の名称

本体前面（パネルを開けたところ）

1 ⏻/I STANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタン　（➡ **23**ページ）
本機の電源を「入/切」するとき押します。

2 ●（録画）ボタン　（➡ **43**ページ） HDD
録画を始めるとき押します。録画中にくり返し押すと、録画時間が30分単位で設定できます。

録画ランプ
録画中に点灯します。
ワンタッチタイマー録画中は点滅します。

3 イルミネーションランプ　（➡ **22**、**23**ページ）
電源が「入」のとき点灯します。

4 ディスク挿入口　（➡ **73**ページ） DVD
途中までディスクを入れると、自動的に引き込まれます。

5 ⏏（取り出し）ボタン　（➡ **73**、**91**ページ） DVD
ディスクを取り出すとき押します。

6 ■（停止）ボタン　（➡ **43**、**44**、**67**ページ） HDD
（➡ **74**、**88**ページ） DVD
再生や録画をやめるとき押します。

7 ►（再生）ボタン　（➡ **43**、**44**、**67**ページ） HDD
（➡ **73**、**88**ページ） DVD
再生を始めるとき押します。

8 DVD/HDDボタン　（➡ **23**、**91**ページ）
DVDプレーヤー側またはHDDレコーダー側に切り換えるとき押します。押すごとに交互に切り換わります。

DVDランプ
DVDプレーヤー側を選んだとき点灯します。

HDDランプ
HDDレコーダー側を選んだとき点灯します。

9 INPUT(インプット) F-1入力端子　（➡ **72**ページ） HDD
ビデオカメラなどの映像をダビングするとき使います。映像接続のあと、HDD設定画面で「映像入力F-1」の設定を変更する必要があります。

10 PROGRESSIVE(プログレッシブ)ボタン　（➡ **79**ページ） DVD
DVDプレーヤーのスキャンモードを切り換えます。
「プログレッシブ」に設定すると点灯します。

11 リモコン受光部　（➡ **22**ページ）
リモコンを使うときは、ここに向けて操作します。

12 本体表示窓　（➡ **13**ページ）

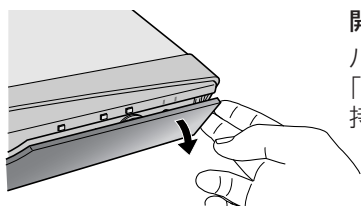
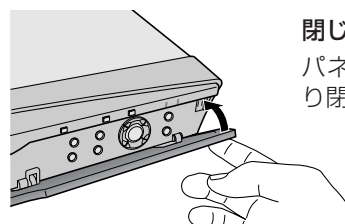
13 ⏮（早戻し）ボタンと⏭（早送り）ボタン
（➡ **66**ページ） HDD
（➡ **75**、**76**、**88**ページ） DVD
早戻し、早送りなどをするとき押します。

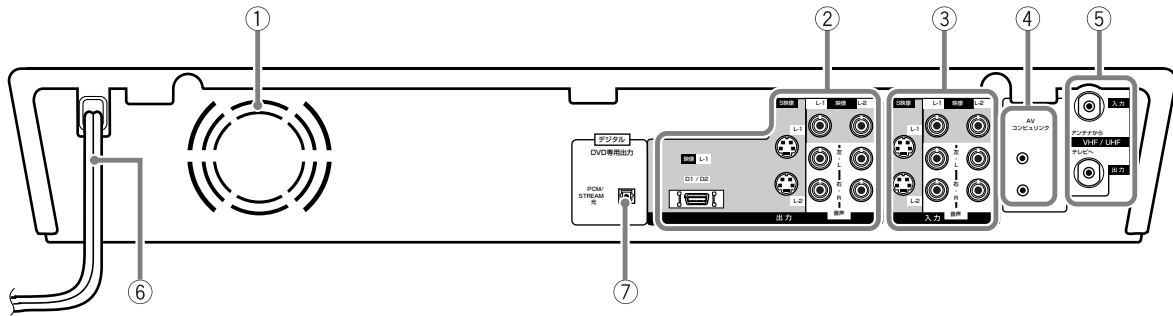
14 CHANNEL(チャンネル) ＋/－ボタン　（➡ **43**ページ） HDD
受信チャンネルを切り換えるとき押します。

15 メニュー操作ボタン HDD
（カーソルボタンとENTER(エンター)ボタン） DVD
メニュー操作や設定を決定するとき使います。

16 MENU(メニュー)/HDD PROG.(プログラム)ボタン　（➡ **51**ページ） HDD
（➡ **77**ページ） DVD
DVDのメニュー画面やHDD録画一覧画面を呼び出すとき使います。

17 TOP(トップ) MENU(メニュー)/HDD NAVI(ナビ)ボタン
（➡ **51**ページ） HDD
（➡ **77**ページ） DVD
DVDのメニュー画面やHDD録画一覧画面を呼び出すとき使います。

本体パネルの開閉について

開けるときは
パネル上部左端にある「PULL-OPEN」付近を持って、ゆっくり開けます。

閉じるときは
パネルを支えてゆっくり閉じます。

本体背面

① **通風孔**
本体内部には冷却用ファンがあります。ふさがないようにしてください。また、本体内部の温度によっては電源を「切」にしても、しばらく冷却用ファンが回転する場合があります。

② **出力端子 L-1/L-2　(➡ 19、21、71ページ)**
テレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどの入力端子とつなぎます。
音声出力: 左·L、右·R
映像出力: 映像、S映像、D映像(D1/D2)

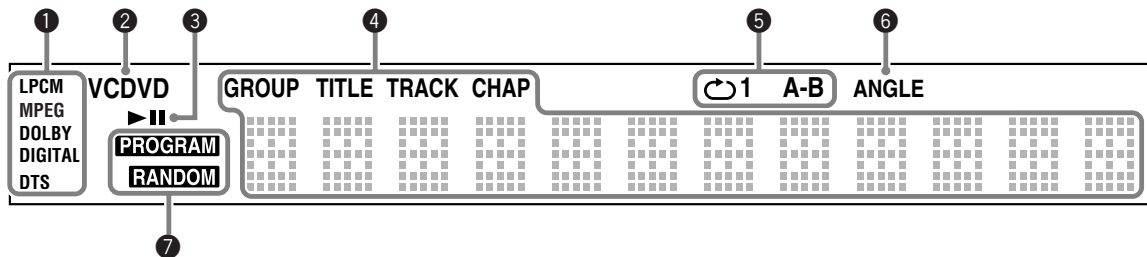
③ **入力端子 L-1/L-2　(➡ 18、20ページ)**
BSチューナー、CSチューナー、ビデオデッキ、AVアンプなどの出力端子とつなぎます。
音声入力: 左·L、右·R
映像入力: 映像、S映像

④ **AVコンピュリンク端子　(➡ 93ページ)** DVD
ビクター製のテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどと接続して、連携動作をするときつなぎます。

⑤ **アンテナ入出力端子　(➡ 16、17ページ)**
VHF/UHF入力端子(アンテナから):
VHF/UHFアンテナ線をつなぎます。
VHF/UHF出力端子(テレビへ):
テレビのVHF/UHF入力端子とつなぎます。

⑥ **電源コード　(➡ 22ページ)**

⑦ **DVD専用出力·光デジタル端子 (➡ 21ページ)** DVD
DVDプレーヤーからの音声信号を出力します。MDレコーダー、CDレコーダー、デコーダー内蔵のAVアンプなどとつなぎます。
出力信号の設定ができます。(➡ **41**ページ)

本体表示窓

❶ **オーディオフォーマット表示 (➡ 11ページ)**
再生中のディスクの音声記録方式を表示します。

表示	音声記録方式
LPCM	リニアPCM
MPEG	MPEG(Moving Picture Experts Group)
DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル
DTS	DTS DIGITAL SURROUND

❷ **ディスクタイプ表示　(➡ 73ページ)**
ディスクが入っているとき、ディスクの種類を表示します。DVDビデオのときは「DVD」、ビデオCDまたはスーパービデオCDのときは「VCD」、オーディオCDやMP3/JPEGディスクのときは「CD」が点灯します。

❸ **►/II表示　(➡ 73ページ)**
再生中は「►」、一時停止中は「II」が点灯します。

❹ **マルチ情報ウィンドウ**
現在時刻、チャンネル、グループ/タイトル/トラック/チャプター番号、再生時間、状態などを表示します。
ソースがHDDレコーダーのときは、**[表示切換]**を押すごとに、チャンネルと時刻が交互に表示されます。録画中は切り換えられません。

❺ **リピート再生モード表示 (➡ 85、89ページ)**
現在のリピート再生のモードを表示します。

❻ **ANGLE(アングル)表示　(➡ 74ページ)**
再生中の映像に複数のアングルが含まれているとき点灯します。

❼ **PROGRAM(プログラム)/RANDOM(ランダム)表示(➡ 86、87ページ)**
プログラム再生モード中やランダム再生モード中に、それぞれの表示が点灯します。

リモコン(HDDレコーダー操作)

① **リモコン切換スイッチ** **(➡ 23ページ)**

ＨＤＤレコーダーを操作するときは、「HDD」側にスライドさせます。

DVD HDD •TV

TVを操作するときは、「TV」の位置にスライドさせます。
名前に「•」印がついているボタンが、TV操作のために使えるようになります。

② **設定ボタン** **(➡ 25〜36ページ)**
HDDレコーダーの設定を変更するとき押します。
設定メニューが現れます。

③ **数字ボタン(1〜9、10、0/11、12)** **(➡ 28、47ページ)**
受信チャンネル切換や受信チャンネル設定をするとき押します。
Gコード予約をするときも使います。

④ **音声ボタン** **(➡ 70ページ)**
二カ国語放送などの音声を切り換えます。

⑤ **さがすボタン** **(➡ 51〜53ページ)**
見たい番組を探すとき押します。

⑥ **メニュー操作ボタン**

⑦ **戻るボタン**
メニュー操作で一つ前の画面に戻ります。

⑧ **操作ボタン**
前スキップ(|◀◀)、次スキップ(▶▶|) (➡ **66**ページ)
停止(■) (➡ **43**、**44**、**67**ページ)
再生(▶) (➡ **43**、**44**、**67**ページ)
一時停止(❚❚) (➡ **44**、**65**ページ)
早戻し/スロー(−)(◀◀)、早送り/スロー(+)(▶▶) (➡ **44**、**65**ページ)

⑨ **(チョット見バック)ボタン** **(➡ 65ページ)**
再生中の映像を約7秒前に戻します。

⑩ **録画ボタン** **(➡ 43ページ)**
録画をするとき使います。

⑪ **整理ボタン** **(➡ 54〜62ページ)**
録画した番組の情報を修正したり、プレイリストの編集をするとき押します。

⑫ **オンエアボタン** **(➡ 23、44、67ページ)**
時間差再生中に押すと、放送受信画面に戻ります。

⑬ **表示切換ボタン** **(➡ 13ページ)**
本体表示窓の表示内容を切り換えます。

⑭ **電源ボタン** **(➡ 23ページ)**
電源を「入/切」するとき使います。

⑮ **入力切換ボタン** **(➡ 24ページ)**
TVの入力を切り換えるとき押します。

⑯ **予約ボタン** **(➡ 47〜49ページ)**
番組を録画予約するとき押します。

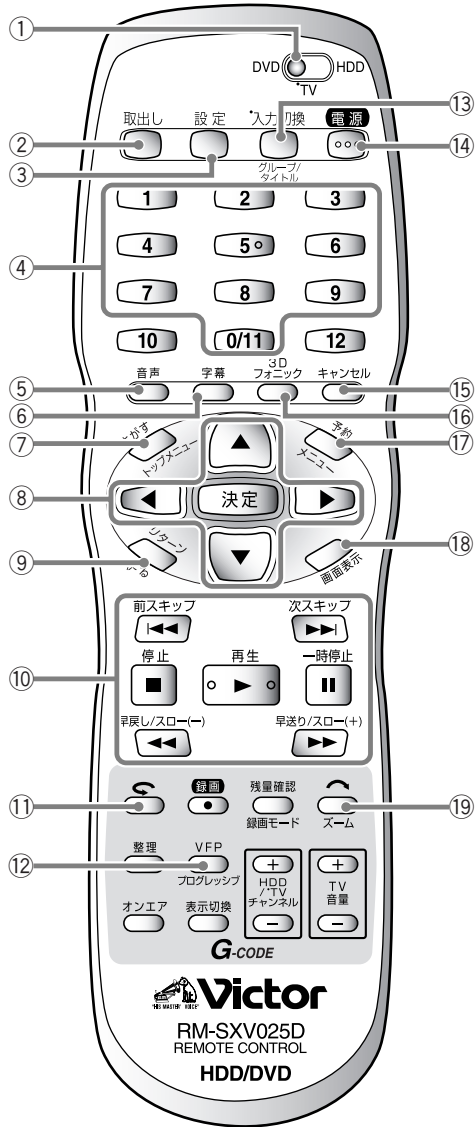
⑰ **画面表示ボタン** **(➡ 64ページ)**
テレビ画面にオンスクリーン情報を表示させるとき押します。もう一度押すと消えます。

⑱ **残量確認/録画モードボタン** **(➡ 43、45ページ)**
HDDレコーダーの録画残量を確認したり、録画モードを切り換えるとき押します。

⑲ **(CMスキップ)ボタン** **(➡ 67ページ)**
再生中の映像を約30秒先にスキップします。

⑳ **TV音量+/−ボタン** **(➡ 24ページ)**
TVの音量を調節するとき押します。リモコン切換スイッチの位置に関係なく操作できます。

㉑ **HDD/TVチャンネル+/−ボタン** **(➡ 24、28、44ページ)**
本機が受信中の放送局を切り換えたり、TVのチャンネルを切り換えるとき押します。

リモコン(DVDプレーヤー操作)

① **リモコン切換スイッチ　(➡ 23ページ)**
DVD ○← HDD ・TV　DVDプレーヤーを操作するときは、「DVD」側にスライドさせます。

② **取出しボタン　(➡ 73、91ページ)**
ディスクを取り出すとき押します。

③ **設定ボタン　(➡ 39ページ)**
DVDプレーヤーの設定を変更するとき押します。
設定メニューが現れます。

④ **数字ボタン(1〜9、0/11)(➡ 76、77ページ)**
トラックやチャプターを指定して再生するとき押します。

⑤ **音声ボタン　(➡ 80ページ)**
音声言語を切り換えるとき押します。

⑥ **字幕ボタン　(➡ 80ページ)**
字幕言語を切り換えるとき押します。

⑦ **トップメニューボタン　(➡ 77ページ)**
DVDメニューやビデオCDのメニュー画面を表示させるとき押します。

⑧ **メニュー操作ボタン**

⑨ **リターンボタン　(➡ 77ページ)**
ビデオCDやスーパービデオCDでメニュー画面を表示させるとき押します。

⑩ **操作ボタン**
前スキップ(|◀◀)、次スキップ(▶▶|)　(➡ **75**、**76**、**88**ページ)
停止(■)　(➡ **74**、**88**ページ)
再生(▶)　(➡ **73**、**88**ページ)
一時停止(❚❚)　(➡ **76**ページ)
早戻し/スロー(−)(◀◀)、早送り/スロー(+)(▶▶)　(➡ **75**、**76**ページ)

⑪ **(チョット見バック)ボタン　(➡ 75ページ)**
再生中の映像を約10秒前に戻します。

⑫ **VFP/プログレッシブボタン(➡ 79、82ページ)**
画質を調節したりスキャンモードを切り換えるとき押します。

⑬ **グループ/タイトルボタン　(➡ 76、89ページ)**
DVDのタイトルを選んだり、MP3/JPEGディスクのグループを選ぶとき押します。

⑭ **電源ボタン　(➡ 23ページ)**
電源を「入/切」するとき使います。

⑮ **キャンセルボタン　(➡ 86ページ)**

⑯ **3Dフォニックボタン　(➡ 81ページ)**
DVD再生中にサラウンドの効果を出すとき押します。

⑰ **メニューボタン　(➡ 77ページ)**
DVDメニューやビデオCDやスーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)機能を使うとき押します。

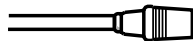
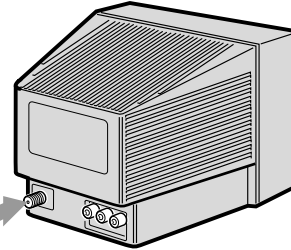
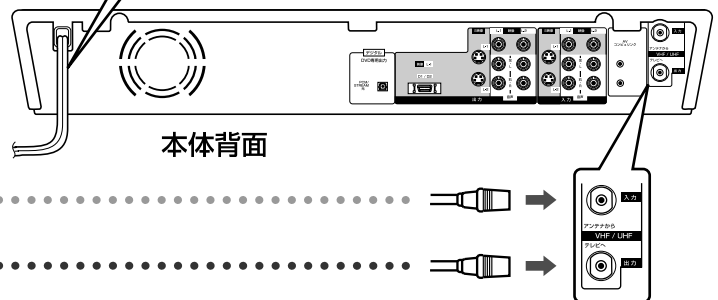
⑱ **画面表示ボタン　(➡ 83、86〜89ページ)**
テレビ画面にステイタスバーやメニューバーを表示させるとき押します。

⑲ **ズームボタン　(➡ 81、89ページ)**
画面を拡大表示させるとき押します。

接続

アンテナをつなぐ

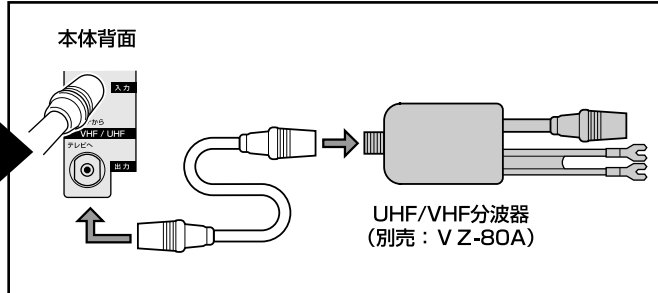
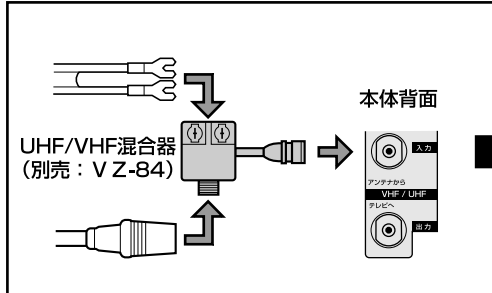
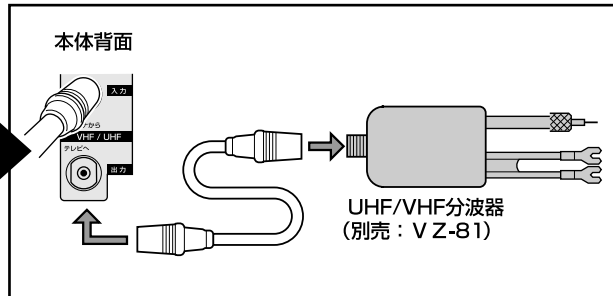
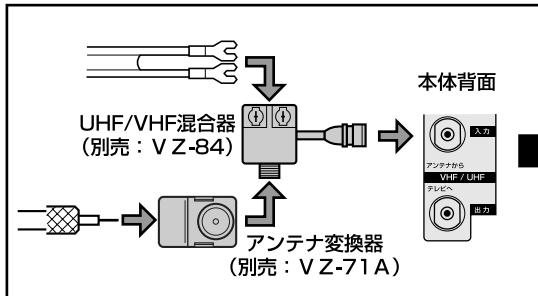
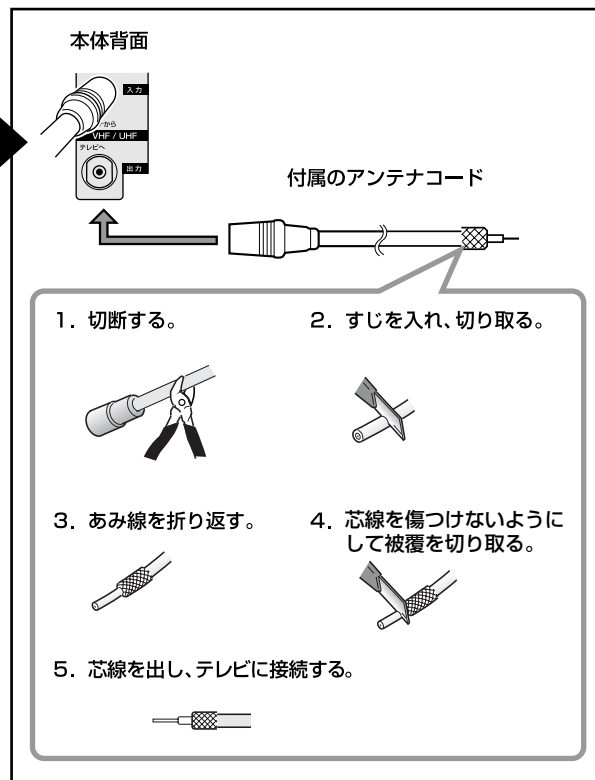
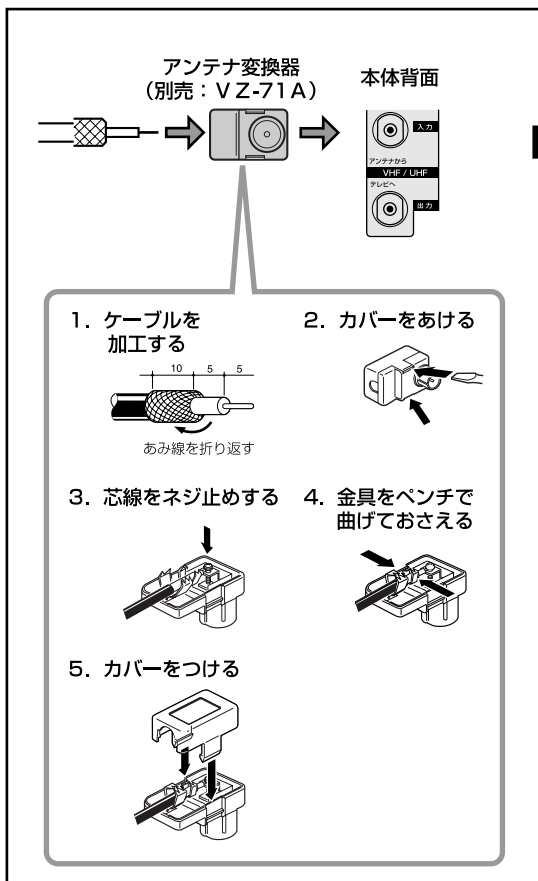
すべての機器の接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
CATVチューナー/ホームターミナルをお使いの場合は、**18**ページをご覧ください。

❹

● **テレビに映像入力端子がないとき**
別売のRFコンバーター（RF-VD550T ）をご使用ください。
詳細はRFコンバーター（RF-VD550T ）の取扱説明書をご覧ください。

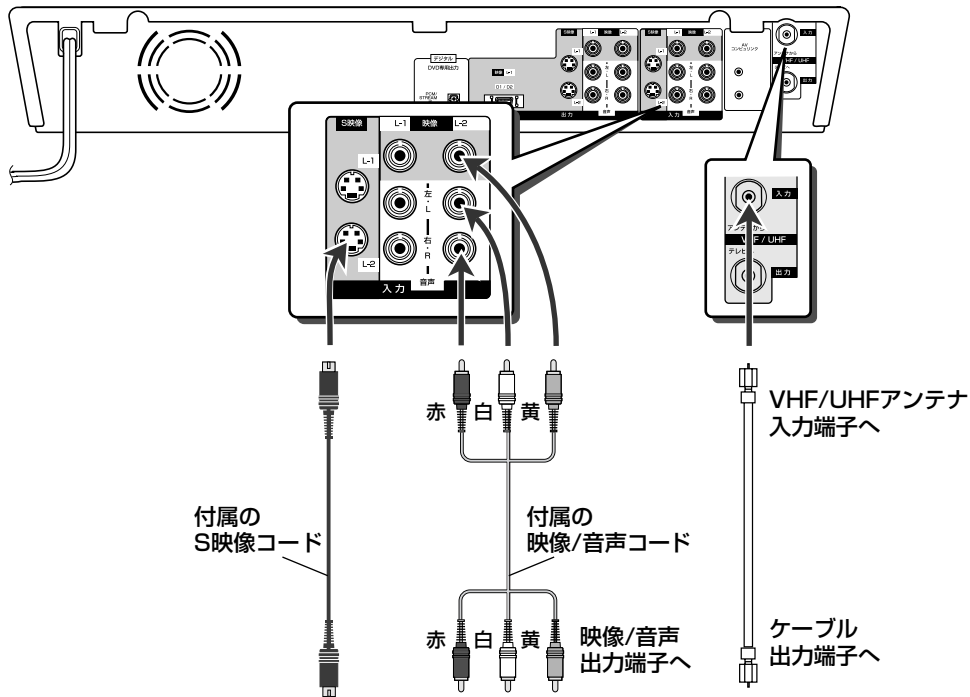
本機の映像を見るときは
テレビで1チャンネルまたは2チャンネル（別売のRFコンバーターのビデオチャンネル切り換えスイッチで選ばれているチャンネル）を選びます。

● **テレビに映像入力端子があるとき**
付属の映像/音声コードでテレビとつなぐ
テレビに映像入力端子があるときには、付属の映像 / 音声コードで、S映像入力端子があるときには、付属のS映像コードで、本機とテレビをつないでください。

本機の映像を見るときは
本機をつないでいるテレビの「ビデオ入力」を選びます。
選びかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）
とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）
とフィーダー線

75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

CATVをつなぐ

すべての機器の接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
接続した映像の端子についての設定が必要になります。
図のように、ホームターミナル(アダプター)を接続してください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書もご覧ください。

本体背面

CATVとの接続
ホームターミナルにS映像端子があればS映像コードでつなぎます。より鮮明な映像がお楽しみいただけます。映像と音声は同じ系統の端子(L-1またはL-2入力端子)にしてください。

HDDの設定画面(➡ **37**ページ):
・映像入力端子の接続の種類を設定する。

CATV放送を受信するには
1. 本機のVHF/UHF入力端子(アンテナから)とCATVチューナーまたはホームターミナルのケーブル出力端子を、アンテナコード(付属)でつなぎます。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます(➡ **26**ページ)。

CATV放送を見るときは
1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機の外部入力切換を、ホームターミナルを接続した入力にします(**43**ページ❷の操作で「L-1」または「L-2」を選ぶ)。ホームターミナルに映像/音声出力端子がないときは、CATV放送を受信できるチャンネルを選びます。

テレビをつなぐ

すべての機器の接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
接続のあとで、映像の端子などの設定が必要になります。
お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

AVテレビ

D映像
入力端子へ

S映像
入力端子へ

黄　白　赤

映像/音声
入力端子へ

別売りのD映像コード:
VX-DS110など

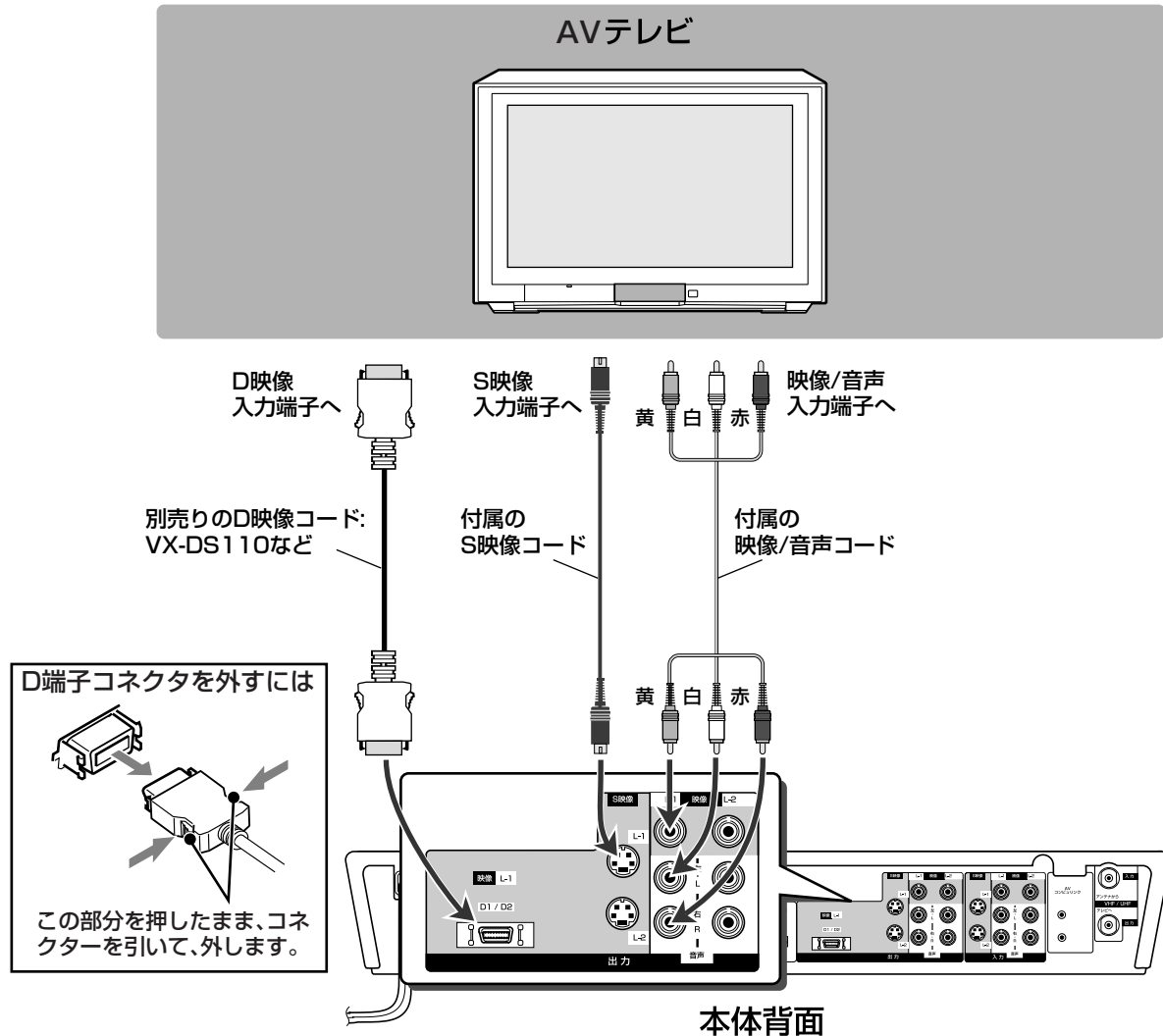
付属の
S映像コード

付属の
映像/音声コード

D端子コネクタを外すには

この部分を押したまま、コネクターを引いて、外します。

黄　白　赤

本体背面

映像入力端子が付いているテレビとの接続
付属の映像/音声コードでつなぎます。映像と音声は同じ系統の端子(L-1またはL-2出力端子)にしてください。

S映像入力端子が付いているテレビとの接続
付属の映像/音声コードとS映像コードでつなぎます。より鮮明な映像がお楽しみいただけます。映像と音声は同じ系統の端子(L-1またはL-2出力端子)にしてください。

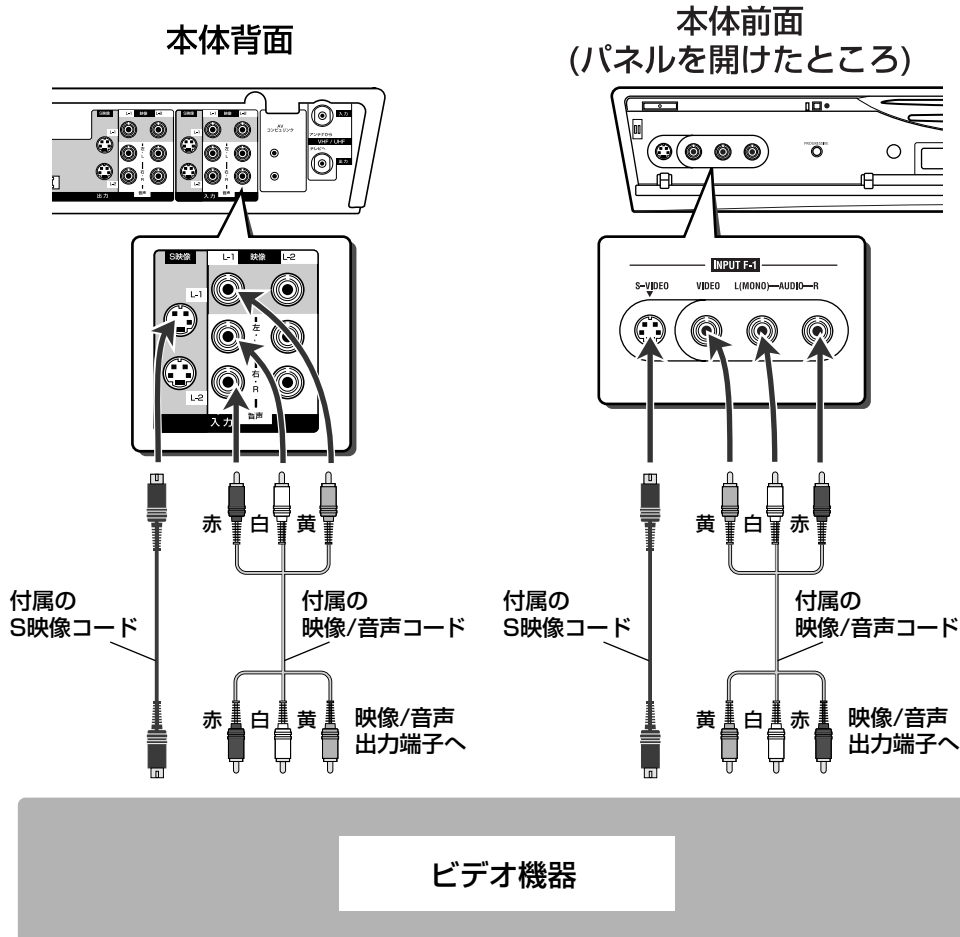
DVDの初期設定(➡ **41**ページ):
・アナログダウンミックスを「ステレオ」に設定する。
スキャンモードを「インターレース」に設定する(➡ 79ページ)。

D映像入力端子が付いているテレビとの接続
付属の映像/音声コードと別売りのD映像コードでつなぎます。より高画質の映像がお楽しみいただけます。さらに、プログレッシブスキャン対応テレビの場合、プログレッシブ映像がお楽しみいただけます。**(プログレッシブ映像はDVDプレーヤー側からの出力に限ります)**
L-1 D1/D2出力端子に接続してください。

DVDの初期設定(➡ **41**ページ):
・アナログダウンミックスを「ステレオ」に設定する。

テレビがプログレッシブスキャン対応機種のときは
・**スキャンモードを「プログレッシブ」に設定する(➡ 79ページ)。**

ビデオ機器をつなぐ

すべての機器の接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
接続した映像の端子についての設定が必要になります。
・本機で録画した映像をビデオデッキにダビングするときは、**71**ページをご覧ください。

ビデオ機器との接続
ビデオ機器にS映像端子があればS映像コードでつなぎます。より鮮明な映像をお楽しみいただけます。
L-1入力端子またはL-2入力端子、F-1入力端子のどれに接続してもかまいません。

HDDの設定画面(➡ 37ページ):
・映像入力端子の接続の種類を設定する。

ビデオ機器からの映像を見るときは
本機の外部入力切換を、ビデオ機器を接続した入力にします(**43**ページ❷の操作で「L-1」または「L-2」、「F-1」を選ぶ)。

ビデオ機器からの映像を録画するには(72ページもご覧ください)
1. 本機とビデオ機器の電源を「入」にします。
2. 本機の外部入力切換を、ビデオ機器を接続した入力(「L-1」または「L-2」、「F-1」)にします(➡ **43**ページ❷)。
3. HDDレコーダーの録画モードを選びます(➡ **43**ページ❸)。
4. ビデオ機器側の再生を始めます。
5. 録画を始めます(➡ **43**ページ❹)。

ご注意
・L-1入力端子またはL-2入力端子、F-1入力端子に接続したビデオ機器の映像は、本機では約3秒間遅れて再生されます。

AVアンプをつなぐ

すべての機器の接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
デジタル端子からはHDDレコーダー側の音声は出力されませんので、ご注意ください。

AVアンプ

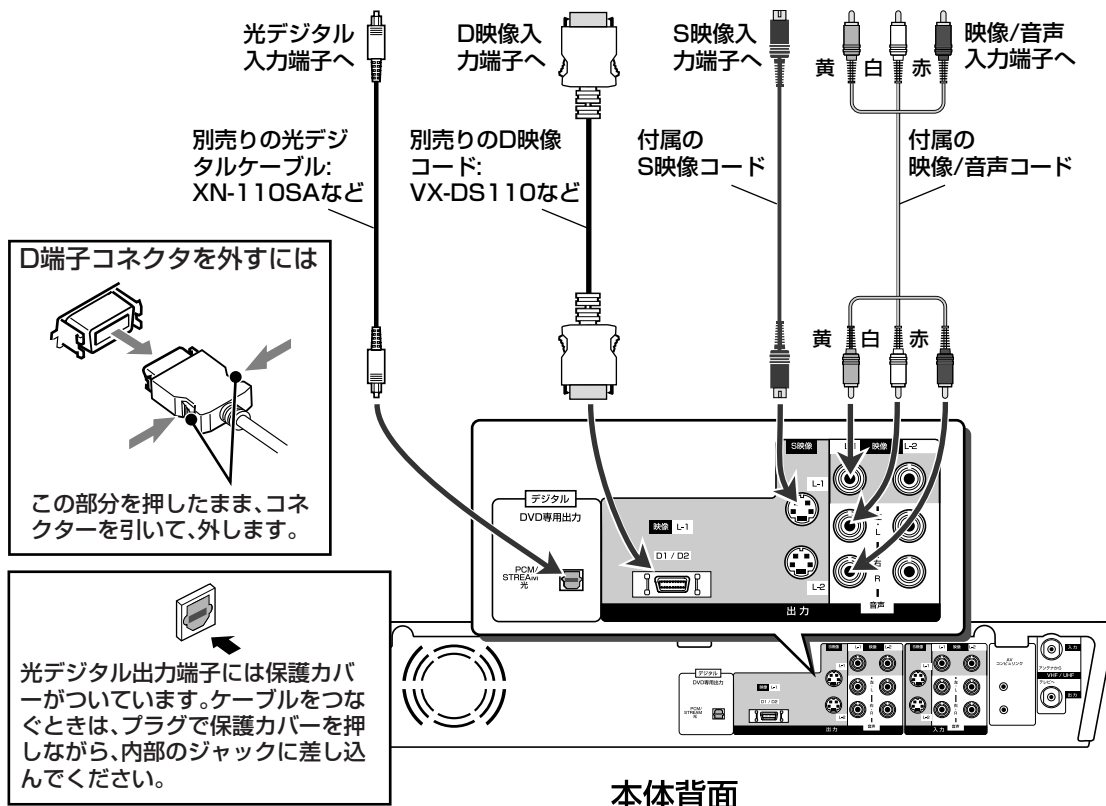
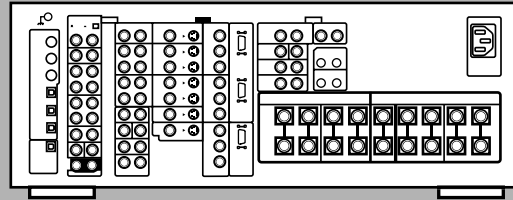
光デジタル入力端子へ　D映像入力端子へ　S映像入力端子へ　黄　白　赤　映像/音声入力端子へ

別売りの光デジタルケーブル: XN-110SAなど
別売りのD映像コード: VX-DS110など
付属のS映像コード
付属の映像/音声コード

D端子コネクタを外すには

この部分を押したまま、コネクターを引いて、外します。

光デジタル出力端子には保護カバーがついています。ケーブルをつなぐときは、プラグで保護カバーを押しながら、内部のジャックに差し込んでください。

本体背面

AVアンプにテレビを接続していないときは
本機の映像出力端子とAVアンプを接続する必要はありません。テレビと直接つないでください。

DVDの初期設定(➡ 41ページ):
・アナログダウンミックスを「ステレオ」に設定する。

AVアンプにテレビを接続しているときは
AVアンプに付属の取扱説明書を参考に映像接続を行ってください。スキャンモードの設定は、テレビの対応スキャンモードをご確認のうえ、行ってください。

DVDの初期設定(➡ 41ページ):
・アナログダウンミックスを「ステレオ」に設定する。

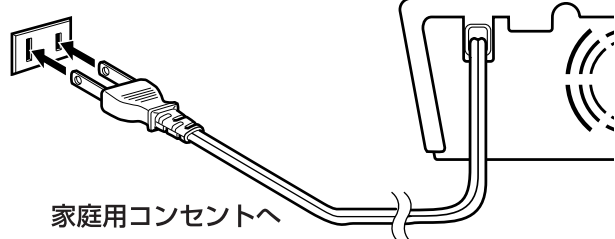
テレビがプログレッシブスキャン対応機種のときは
・スキャンモードを「プログレッシブ」に設定する(➡ **79**ページ)。

D映像端子を接続するときは
音声接続はL-1出力端子をお使いください。

光デジタル入力端子を接続するときは
AVアンプに専用デコーダーが搭載されているかどうかご確認ください。

DVDの初期設定(➡ 41ページ):
・専用デコーダーがないときは、デジタルOUTを「PCMのみ」に設定します。

電源コードをつなぐ

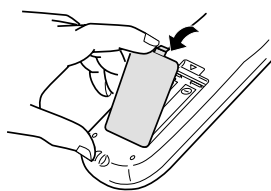
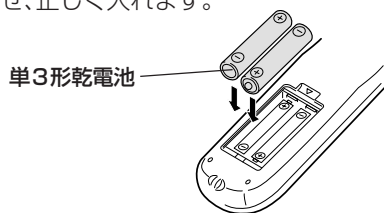
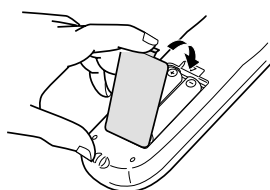
接続がすべて終わってから、電源コードを家庭用コンセントに差し込んでください。

電源プラグを差し込んだあと約30秒間は、ハードディスク起動のため、何も操作できません。この間、本体のイルミネーションランプが点滅します。

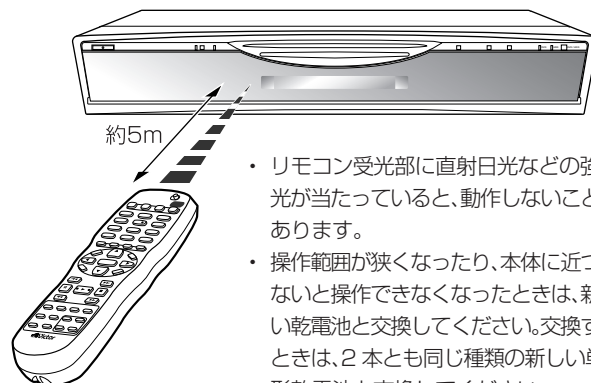
ご注意

- 電源コードはテレビやビデオデッキ、アンテナ線などから離してください。接近していると雑音が発生したり、映像が乱れたりすることがあります。
- 濡れた手で電源コードに触らないでください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。

リモコンの準備をする

単3形の乾電池を入れます。

1. 裏ブタをはずす

2. 単3形乾電池を2本入れる
   極性(⊕、⊖)をリモコン内部の表示に合わせ、正しく入れます。

3. 裏ブタをしめる
   矢印の方向に戻します。

リモコンの操作範囲について

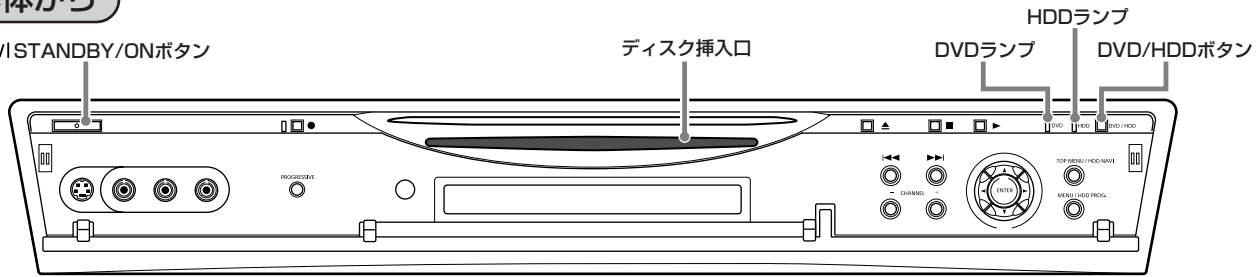
リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。交換するときは、2 本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

ご注意

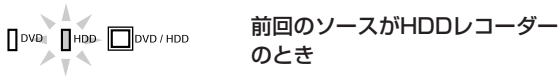
- 充電式電池は使わないでください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

電源を「入」にしてソースを選ぶ

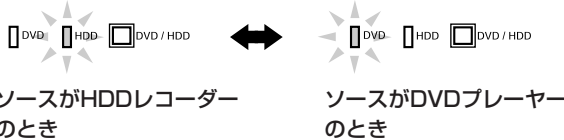
操作の前に、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。

本体から

❶ [⏻/I STANDBY/ON]を押す

イルミネーションランプと前回選んでいたソースのランプが点灯します。

前回のソースがHDDレコーダーのとき

❷ [DVD/HDD]を押してソースを選ぶ

ボタンを押すごとにソースが切り換わり、対応するランプが点灯します。

ソースがHDDレコーダーのとき　　ソースがDVDプレーヤーのとき

電源を「切」にするには

[⏻/I STANDBY/ON]を押します。

お知らせ

ディスクを再生するときは

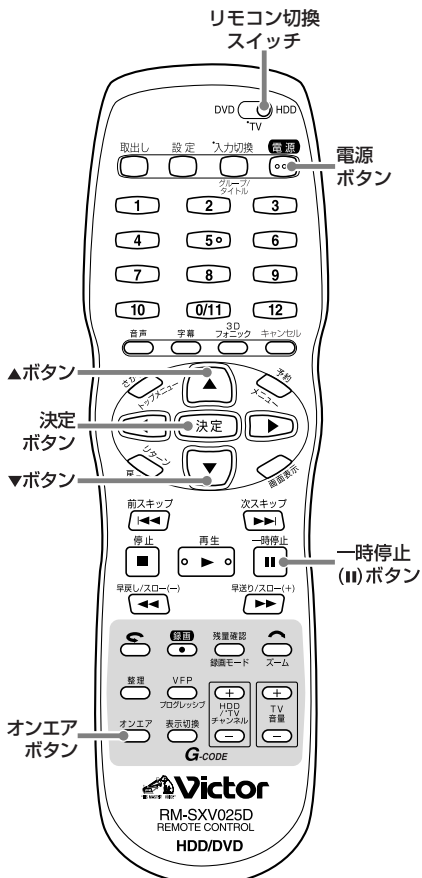
・ ディスクをディスク挿入口に途中まで差し込むと、電源が「入」になり、自動的に引き込まれます。ソースがDVDプレーヤーになり、ディスクによっては再生が始まります。

オープニング画面について

・ 電源が「入」になると、オープニング画面が表示されます。ソースがHDDレコーダーのときは、このあと約20秒後に、受信中の放送画面が現れます。（アンテナが接続されていないときや受信中のチャンネルに放送がない場合は、ブルーバック画面が表示されます）

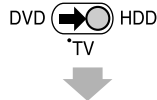
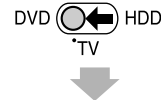
オープニング画面

リモコンから

リモコン切換スイッチ
電源ボタン
▲ボタン
決定ボタン
▼ボタン
一時停止(⏸)ボタン
オンエアボタン

❶ [電源]を押す

前回選んでいたソースのランプが点灯し、オープニング画面が表示されます。

❷ リモコン切換スイッチを切り換えて、ソースを選ぶ

HDDレコーダーを選ぶとき

❸ [オンエア]を押す

本体のHDDランプが点灯し、ソースがHDDレコーダーに切り換わります。受信中の放送画面が現れます。

DVDプレーヤーを選ぶとき

❸ [決定]を押す

本体のDVDランプが点灯し、ソースがDVDプレーヤーに切り換わります。

・HDD設定メニューが表示されているときは、ソースを切り換えることはできません（➡ **36**ページ）。

電源を「切」にするには

[電源]を押します。

本体表示窓の明るさを調節する

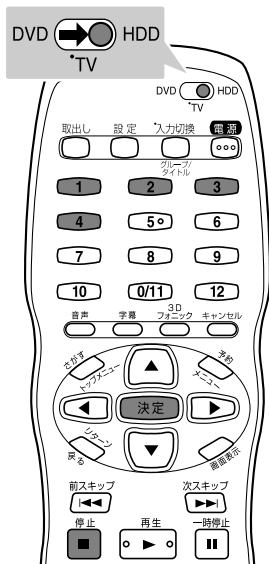
電源が「入」のときに、リモコンを使って、本体表示窓とイルミネーションランプの明るさを調節することができます。明るさは3段階の調節ができます。

暗くするとき　：[▼]を押しながら[**一時停止(⏸)**]を押すごとに変化します。
明るくするとき：[▲]を押しながら[**一時停止(⏸)**]を押すごとに変化します。

ソースがHDDレコーダーのときは受信中の放送画面が現れているとき、ソースがDVDプレーヤーのときはディスクが入っていないとき、または停止中に、明るさを調節することができます。

リモコンの設定をする

リモコンコードを設定する

2台以上のビクター製ビデオ搭載機器をお使いの場合、本体とリモコンのリモコンコードを変更すると操作機器が限定できます。

❶ **本機の電源を「入」にしてソースをHDDレコーダーにする**

❷ **リモコン切換スイッチを「HDD」側にする**

❸ **リモコンの[停止■]を手順❺が終わるまで押し続ける**

❹ **数字ボタン(1〜4)のうち1つを押してリモコンコードを選ぶ**

リモコンコードは以下から選べます。
[1]:「Aコード」 [2]:「Bコード」
[3]:「Cコード」 [4]:「Dコード」

・お買い上げ時のリモコンコードは「Cコード」です。

❺ **[決定]を押す**

このあと、[停止(■)]から指を離します。

❻ **本体の[⏻/I STANDBY/ON]を押して電源を「切」にする**

❼ **本体の[▶(再生)]を5秒以上押す**

本体表示窓に現在のリモコンコードが表示されます。

❽ **本体のリモコン受光部に向けてリモコンの[停止■]を押す**

本体表示窓に新しいリモコンコードが点滅表示されます。

例:手順❹で[4]を押した場合

ご注意

・リモコンの電池をはずすと、リモコンコードは「C」に戻ります。「Cコード」以外に設定しているときは、設定をやり直してください。

テレビのメーカーコードを設定する

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
他メーカーのテレビを操作する場合は、メーカーに対応したコードを設定する必要があります。
ビクター製のテレビは、お買い上げ時のままで操作することができます。

❶ **リモコン切換スイッチを「TV」の位置にする**

❷ **[入力切換(グループ/タイトル)]を手順❹が終わるまで押し続ける**

❸ **数字ボタン(1〜9、0/11)を押してメーカーコードを入力する**

例:松下「02」の場合、[0/11] ➡ [2]と押す

・[0/11]は「0」を入力するとき使います。

❹ **[決定]を押す**

このあと、[入力切換(グループ/タイトル)]から指を離します。

メーカーコード表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
アイワ	14
NEC	12
サンヨー	08、09
シャープ	10
ソニー	05

メーカー名	コード番号
東芝	07
パイオニア	11
日立	06
フナイ	13、15、16
松下	02、03
三菱	04

テレビを操作するときは

リモコン切換スイッチが「TV」の位置のとき、以下の操作ができます。

ボタン	操作
電源	電源を「入/切」します
TV音量 +/−	音量を調節します リモコン切換スイッチが「TV」の位置にないときでも使えます
HDD/TVチャンネル +/−	チャンネルを変えます 数字ボタン(1〜12)も使えます
入力切換(グループ/タイトル)	テレビとビデオ入力を切り換えます

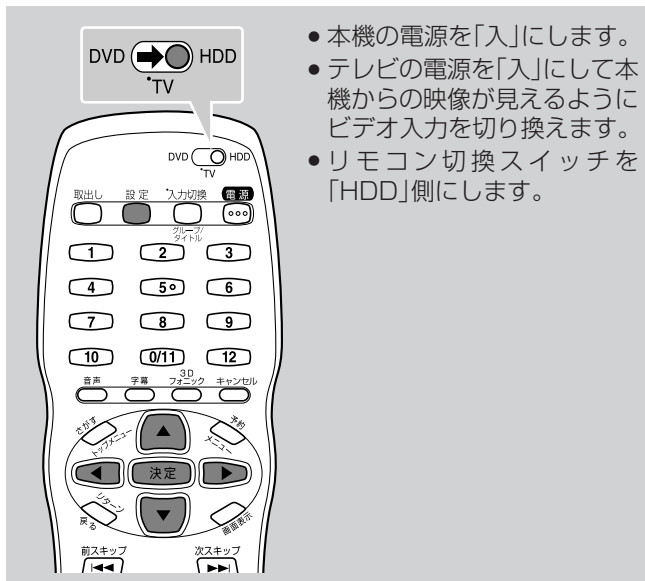
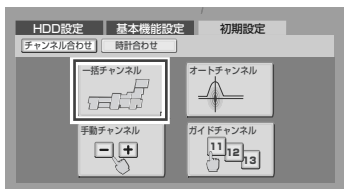
お知らせ

・メーカーコードを変更したときは、お手持ちのテレビが、本機のリモコンで正常に操作できるかどうかを確認してください。
・複数のコードを持つメーカーの場合は、順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

受信チャンネルを設定する

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

地域を選択して受信チャンネルを自動的に設定する（一括チャンネル合わせ）

本機は、テレビ画面に表示される地図と地域を選ぶと、チャンネルが自動的に設定されます。また、チャンネルが設定されると、Gコード®録画予約をするときに必要なガイドチャンネルも自動的に設定されます。
CATV放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」では、設定されません。
CATV放送のチャンネルを本機で受信したいときは、「オートチャンネル合わせ」（➡ **26**ページ）の操作をしてください。

❶ [設定]を押したあと、
◀/▶/▲/▼で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「一括チャンネル」を選ぶ

❷ [決定]を押したあと、
◀/▶/▲/▼でお住まいの地域を地図から選ぶ

❸ [決定]を押したあと、

お住まいの都市または近隣の都市を選ぶ

都市などを選ぶときの参考にします。

- お住まいの地域について、詳しくは「一括チャンネル合わせの地域表」（➡ **29**～**32**ページ）をご覧ください。

❹ [決定]を押したあと、[設定]を押して終了する

- **[決定]**を押すと、自動的にチャンネルが設定されます。
- **[設定]**を押すと、設定画面が消えます。
- 次のような変更がないときは、「日付と時刻を設定する」へ進んでください（➡ **35**ページ）。
  - 不要な放送局をスキップしたいとき ：➡ **26**ページ
  - 新たにチャンネルを追加したいとき ：➡ **26**ページ
  - チャンネル表示を変更したいとき ：➡ **27**ページ
  - 受信チャンネルの映りが悪いとき ：➡ **28**ページ

途中でやめるには

[設定]を押します。

初期設定に戻すには

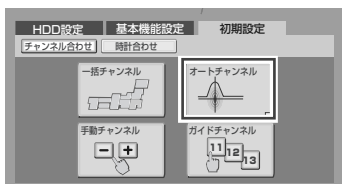
- お買い上げ時の状態に戻したいときは、手順❷で「初期状態」を選び[決定]を押してください。

受信チャンネルを設定する(つづき)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

オートチャンネル合わせで設定する (オートチャンネル合わせ)

本機は受信チャンネルを自動設定できます。自動設定を行った後は、ガイドチャンネルを設定してください(➡ 33ページ)。お住まいの地域番号がない場合や、CATV放送を受信されている方にお勧めいたします。

❶ 設定を押したあと、◀/▶/▲/▼で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「オートチャンネル」を選ぶ

❷ 決定を押す

オートチャンネル合わせが始まります。

❸ 設定を押して終了する

これでチャンネル設定は終了です。

- 次のような変更がないかたは、「Gコード®予約をするためのチャンネル設定をする」(➡ **33**ページ)と「日付と時刻を設定する」(➡ **35**ページ)へ進んでください。
  - 不要な放送局をスキップしたいとき：➡ **26**ページ
  - 新たにチャンネルを追加したいとき：➡ **26**ページ
  - チャンネル表示を変更したいとき　：➡ **27**ページ
  - 受信チャンネルの映りが悪いとき　：➡ **28**ページ

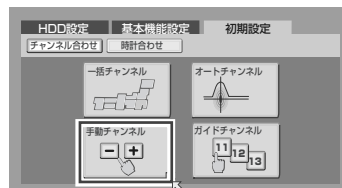
お知らせ

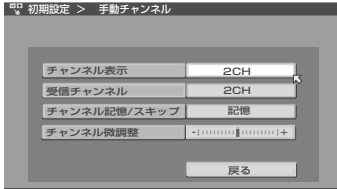
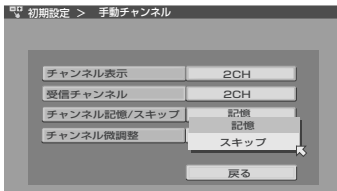
- お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機の外部入力切換を、ホームターミナルを接続した入力にします(**43**ページ❷の操作で「L-1」または「L-2」を選ぶ)。(映像入力設定:➡ **37**ページ)
  詳しくは、CATV放送会社にお問い合わせください。

不要な放送局をスキップする (チャンネルスキップの設定と解除)

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときは、チャンネルスキップを設定します。また、スキップしたチャンネルを選べるようにしたり新たにチャンネルを設定し直すこともできます。

❶ 設定を押したあと、◀/▶/▲/▼で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「手動チャンネル」を選ぶ

チャンネルスキップを設定したチャンネルでも手順❷で選べるようになります。

❷ (決定)を押したあと、(+)HDD/TV チャンネル/(−)でチャンネルを選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、設定画面と重なって映ります。

❸ (▲)/(▼)を押して「チャンネル記憶/スキップ」を選び、(決定)を押す

❹ (▲)/(▼)を押して「スキップ」または「記憶」を選び、(決定)を押す

「スキップ」を選ぶと：チャンネルスキップが設定され、現在受信中の放送局は通常操作では選べなくなります。

本体表示窓のチャンネル表示が点滅します。

「記憶」を選ぶと：チャンネルスキップが解除され、現在受信中の放送局が通常操作でも選べるようになります。また、新たにチャンネルを選んだ放送局が通常操作で選べるようになります。

❺ 他の放送局もチャンネルスキップの設定/解除したいときは、手順❷〜❹をくり返す

❻ (設定)を押して終了する

設定画面が消えます。

お知らせ

・ 放送のないチャンネルや電波が弱いチャンネルは、青い画面(ブルーバック)になり映りません。

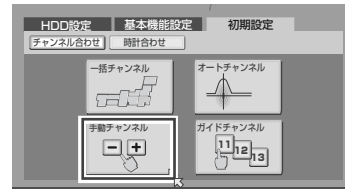
チャンネル表示を変更する

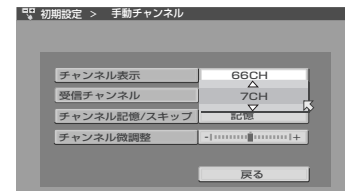
「一括チャンネル合わせ」(➡ **25**ページ)または「オートチャンネル合わせ」(➡ **26**ページ)をしたあとに設定してください。

例：CATV放送の16チャンネル(本機での表示は「66」)を「7チャンネル」に変更する

❶ (+)HDD/TV チャンネル/(−)を押して「66チャンネル」を選ぶ

● 数字ボタンでも選べます。

❷ (設定)を押したあと、(◀)/(▶)/(▲)/(▼)で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「手動チャンネル」を選ぶ

❸ (決定)を押したあと、(▲)/(▼)を押して「チャンネル表示」を選ぶ

❹ (決定)を押したあと、(▲)/(▼)を押して「チャンネル表示」を「7」に変える

❺ (決定)を押したあと、(▲)/(▼)を押して「チャンネル記憶/スキップ」を選ぶ

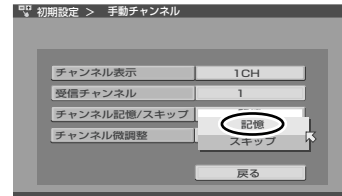
❻ (決定)を押したあと、(▲)/(▼)を押して「記憶」を選び、(決定)を押す

❼ (設定)を押して終了する

設定画面が消えます。

・ 他のチャンネルも変更したいときは、❶〜❻の手順をくり返します。

お知らせ

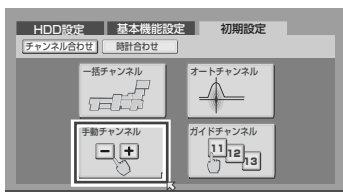
・ 設定が完了したあとで、Gコード®予約するためのガイドチャンネルも設定してください。(➡ **33**ページ)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

映りの悪いチャンネルを微調節する

本機には映りの悪いチャンネルをよりクリアな映像に調節する機能があります。

❶ ⊕ HDD/TV チャンネル /⊖を押して映りの悪いチャンネルを選ぶ

・数字ボタンでも選べます。

❷ 設定を押したあと、◀/▶/▲/▼で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「手動チャンネル」を選ぶ

❸ 決定を押したあと、▲/▼を押して「チャンネル微調整」を選び、決定を押し▲/▼で映像を見ながら映りを微調節する

❹ 決定を押したあと、▲/▼を押して「チャンネル記憶/スキップ」を選ぶ

❺ 決定を押したあと、▲/▼を押して「記憶」を選び、決定を押す

❻ 設定を押して終了する

設定画面が消えます。

・他のチャンネルも変更したいときは、❶〜❺の手順をくり返します。

お知らせ

・放送のないチャンネルや電波が弱いチャンネルは、青い画面(ブルーバック)になり映りません。

受信チャンネル一覧表

一括チャンネル合わせの地域表

お住まいの地域が表中にないときは、受信できる放送局を一つずつ設定してください(➡ **26**ページ)。
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
Gコード®を使って録画の予約をするために必要になります(実際のチャンネルとは異なる場合があります)。

表の見方

本機でのチャンネル表示番号

地域		放送局名・受信チャンネル/ガ		
		1	2	
都道府県名	地域名(対応都市)	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル/ガイドチャンネル	受信チャン

映らないときは、お近くの地域も試してください。

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別)	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森(弘前)	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37

設置と準備

次ページに続く

受信チャンネル一覧表(つづき)

映らないときは、お近くの地域も試してください。

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山形	山形		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
山形	鶴岡(酒田)	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
山形	米沢		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島(郡山)		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
福島	いわき		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
福島	会津若松	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸(勝田)	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
茨城	日立	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
栃木	矢板	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬	前橋(伊勢崎・高崎)	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
群馬	桐生	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉	さいたま(三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・春日部・川口・川越)	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
埼玉	熊谷	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
埼玉	秩父	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉	千葉(我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代)	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
千葉	銚子	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京	23区(昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹)	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
東京	八王子	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
東京	多摩	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	＊ 横浜1(横浜の一部)	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
神奈川	＊ 横浜2(横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀)	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
神奈川	平塚(茅ヶ崎)	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
神奈川	秦野	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
神奈川	小田原	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野1		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
長野	長野2		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
長野	松本		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
長野	飯田			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
長野	岡谷・諏訪				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟(長岡)			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
新潟	上越	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
富山	高岡	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32

お知らせ

- 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜2」をお選びください。
  「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜1」をお選びください。

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松）		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
	七尾	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
	敦賀						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣）	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	高山		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
	中津川				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡	静岡（焼津）		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
	浜松		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士（富士宮）		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
	三島・沼津		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
	島田	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
	藤枝	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋（豊川）	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	伊勢	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59/33	名古屋テレビ 61/11	
	名張	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
	彦根		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治）		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
	神戸灘		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
	川西		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石（加古川）		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原）		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/−	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
	海南・田辺		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
	浜田		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

次ページに続く

受信チャンネル一覧表（つづき）

映らないときは、お近くの地域も試してください。

	地域	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷）	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口（徳山・防府）												
		NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本（八代）		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分（別府）			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎（都城）						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇（沖縄）		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

Gコード®予約をするためのチャンネル設定をする

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

ガイドチャンネルを設定する

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコード®による録画予約ができなくなります。
次のような操作をしたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

- 放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

例：テレビ神奈川のガイドチャンネル(42)を合わせるとき

❶ 設定を押したあと、◀／▶／▲／▼で「初期設定」➡「チャンネル合わせ」➡「ガイドチャンネル」を選ぶ

❷ 決定を押したあと、▲／▼を押して「ガイドチャンネル」を選ぶ

❸ 決定を押したあと、▲／▼を押して設定したい放送局のガイドチャンネル番号「42」を選ぶ

・「ガイドチャンネル一覧表」(➡ **34**ページ)を参照して入力します。

❹ 決定を押したあと、▼を押して「チャンネル表示」を選ぶ

❺ 決定を押したあと、▲／▼を押して設定したい放送局のチャンネル 表示番号を選ぶ

❻ 決定を押して変更を確定する

❼ 他にも設定したい放送局があるときは、▲／▼を押して「ガイドチャンネル」を選んだあと、手順❸〜❻をくり返す

❽ 設定を押して終了する

設定画面が消えます。

お知らせ

ガイドチャンネルとは…
Gコード®予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

ガイドチャンネル一覧表

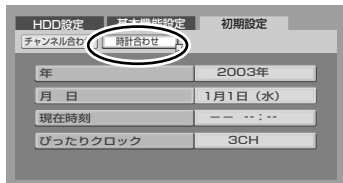
地域	都道府県	放送局	ガイドチャンネル
	全国共通	NHK総合	80
		NHK教育	90
北海道・東北	北海道	北海道放送（HBC）	1
		札幌テレビ（STV）	5
		テレビ北海道（TVH）	17
		北海道文化（UHB）	27
		北海道テレビ（HTB）	35
	青森	青森放送（RAB）	1
		青森朝日（ABA）	34
		青森テレビ（ATV）	38
	岩手	岩手放送（IBC）	6
		岩手朝日（IAT）	20
		めんこい（MIT）	33
		テレビ岩手（TVI）	35
	秋田	秋田放送（ABS）	11
		秋田朝日（AAB）	31
		秋田テレビ（AKT）	37
	宮城	東北放送（TBC）	1
		仙台放送（OX）	12
		東日本放送（KHB）	32
		宮城テレビ（MMT）	34
	山形	山形放送（YBC）	10
		さくらんぼテレビ（SAY）	30
		テレビュー山形（TUY）	36
		山形テレビ（YTS）	38
	福島	福島テレビ（FTV）	11
		テレビュー福島（TUF）	31
		福島中央（FCT）	33
		福島放送（KFB）	35
関東・甲信越	関東	日本テレビ（NTV）	4
		TBSテレビ（TBS）	6
		フジテレビ（CX）	8
		テレビ朝日（ANB）	10
		テレビ東京（TX）	12
		東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
		放送大学	16
		テレビ埼玉（TVS）	38
		テレビ神奈川（TVK）	42
		千葉テレビ（CTC）	46
		群馬テレビ（GTV）	48
		とちぎテレビ（TTV）	23
	新潟	新潟放送（BSN）	5
		新潟テレビ21（NT21）	21
		テレビ新潟（TNN）	29
		新潟総合（NST）	35
	長野	信越放送（SBC）	11
		長野朝日（ABN）	20
		テレビ信州（TSB）	30
		長野放送（NBS）	38
	山梨	山梨放送（YBS）	5
		テレビ山梨（UTY）	37
中部	静岡	静岡放送（SBS）	11
		静岡第一（SDT）	31
		静岡朝日テレビ（SATV）	33
		テレビ静岡（SUT）	35
	中京	東海テレビ（THK）	1
		中部日本放送（CBC）	5
		名古屋テレビ（NBN）	11
		テレビ愛知（TVA）	25
		三重テレビ（MTV）	33
		中京テレビ（CTV）	35
		岐阜放送（GBS）	37
	富山	北日本放送（KNB）	1
		チューリップTV（TUT）	32
		富山テレビ（T34）	34
	石川	北陸放送（MRO）	6
		北陸朝日（HAB）	25
		テレビ金沢（KTK）	33
		石川テレビ（ITC）	37
	福井	福井放送（FBC）	11
		福井テレビ（FTB）	39
関西・中国	関西	毎日放送（MBS）	4
		朝日放送（ABC）	6
		関西テレビ（KTV）	8
		読売テレビ（YTV）	10
		テレビ大阪（TVO）	19
		テレビ和歌山（WTV）	30
		びわ湖放送（BBC）	30
		京都テレビ（KBS）	34
		サンテレビ（SUN）	36
		奈良テレビ（TVN）	55
	岡山	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	広島	中国放送（RCC）	4
		広島テレビ（HTV）	12
		テレビ新広島（TSS）	31
		広島ホーム（HOME）	35
	鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
		山陰放送（BSS）	10
		山陰中央（TSK）	34
	山口	山口放送（KRY）	11
		山口朝日（YAB）	28
		テレビ山口（TYS）	38
四国	香川	西日本放送（RNC）	9
		山陽放送（RSK）	11
		テレビせとうち（TSC）	23
		瀬戸内海放送（KSB）	33
		岡山放送（OHK）	35
	愛媛	南海放送（RNB）	10
		愛媛朝日（EAT）	25
		あいテレビ（ITV）	29
		愛媛放送（EBC）	37
	徳島	四国放送（JRT）	1
	高知	高知放送（RKC）	8
		テレビ高知（KUTV）	38
		さんさんテレビ（KSS）	40
九州・沖縄	福岡	九州朝日（KBC）	1
		RKB毎日（RKB）	4
		テレビ西日本（TNC）	9
		TXN九州（TVQ）	19
		福岡放送（FBS）	37
	大分	大分放送（OBS）	5
		大分朝日（OAB）	24
		テレビ大分（TOS）	36
	佐賀	サガテレビ（STS）	36
	長崎	長崎放送（NBC）	5
		長崎国際（NIB）	25
		長崎文化（NCC）	27
		テレビ長崎（KTN）	37
	熊本	熊本放送（RKK）	11
		熊本朝日（KAB）	16
		熊本県民（KKT）	22
		テレビ熊本（TKU）	34
	宮崎	宮崎放送（MRT）	10
		テレビ宮崎（UMK）	35
	鹿児島	南日本放送（MBC）	1
		鹿児島読売テレビ（KYT）	30
		鹿児島放送（KKB）	32
		鹿児島テレビ（KTS）	38
	沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
		琉球放送（RBC）	10
		琉球朝日（QAB）	28

日付と時刻を設定する

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

お買い上げ時には、本機に内蔵の時計は設定されておりません。本機のタイマーを利用する前に正しい日付と時刻を設定してください。

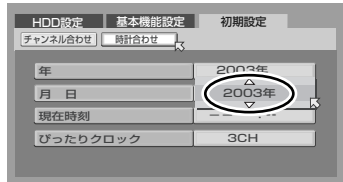
例：2003年5月5日、午前10時00分に合わせる

❶ 設定を押して「設定画面」を表示する

・「時計合わせ」が選択されていないときは、[▲/▼/▶/◀]で、「初期設定」➡「時計合わせ」を選んでください。

❷ 年、月/日、現在時刻を合わせる

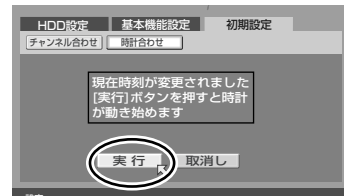
[▼]を押して「年」を選び、[決定]を押す

⬇

[▲/▼]を押して西暦を合わせ、[決定]を押す

・このあと「年」の合わせかたと同じ方法で、「月/日」と「現在時刻」を合わせてください。

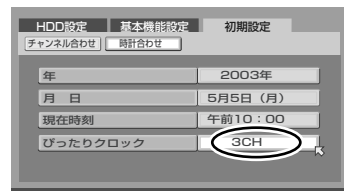
・[▲/▼]を押し続けると速く変わります。
　日付 ：15日単位で変わります
　時刻 ：30分単位で変わります

❸ 決定を押す

内蔵の時計が動き始めます。

❹ ぴったりクロックのチャンネルを選ぶ

[▼]を押して「ぴったりクロック」を選び、[決定]を押す

⬇

[▲/▼]を押してチャンネルを選び、[決定]を押す

・「一括チャンネル合わせ」(➡ **25**ページ)をしたあとは、自動的に設定されています。

・自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

・ぴったりクロックについては以下の「お知らせ」をご覧ください。

❺ 設定を押して終了する

設定画面が消えます。

・録画予約が残っている場合は、年、月/日、現在時刻を設定しても、しばらく操作ボタンが効かない場合があります。これは、予約した情報を更新しているためで、故障ではありません。

お知らせ

ぴったりクロックとは…

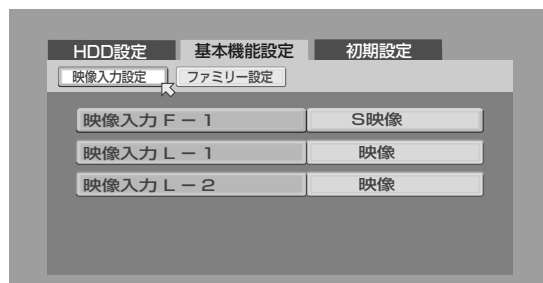
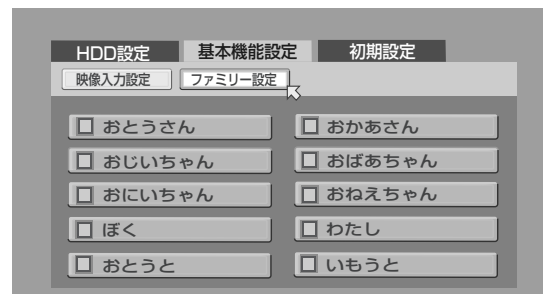
- 毎日7、12、19時に、NHK教育テレビの時報が放送されているかどうかを確認し、時報が放送されると、本機に内蔵の時計の誤差を自動修正します。
- 平成15年1月現在、時報は1日1回、正午のみです。
- ぴったりクロックが働いていないと、本機の時計が正確に合わないことがあります。この状態で録画予約すると、番組の開始または終了部分がずれた状態で録画されます。ぴったりクロックが働いていないときは、時計を正確に合わせ直すことをお勧めします。
- 高校野球シーズンなどは、時報が放送されないことがあり、現在時刻とのずれが生じます。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  – 番組編成で時報が放送されていないとき
  – 本機の電源が「入」のとき
  – 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  – 時報のバックに音楽が入っているとき

HDDレコーダーの設定をする

HDD設定メニューについて

次の4つの設定メニューを使って、HDDレコーダーの設定をします。

HDD設定画面

基本機能設定画面「映像入力設定」

基本機能設定画面「ファミリー設定」

ご注意

- HDD設定メニューの設定内容は、ソースがDVDプレーヤーのときは反映されません。
- HDD設定メニューの表示中には、ソースの切り換えはできません。[設定]を押すなどして設定メニューを消してから、ソースを切り換えてください。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

お買い上げ時の設定を変えるには

操作の例として、ファミリー設定の変更をします。

録画した番組に、「おとうさん」や「おかあさん」などのファミリーを設定することができます。録画した番組を探すときに便利です。ここでは、使用しない人を「未使用」に設定する操作を説明します。

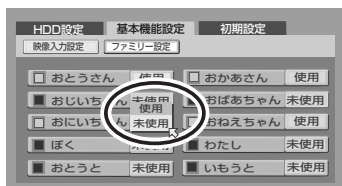
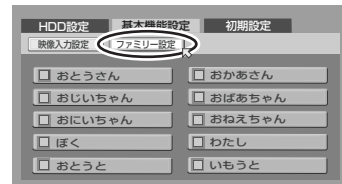
❶ [設定]を押して設定画面を表示させる

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して「基本機能設定」➡「ファミリー設定」を選ぶ

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して登録しない人を選び、[決定]を押す

❹ [▲]/[▼]を押して「未使用」を選び、[決定]を押す

❺ [設定]を押して終了する

設定画面が消えます。

HDD設定メニュー項目一覧

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

		項目	設定内容	
HDD設定		時間差再生 (➡ 63ページ)	ハードディスクに一時録画領域(仮想領域)を確保して、一時的に受信放送や外部入力の映像を録画する機能です。録画予約をしなくても、時間差再生モードにすると、受信した放送を設定した時間ぶんだけ自動的に録画し時間差再生できます。設定を変更すると、今まで一時的に録画された映像は消去されます。	
			切	:時間差再生はできません。
			30分	:時間差再生できる時間を30分にします。
			1時間	:時間差再生できる時間を1時間にします。
			3時間	:時間差再生できる時間を3時間にします。
		オートCMスキップ (➡ 70ページ)	録画した番組の音声が二重音声またはモノラルでCM(コマーシャル)がステレオのときに、自動的にCMをスキップさせるか、しないかの設定をします。	
			切	:CMをスキップしません。
			入	:自動的にCMをスキップします。
		ジャンプ時間 (➡ 66ページ)	再生中や時間差再生中などに[**次スキップ(▶▶I)**]または[**前スキップ(I◀◀)**]([▶]または[◀])を押すと、設定した時間をジャンプします。	
			15分	:ジャンプ時間を15分にします。
			30分	:ジャンプ時間を30分にします。
			1時間	:ジャンプ時間を1時間にします。
		オンスクリーン (➡ 64ページ)	テレビ画面に操作内容を自動的に表示するか、しないかの設定をします。 常時表示したいときは、リモコンの画面表示ボタンを押してください。	
			切	:操作内容をテレビ画面に表示しません。
			オート	:操作内容をテレビ画面に表示します。
基本機能設定	映像入力設定	映像入力F-1	前面映像入力(F-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
			映像	:前面の映像入力端子(F-1)の信号を入力するときは「映像」にします。
			S映像	:前面のS映像入力端子(F-1)の信号を入力するときは「S映像」にします。
		映像入力L-1	背面映像入力(L-1)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
			映像	:背面の映像入力端子(L-1)の信号を入力するときは「映像」にします。
			S映像	:背面のS映像入力端子(L-1)の信号を入力するときは「S映像」にします。
		映像入力L-2	背面映像入力(L-2)の入力端子(映像またはS映像)を変更したいときに設定します。	
			映像	:背面の映像入力端子(L-2)の信号を入力するときは「映像」にします。
			S映像	:背面のS映像入力端子(L-2)の信号を入力するときは「S映像」にします。
	ファミリー設定	おとうさん おじいちゃん おにいちゃん (➡ 36ページ)	番組を録画する人をあらかじめ設定することができます。録画した番組の頭出しをするときに使います。	
			使用	:選択した名前を使用します。
			未使用	:選択した名前を使用しません。

DVDプレーヤーの設定をする

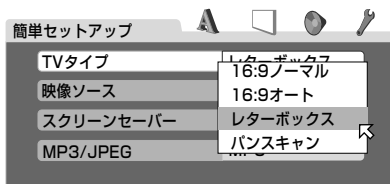
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。
- ディスクが入っているときは、取り出します。

簡単セットアップ

DVDプレーヤーでは、「簡単セットアップ」画面を表示させて、DVD設定メニュー(➡ 39ページ)の一部を簡単に設定することができます。これらの設定は、あとからDVD設定メニュー画面で設定することもできます。

❶ ソースをDVDプレーヤーにしオープニング画面を表示させる

❷ 設定を2秒以上押す

「簡単セットアップ」画面が表示され、「TVタイプ」のプルダウンメニューが表示されます。

❸ ▲/▼を押してテレビのタイプを選ぶ

・お買い上げ時は、「レターボックス」に設定されています。

ワイドテレビを接続しているとき:

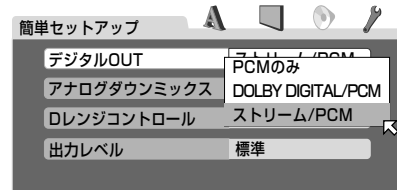
「16:9オート」または「16:9ノーマル」を選びます。

通常のテレビを接続しているとき:

「パンスキャン」または「レターボックス」を選びます。

・詳しくは、**40**ページをご覧ください。

❹ 決定を押す

テレビのタイプが設定され、「デジタルOUT」のプルダウンメニューが表示されます。

❺ ▲/▼を押してデジタル音声出力のタイプを選ぶ

本体背面のデジタル出力端子をつないでいるとき設定します。デジタル出力端子をつないでいないときは、お買い上げ時の設定のまま手順❻に進みます。

・お買い上げ時は、「ストリーム/PCM」に設定されています。

リニアPCMのみ対応のアンプやMDレコーダーなどと接続しているとき:

「PCMのみ」を選びます。

ドルビーデジタルデコーダー搭載AVアンプなどと接続しているとき:

「DOLBY DIGITAL/PCM」を選びます。

DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダーまたはMPEGデコーダー搭載AVアンプなどと接続しているとき:

「ストリーム/PCM」を選びます。

・詳しくは、**41**ページをご覧ください。

❻ 決定を押す

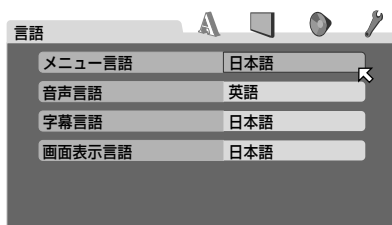
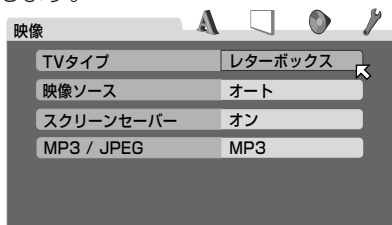
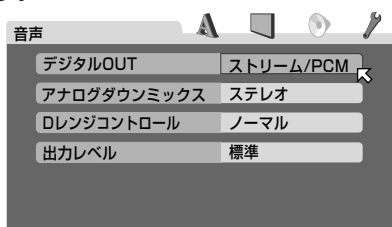
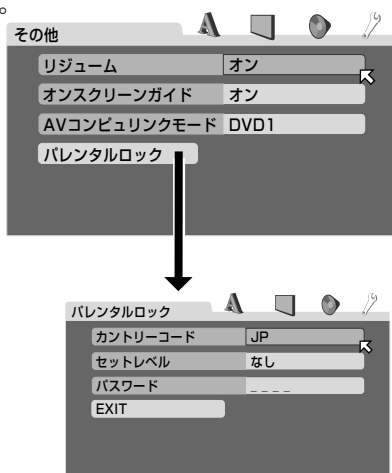
デジタル音声出力の設定がされ、オープニング画面が表示されます。

ご注意

・ DVD設定メニューの設定内容は、ソースがHDDレコーダーのときには反映されません。

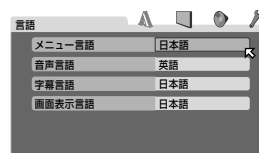
DVD設定メニューについて

次の4つの設定メニューを使って、DVDプレーヤーの設定をします。

:言語メニュー (➡ 40ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定と設定メニューの言語を設定します。

:映像メニュー (➡ 40ページ)
映像出力の設定などをします。

:音声メニュー (➡ 41ページ)
音声出力の設定をします。

:その他メニュー (➡ 41ページ)
その他の設定をします。
パレンタルロックのサブメニューがあります。

お買い上げ時の設定を変えるには

操作の例として「映像メニュー」の「スクリーンセーバー」の設定を変更します。

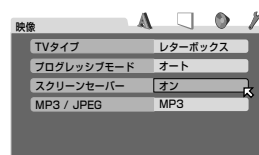
❶ 設定を押す

言語メニュー画面が表示されます。

例:DVDビデオのとき

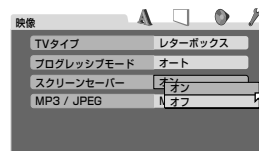
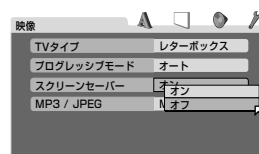
・再生中には選択できない項目もあります。

❷ ◀/▶をくり返し押して映像メニューを表示させる

・ ボタンを押すごとにメニュー画面は切り換わります。

❸ ▲/▼をくり返し押してを「スクリーンセーバー」に合わせる

・メニュー画面によっては、他の項目の設定によって選択できない項目もあります。

❹ 決定を押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

❺ ▲/▼をくり返し押してをお好みの設定に合わせる

❻ 決定を押す

設定が変更されました。

設定メニューを消すには

[設定]を押す

DVD設定メニュー項目一覧

（網掛け）お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容		
言語メニュー	メニュー言語	DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	音声言語	DVDの音声言語を選びます。 英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	字幕言語	DVDの字幕言語を選びます。 オフ⟷英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語⟷英語		
映像メニュー	TVタイプ 16:9画面 レターボックス画面 パンスキャン画面	お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。		
		16:9ノーマル	：画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。(本機が4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、出力信号の画面幅を自動調節します。)	「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。
		16:9オート	：普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。	
		レターボックス	：上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。	
		パンスキャン	：左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。	ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。
	映像ソース	ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。		
	ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてみてください。	オート	：素材のタイプ(ビデオ/フィルム)を自動判別します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像の再生に適しています。通常はこちらに設定します。	
		ビデオ(ノーマル)	：動きの少ないビデオ素材の映像の再生に適しています。	
		ビデオ(アクティブ)	：動きの激しいビデオ素材の映像の再生に適しています。	
		フィルム	：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録された映像ソースの再生に適しています(➡ **79**ページ)。	
	スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー(➡ **74**ページ)を使うか、使わないかを選びます。		
		オン	：静止画が5分以上続くと画面が暗くなります。	
		オフ	：スクリーンセーバーは機能しません。	
	MP3/JPEG	1枚のCD-R/CD-RWディスクにMP3、JPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするかを選びます。いずれか一方のみが記録されている場合は、設定に関わりません。		
		MP3	：MP3ファイルを再生するとき選びます。	
		JPEG	：JPEGファイルを再生するとき選びます。	

お買い上げ時の設定状態です。

	項　目	設　定　内　容
音声メニュー	デジタルOUT	本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。(デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません)設定項目と出力信号の関係については、**42**ページの表をご覧ください。 PCMのみ：リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。 DOLBY DIGITAL/PCM：ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。 ストリーム/PCM：DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	アナログダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVD ビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。(この設定はDVD ビデオを再生するときのみ影響します) ドルビーサラウンド：本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。 ステレオ：本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
	Dレンジコントロール	ドルビーデジタルの音声を再生しているときにダイナミックレンジ(最大音声と最小音声の差)を圧縮(コンプレッション)することができます。夜間にサラウンドをお楽しみいただくときに使います。 ワイドレンジ：ダイナミックレンジを圧縮しないでお楽しみいただけます。 ノーマル：通常はこちらに設定します。 TVモード：本機をテレビにつないでいるとき選びます。小さい音でもよく聞こえます。
	出力レベル	音声出力のレベルを小さくするときに使います。 標準：通常はこちらに設定します。 小：出力レベルが小さくなります。
その他メニュー	リジューム	リジューム再生(➡ **74**ページ)を使うか、使わないかを選びます。 ディスクリジューム：最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます。ディスクを取り出しても停止位置を記憶します。 オン：リジューム機能が働きます。 オフ：リジューム機能が働きません。
	オンスクリーンガイド	再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク(、 など)や文字を表示するか、表示しないかを選びます。、 オン：マークや文字が表示されます。 オフ：マークや文字が表示されません。
	AVコンピュリンクモード	ビクターのテレビやAVアンプなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。(➡ **93**ページ) DVD1：テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続したとき選びます。 DVD2：テレビのビデオ1入力に接続したとき選びます。 DVD3：テレビのビデオ2入力に接続したとき選びます。
	パレンタルロック	視聴制限(パレンタルロック)を設定します。この項目を選ぶと、パレンタルロック設定画面が表示されます。設定方法については、**90**ページをご覧ください。

次ページに続く

DVD設定メニュー項目一覧(つづき)

〈言語コード一覧〉

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラード語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア 語
KN	カンナダ語
KO	韓国(朝鮮)語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マライ(マレー)語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アフォン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ-ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンド語
SH	セルボアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア 語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ヴラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

〈デジタルOUT詳細〉

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビット リニアPCMのDVDビデオ 96kHzのリニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビット ステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3のCD-R/CD-RW	リニアPCM		

お知らせ

- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの再生では、20または24ビットの音声信号が、デジタル音声出力端子から出力されることがあります。

簡単な録画と再生

リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編をご覧ください。
(➡ 16〜24ページ)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

HDD(ハードディスク)に録画する

録画を始めると、自動的に録画の開始部分をサムネイル画像*として記録します。

❶ オンエア を押す

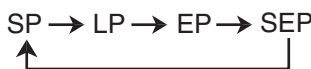
受信中の放送画面が現れます。

❷ ＋ HDD/TV チャンネル/－ を押して番組や外部入力を選ぶ

- チャンネルを変えてから映像が出るまで、数秒かかりますが故障ではありません。

❸ 残量確認/録画モード をくり返し押して録画モードを選ぶ

- 押すごとに録画モードが切り換わります。
- 一度だけ押すと現在の録画モードが表示されます。
- [▲/▼]を押して選択し、[決定]を押して決定することもできます。

SP → LP → EP → SEP

SP　: 高画質
LP　: 標準
EP　: 長時間
SEP : 超長時間

- 各録画モードの画質や録画時間については、**68**ページをご覧ください。

❹ 録画 を押しながら 再生 を押して録画を始める

- 本体ボタンでは、[●(録画)]を押すだけで、録画が始まります。
- 本体の録画ランプが点灯します。
- 録画中にソースをDVDプレーヤーに切り換えてディスクを再生しても、録画は続きます。

録画をやめるには

停止 ■ を押します。

録画を停止するかどうかのメッセージが表示されたあと、再度[停止(■)]を押します。

ご注意

- 電源を「入」にしたあと受信中の放送画面が現れるまでは、ハードディスク起動のため約20秒間何も操作できません。
- 録画した番組の再生中は、録画操作できません。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録画をして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

おしらせ

リモコンの数字ボタン(1〜9、0/11)でチャンネルを選ぶときは
①リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。
②数字ボタン(1〜9、0/11)を押す。
　例: 4チャンネルを選ぶときは[4]を押す。
　例: 10チャンネルを選ぶときは[1] → [0/11]と続けて押す。
　例: 外部入力を選ぶときは[0/11]を押す。
　　強制的に「F-1」入力に切り換わります。

***サムネイル画像とは…**
録画した番組の見出し用の静止画です。サムネイル画像は、録画番組ごとに自動的に取得されますが、お好みの静止画に変更することもできます(➡ **54**ページ)。

録画時間を設定する (ワンタッチタイマー録画)

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が「切」になります。
リモコンでは操作できません。

録画中に本体の[●(録画)]を押す

押すごとに、録画時間(最長6時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に残りの録画時間が表示されます。
設定時間がテレビ画面に表示されます。

- ワンタッチタイマー録画中は、録画ランプが点滅します。
- 録画を途中でやめるには、[■(停止)]を2回押します。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、メッセージが表示されます。どちらを録画するか選択してください。何もしないときは、録画予約が優先されます。
- 最長6時間まで設定できますが、残量時間が足りないときは、最長の録画可能時間は変わります。

簡単な録画と再生(つづき)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

一時録画を使う

お買い上げ時には、電源を「入」にすると、最長1時間分の一時録画ができます(➡ **63**ページ)。

❶ オンエアを押す

受信中の放送画面が現れ、受信中の番組の一時録画が始まります。

❷ HDD/TVチャンネル＋/－を押して番組を選ぶ

選んだ番組の一時録画が始まります。

- ソースをDVDプレーヤーに切り換えても、一時録画は続きます。

❸ 一時録画した番組を見る

ソースをHDDレコーダーにする

⬇

[早戻し(◀◀)]を押す

- ボタンを押すごとに戻るスピードが早くなります。

⬇

見たい場面で[再生(▶)]を押す

- HDD設定画面の時間差再生の設定時間以上を経過すると、最初から上書きされます(➡ **63**ページ)。
- 保存したい場合は、「さかのぼり録画」をすることができます(➡ **69**ページ)。
- 電源を「切」にすると、一時録画はクリアされます。

お知らせ

録画一時停止について

- 録画一時停止はできません。**[一時停止(❚❚)]**を押すと、時間差再生の一時停止になります。
  ただし、外部入力で録画中のみ一時停止できます。このときは、リモコンの**[録画(●)]**を押しながら**[一時停止(❚❚)]**を押します。
  再び録画するときは、**[録画(●)]**を押しながら**[再生(▶)]**を押します。本体側では操作できません。
- 録画一時停止は5分間以上続くと自動的に解除され、録画が始まります。

再生する

録画した番組を再生します。

❶ オンエアを押す

受信中の放送画面が現れます。

❷ 再生を押す

- 最後に録画した番組または前回の再生の続きが始まります。
- 再生中にソースをDVDプレーヤーに切り換えてディスクを再生しても、HDDレコーダーの再生は続きます。
- **[さがす]**を押して、見たい番組を探すこともできます(➡ **51**ページ)。

再生をやめるには

[停止(■)]を押す

- 停止後、受信映像が表示されるまでに数秒かかることがありますが故障ではありません。**[再生(▶)]**を押すと停止した所から再生が始まります。

ご注意

- 再生中に予約した録画の動作が始まると、一瞬音がとぎれることがあります。

お知らせ

「さがす」画面が表示されたら

- 「さがす」画面より見たい番組を選んでください。(➡ **51**ページ)
- お買い上げ時や停電後に**[再生(▶)]**を押すと、「さがす」画面が出ます。

映像を見ながら早送り/早戻しする(サーチ)

再生中に早送り/スロー(+)または早戻し/スロー(−)(本体の▶▶❘または❘◀◀)を押す

押すごとに、スピードが切り換わります。

早送り/スロー(+):+1.5(音声付き) → +3 → +5 → +15 → +60(倍速)

早戻し/スロー(−):−1 → −3 → −5 → −15 → −60(倍速)

- 逆方向のボタンを押すと、+1倍速(または−1倍速)になります。
- 通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。
- 録画番組の最後までサーチすると、再生一時停止になります。

再生を一時停止するには

再生中に[一時停止(II)]を押す

再生が一時停止し、静止画がテレビ画面に映ります。
・通常の再生に戻すには、[再生(►)]を押します。

再生中に[停止(■)]を押すと

停止位置が記憶され、再生が停止します。
[再生(►)]を押すと続きからご覧になれます。

終わりまで再生したら

自動的に停止し、受信映像に戻ります。
早送り中に終わりまでくると、一時停止になります。

ご注意

- 早送り/早戻し再生中は(早送り1.5倍速を除く)、音声が聞こえません。
- [再生(►)]などの操作ボタンを押したとき、一瞬画像が乱れたり、音声が途切れることがありますが、故障ではありません。

コマ送りやスローで再生する

コマ送り再生するには

再生中に[一時停止 II]を押す

静止画再生になります。

- [早送り(►►)]を押すごとに映像が1コマずつコマ送り再生されます。
- [早戻し(◄◄)]を押すごとに映像が1コマずつ逆方向へコマ送り再生されます。

スロー再生するには

再生中に[一時停止 II]を押す

静止画再生になります。

[早送り/スロー(+) ►►]または[早戻し/スロー(−) ◄◄]を2秒以上押すごとに、順方向または逆方向のスロー再生になります。

ボタンを押すごとに、スピードが切り換わります。

[早送り/スロー(+) ►►]：+1/18 → +1/6 → +1/2(倍速)

[早戻し/スロー(−) ◄◄]：−1/18 → −1/6 → −1/2(倍速)

- 逆方向のボタンを押すと、+1/18倍速(または−1/18倍速)になります。
- 通常の再生に戻すには、[再生(►)]を押します。

ご注意

- コマ送り、スロー再生中は、音声が聞こえません。

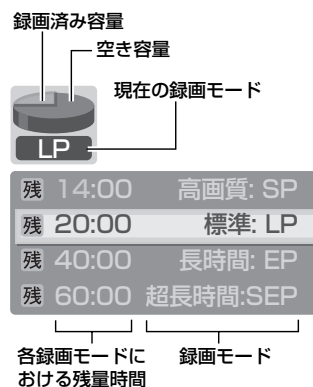
ハードディスクの残り時間を調べる

[残量確認/録画モード]を押す

テレビ画面に残量と録画モードが約8秒間表示されます。(下図参照)

本体表示窓には残量と録画モードを交互に約8秒間表示します。

残量 → 録画モード → 残量 → 録画モード
→ 元に戻る

- 下図表示中に[残量確認/録画モード]を押すと、録画モードが切り換わります。
  録画中に録画モードは変更できません。

例では、現在の録画モードであと20時間ほど録画することができます。

HDDレコーダー編

録画予約について

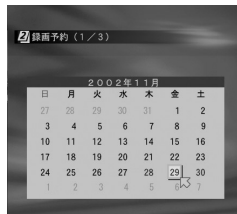
いろいろな予約方法

本機の録画予約には以下の方法があります。

A. 新聞やテレビ雑誌などからGコード®を入力して予約する（Gコード®予約）（➡ 47ページ）

新聞のテレビ欄やテレビ雑誌の番組欄に書かれている番号を入力します。

B. カレンダーの日付や時刻を入力して予約する（録画予約）（➡ 48ページ）

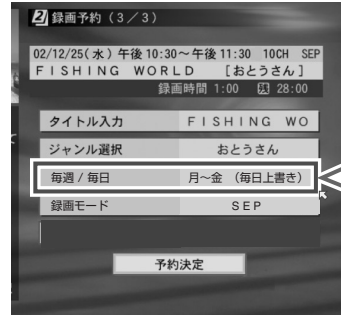
Gコード®がわからなかったり、日付や時刻の入力だけで予約するときに便利です。

その他の便利な使いかたを説明します。

- **Gコード®予約や録画予約中に番組が延長になったり、予約した時間より長く録画するとき**
  1. リモコンの［録画］を押しながら［再生 ►］を押す
     - 「予約録画から通常録画に移行します」と表示されます。
  2. ◄ / ► を押して「実行」を選び、［決定］を押す
     - 通常録画に戻ります。
  3. 本体の「●（録画）」を押して追加録画したい時間を設定する
     - 押すごとに30分ずつ増加できます。最大6時間まで延長できます。

- **予約していない番組を見ていて急に録画したくなったとき**
  - 番組の始めまでさかのぼってから録画するには
    さかのぼり録画が便利です（➡ 69ページ）。
  - 今見ている所からすぐに録画するには
    ワンタッチタイマー録画が便利です（➡ 43ページ）。

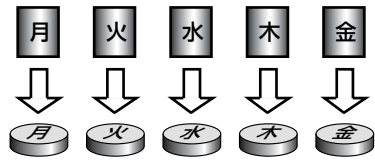
- **録画中にDVDプレーヤーの操作をしたいとき**
  録画開始後に、ソースをDVDプレーヤーに切り換えてディスクの再生などの操作をしても、録画は続きます。また、録画予約も実行されます。

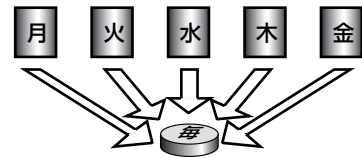
おまかせ毎週予約/毎日予約について

HDD側で録画予約するときに、ハードディスク容量を節約して録画することができます。（47ページの手順❺で設定します）

1回のみ
毎週（翌週上書き）
日～土（翌週上書き）
月～土（翌週上書き）
月～金（翌週上書き）
日～土（毎日上書き）
月～土（毎日上書き）
月～金（毎日上書き）

▲ / ▼ で選んで［決定］を押します。

- 予約する曜日によっては、表示されない項目があります。

おまかせ毎週予約

- 次の週になると、先週と同じ曜日の番組データを消して、同じ場所に上書き録画します。
- 残したい番組は、上書き更新される前にビデオデッキへダビングしてください（➡ 71ページ）。

おまかせ毎日予約

- 次の日になると、前日に録画した番組データを消して、同じ場所に上書き録画します。
- 残したい番組は、上書き更新される前にビデオデッキへダビングしてください（➡ 71ページ）。

お知らせ

予約が重なったときは
- 2つの予約が重なると警告表示が出ます。
  どちらかの予約を取り消すか、変更をしてください。重なったままにしておくと、先に始まった録画が終了してから、次の録画が始まります。

ご注意

次の場合には表示が出ません
- 1週間先の毎週または毎日予約（翌週上書き）と他の予約が重なっているとき
- 1日先の毎日予約（毎日上書き）と他の予約が重なっているとき

Gコード®機能を使って予約する（Gコード®予約）

ガイドチャンネル(➡ 33ページ)と時計(➡ 35ページ)の設定を先におこなってください。
録画予約(➡ **48**ページ)と合わせて、1年以内に32番組を予約することができます。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

❶ [予約メニュー]を押す

❷ [▲]/[▼]を押して「Gコード®予約」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押してGコード®番号を選び、[決定]を押す

- 数字ボタン(1～9、0/11)でも入力できます。
- 数字を間違えたときは、画面の「一文字消去」または、「全消去」を選び入力をやり直します。
- Gコード®番号は、新聞などのテレビ欄をご覧ください。

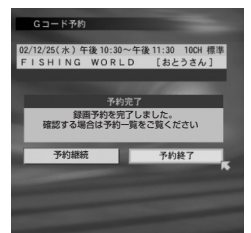
❹ [▼]を押して「決定」を選び、[決定]を押す

❺ 必要に応じて次の設定をする

- **タイトルを入力したいとき**
  [▲/▼/◀/▶]や[決定]で文字を入力します。
  録画終了後でも入力できます(➡ **55**ページ)。
- **ジャンルを入力したいとき**
  [▲/▼/◀/▶]で選び、[決定]で決定します。
  録画終了後でも入力できます(➡ **57**ページ)。
- **毎週/毎日予約録画したいとき(➡ 46ページ)**
- **録画モードを変更したいとき**
  [▲/▼]を押して「録画モード」を選び、[決定]を押します。
  [▲/▼]で変更したい録画モードを選び、[決定]を押します。

❻ [▲]/[▼]を押して「予約決定」を選び、[決定]を押す

- 予約内容が重複しているときは、画面に「他の予約と重なっています。今の予約を取り消すか、予約を確認し変更してください」と表示されます。
  予約を取り消すか変更してください(➡ **49**ページ)。
- 予約時間よりも残量時間が足りない場合、「残量時間が足りないため予約できません。
  不要な番組を取り消してください」と表示され、予約はキャンセルされます。

❼ [◀]/[▶]を押して「予約終了」を選び、[決定]を押す

- 続けて他の番組を予約するときは、「予約継続」を選び、決定ボタンを押して、手順❷～❻をくり返します。
- 本機の電源が「入」または「切」、HDDで再生中でも、録画予約は実行します。

録画予約を途中でやめるには

[停止(■)]を押したあと、[◀]を押して「中断」を選び、[決定]を押す

ご注意

Gコード®予約のときの注意

- Gコード®予約をしたときは、実際の番組時間よりも多少長めに録画されることがあります。

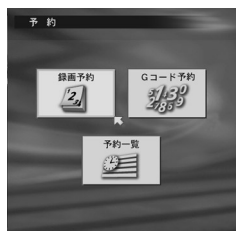
HDDレコーダー編

Gコード®機能を使わずに予約する(録画予約)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

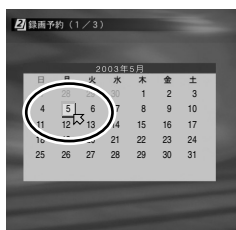
例：2003年5月5日午前10時30分から午前11時まで4チャンネルを予約する。

❶ [予約/メニュー]を押す

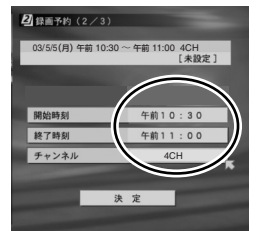
- 時計合わせをしていない場合、メッセージが表示され、このとき[決定]を押すと初期設定画面に切り換わります。

❷ [▲]/[▼]を押して「録画予約」を選び、[決定]を押す

- 録画予約がいっぱい(予約数が32)のときは、メッセージを表示します。

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して「録画日」を選び、[決定]を押す

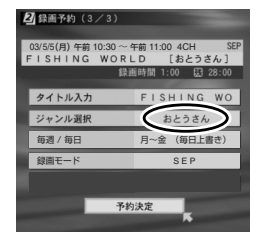
- 選択できない録画日は黒色になります。
- [▼]を押すと、翌月のカレンダーに変わります。

❹ [▲]/[▼]を押して「項目」を選び、[決定]を押す

❺ [▲]/[▼]を押して設定したあと[決定]を押す

- 開始時刻/終了時刻設定時は、[▲/▼]を押し続けると30分単位で変わります。
- 本機の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」、「L-1」または「L-2」を表示させます。

❻ [▼]を押して「決定」を選び、[決定]を押す

- 入力が正しいことを確認してから「**決定**」を選びます。その後、「**決定**」を押してください。

❼ 必要に応じて設定する

- 操作方法については、**47**ページの手順❺をご覧ください。

❽ [▼]を押して「予約決定」を選び、[決定]を押す

❾ [◀]/[▶]を押して「予約終了」を選び、[決定]を押す

- 続けて、他の番組を予約するときは、「予約継続」を選び、決定ボタンを押し、手順❷〜❽をくり返します。
- 本機の電源が「入」または「切」、HDDで再生中でも、録画予約は実行します。

予約の確認／取消し／変更をするときは

49ページをご覧ください。

録画を途中でやめるには

[停止(■)]を押したあと、[◀]を押して「中断」を選び、[決定]を押す

お知らせ

予約時間よりも残量時間が足りないときは

- 「残量時間が足りないため予約できません。不要な番組を取り消してください」と表示され、予約は取り消しされます。

録画予約が重複しているときは

- 警告メッセージが表示されます。予約を取り消すか、変更してください。

予約を確認・取り消し・変更する

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

❶ [予約メニュー]を押す

❷ [▼]を押して「予約一覧」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して取消しまたは変更したい日付けを選び、[決定]を押す

- 予約の入っている日は、赤い印が付きます。
- カレンダーの下には、選択した日付けの予約内容が表示されます。
- カーソルをカレンダーに戻すには[▲]を押します。

❹ [▲]/[▼]を押して取消しまたは変更したい予約を選び、[決定]を押す

- 「予約取消し」または「予約変更」の選択画面を表示します。

❺ 取消しまたは変更する

取消しするときは

① [◀]で「予約取消し」を選び[決定]を押す

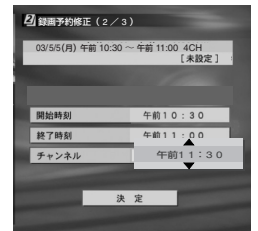
② [予約]を押して終了する

変更するときは

「予約変更」を選び[決定]を押したあと、手順❻へ進む

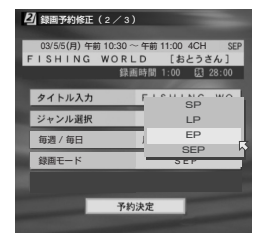
❻ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して変更したい日付けを選び、[決定]を押す

❼ [▲]/[▼]を押して変更したい項目を選び、[決定]を押す

- [▲/▼]を押して内容を変更後[決定]を押します。

❽ [▼]を押して「決定」を選び、[決定]を押す

- 修正内容が正しいことを確認してから[決定]を選びます。その後、[決定]を押してください。
- [戻る]を押すと、前の画面に戻ります。

❾ 必要に応じて、その他の項目も変更する

- 操作方法は手順❼と同じです。
- 変更できない項目はグレー表示されます。

❿ [▼]を押して「予約決定」を選び、[決定]を押す

⓫ [◀]/[▶]を押して「予約終了」を選び、[決定]を押す

ご注意

- 毎週または毎日予約を1回でも実行したあとは、予約内容のうち、録画先、チャンネル、毎週/毎日設定、録画モードの変更はできません。変更するときは、予約を取り消して、再度予約をやり直してください。

HDDナビゲーションを使う

HDDナビゲーション画面について

HDDナビゲーション画面を表示させせるには、リモコン切換スイッチを「HDD」側にしてから、[さがす/トップメニュー]を押して「録画一覧」を選び、[決定]を押します。

情報アイコン一覧

アイコン	説明
毎週	毎週予約の番組（➡ **46**ページ）
毎日	毎日上書き予約の番組（➡ **46**ページ）
月	毎日の翌週上書き予約の番組（➡ **46**ページ）例：月曜日に上書きされる番組
NEW	録画してから一度も見ていない番組（一度見たあとは、NEW 表示が消えます）
🚫	コピー禁止番組
S	ステレオ放送の番組
▤	二重音声放送の番組
🕘	録画予約番組

HDDナビゲーションに登録される情報

録画日時 .... 録画した日付と開始時刻/終了時刻が登録されます。

録画チャンネル .... 録画チャンネルが登録されます。

録画モード .... 録画時の録画モードが登録されます。

タイトル .... 英数字、カタカナで15文字までタイトルを登録できます(➡ **56**ページ)。

ジャンル/ファミリー .... 16種類のジャンルが用意されています。
ファミリーは最大10種類用意されています(➡ **57**ページ)。

サムネイル .... 録画した番組の見出し用の静止画です。録画開始時に一度、録画予約実行後は5分ほどしてから、もう一度自動的に取り込みます。また、サムネイルは録画後に、お気に入りの静止画に変更することができます(➡ **54**ページ)。

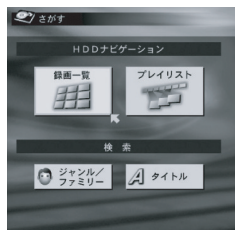
録画中に変更したいときは、変更したいシーンで**[決定]**を押します。HDDで再生中に録画が実行されたときは、サムネイル画像が登録されません。このようなときは、「サムネイル未登録」と表示されます。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

録画した番組の頭出しをする

本機のHDDナビでは、最大100番組まで登録できます。サムネイル画像やタイトルなどを見て、見たい番組を頭出しします。HDD側が録画中でも番組の頭出しはできます。

❶ [さがす/トップメニュー]を押して「さがす」画面を表示させる

❷ [◀]/[▶]を押して「録画一覧」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して見たい番組を選び、[決定]を押す

一度に表示される番組のサムネイルは9つまでです。9番目以降の番組のサムネイルを表示させるには、[◀◀(早戻し/スロー(−))]または[▶▶(早送り/スロー(+))](本体では[|◀◀]または[▶▶|])を押して画面を切り換えます。

- 本体の[TOPMENU/HDD NAVI]を押しても、この画面を表示します。本体の[▲/▼/▶/◀]を押して再生したい番組を選んだあと、[ENTER]を押すと番組の始めから再生します。

❹ [◀]/[▶]を押して「はじめから再生」を選び、[決定]を押す

番組の始めから再生が始まります。

- 前回の続きから見たいときは、「つづきから再生」を選びます。手順❸で、NEW 表示の番組を選んだときは、「つづきから再生」を選ぶことはできません。
- くり返し再生したいときは、「くり返し再生」を選びます。
- 再生が終わると、自動的に放送受信画面に切り換わります。
- 早送り再生などで番組の最後までいくと一時停止状態になります。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

- 再度見るときは、[再生(▶)]を押します。続きから再生が始まります。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

❹ [◀]/[▶]を押して「はじめから再生」を選び、[決定]を押す

番組の始めから再生します(追っかけ再生)。

- 早送り再生などで録画位置に追いついた場合は、録画中の画像に切り換わります。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。
録画中の画面に切り換わります。

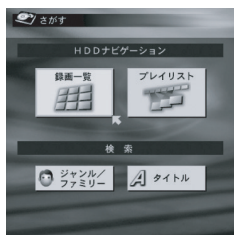
録画をやめるには

[停止(■)]を2回押します。
1回押すと、確認のメッセージが表示されます。確認してから再度押します。

録画中に録画している番組の始めから見る

録画中に、録画している番組の始めから再生できます。

❶ 録画中に、[さがす/トップメニュー]を押して「さがす」画面を表示させる

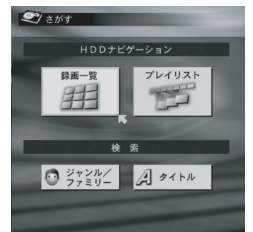
❷ [◀]/[▶]を押して「録画一覧」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して録画中の番組(一番最初のサムネイル画像)を選び、[決定]を押す

録画中の番組は左上に表示されます。

複数の番組を決めた順番で見る(プログラム再生)

見たい順番に設定して再生することができます(最大8番組)。連続ドラマなどをまとめて見ることができます。

❶ [さがす/トップメニュー]を押して「さがす」画面を表示させる

❷ [◀]/[▶]を押して「録画一覧」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して見たい番組を選び、[12]を押す

- 見たい番組の数だけ選びます(8つ以内)。
- 間違えたときは、再度[12]を押します。番号が消去されます。
- 複数の番号を全て消去したいときは、[戻る]を押して「さがす」画面に戻り、手順❷からやり直します。
- 同じ番組を2回以上選ぶことはできません。

❹ [決定]を押す

選んだ番号順に再生します。

- 全ての再生が終わると、自動的に放送受信画面に切り換わります。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

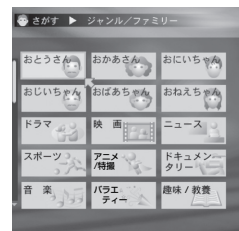
見たい番組を探す（ジャンル/ファミリー検索）

見たい番組をジャンルやファミリーの種類で探して、再生することができます。

❶ [さがす/トップメニュー]を押して「さがす」画面を表示させる

❷ [▼]を押して「ジャンル/ファミリー」を選び、[決定]を押す

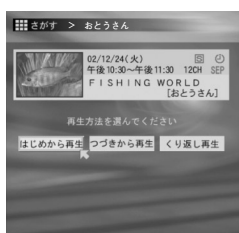
❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して探したい番組の「ジャンル/ファミリー」を選び、[決定]を押す

・「おとうさん」などは、ファミリー設定で「使用」を選んだ項目のみ表示します(➡ **36**ページ)。

❹ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して見たい番組を選び、[決定]を押す

❺ [◀]/[▶]を押して「はじめから再生」を選び、[決定]を押す

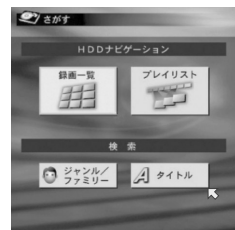
番組の始めから再生します。

・再生が終わると放送受信画面に切り換わります。

・早送り再生などで番組の最後までいくと一時停止状態になります。

見たい番組を探す（タイトル検索）

見たい番組をタイトルで探して、再生することができます。

❶ [さがす/トップメニュー]を押して「さがす」画面を表示させる

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して「タイトル」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して探したい番組タイトルの頭文字を選び、[決定]を押す

❹ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して見たい番組を選び、[決定]を押す

・指定したタイトルがないときは、次の文字以降のタイトルを表示します。

❺ [◀]/[▶]を押して「はじめから再生」を選び、[決定]を押す

番組の始めから再生します。

・再生が終わると放送受信画面に切り換わります。

・早送り再生などで番組の最後までいくと一時停止状態になります。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

番組の見出し画像(サムネイル)を修正する

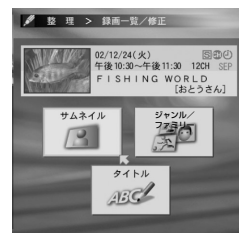
録画時に自動的に登録されたサムネイル画像を、お好みの場面の画像に変更できます。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ◀/▶を押して「録画一覧」の「修正」を選び、決定を押す

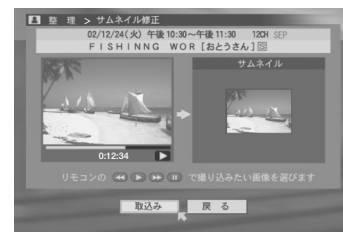
❸ ◀/▶/▲/▼を押して修正したい番組を選び、決定を押す

❹ ◀/▶を押して「サムネイル」を選び、決定を押す

選択した番組を自動的に再生します。

❺ 修正したいシーンで一時停止を押す

❻ 決定を押す

新しい画像が登録されます。

・取込みができなかったときは、[再生(▶)]を押したあと、手順❺、❻をくり返します。

❼ ◀/▶を押して「戻る」を選び、決定を押す

❽ 整理を押して終了する

番組のタイトルを修正する

録画した番組にタイトルを付けたり、修正できます。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

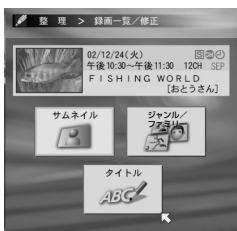
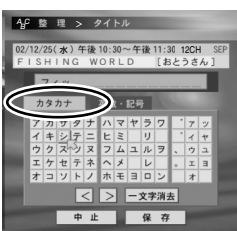
❷ ◀/▶を押して「録画一覧」の「修正」を選び、決定を押す

❸ ◀/▶/▲/▼を押してタイトルを追加または修正したい番組を選び、決定を押す

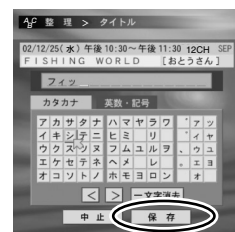
❹ ▼を押して「タイトル」を選び、決定を押す

選択した番組を自動的に再生します。

❺ ◀/▶/▲/▼を押して「カタカナ」または「英数・記号」を選ぶ

❻ ◀/▶/▲/▼を押して文字を選び、決定を押す

・必要に応じて手順❺、❻をくり返して、タイトル文字を入力する（➡ **56**ページ）。

❼ ◀/▶/▲/▼を押して「保存」を選び、決定を押す

・他にも修正したい番組タイトルがあれば**[戻る]**を押したあと、手順❸〜❽をくり返します。

❽ 整理を押して終了する

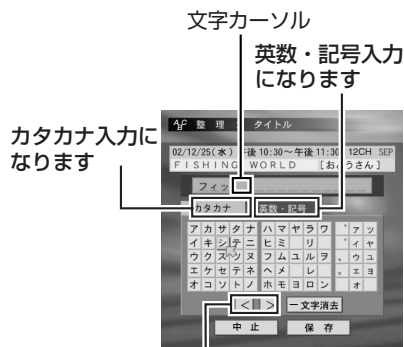
- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

タイトルを入力する

番組タイトルは15文字まで入力できます。文字は全てタイトル画面で入力します。

文字入力のしかた

カタカナ、英数・記号の２種類があります。

❶ ◀／▶を押して「カタカナ」または「英数・記号」を選ぶ

❷ ◀／▶／▲／▼を押してタイトル文字を選び、決定を押す

文字カーソルが右へ移動します。

❸ 文字入力が終わるまで❶、❷をくり返す

❹ ◀／▶／▲／▼を押して「保存」を選び、決定を押す

・[整理]を押すと、放送受信画面に戻ります。

タイトルを消すには

❶ ◀／▶／▲／▼を押して「<」または「>」を選び、決定を押して消したい文字に文字カーソルを合わせる

❷ ◀／▶／▲／▼を押して「一文字消去」を選び、決定を押す

❸ ◀／▶／▲／▼を押して「保存」を選び、決定を押す

・「中止」を選ぶと、入力したタイトルを保存しないで、前の画面に戻ります。
・[整理]を押すと、放送受信画面に戻ります。

ジャンル/ファミリーを修正する

録画した番組のジャンル/ファミリーが修正できます。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ◀/▶を押して録画一覧の「修正」を選び、決定を押す

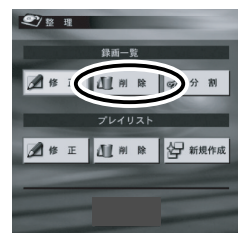
❸ ◀/▶/▲/▼を押してジャンル/ファミリーを修正したい番組を選び、決定を押す

❹ ▶を押して「ジャンル/ファミリー」を選び、決定を押す

❺ ◀/▶/▲/▼を押して修正したい「ジャンル/ファミリー」を選び、決定を押す

❻ 整理を押して終了する

録画した番組を削除する

HDDナビゲーションの録画登録数が100番組になると、それ以上の録画はできません。
このようなときダビング(➡ **71**ページ)などをしたあとで不要な番組を削除すると、残量時間が増えて録画可能な領域を増やすことができます。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ▶を押して録画一覧の「削除」を選び、決定を押す

❸ ◀/▶/▲/▼を押して削除したい番組を選び、決定を押す

❹ ◀を押して「削除」を選び、決定を押す

- 削除を取消したいときは、「取消し」を選び、**[決定]**を押します。
- 必要に応じて手順❸、❹をくり返します。

❺ 整理を押して終了する

削除を実行すると

- HDDレコーダーに録画されている番組と登録情報を同時に削除します。
- プレイリストで使用している番組を削除すると、プレイリストも同時に削除されます。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

録画した番組を2つに分ける(分割)

❶ [整理]を押して「整理」画面を表示させる

❷ [▶]を押して「分割」を選び、[決定]を押す

❸ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して分割したい番組を選び、[決定]を押す

❹ [再生]を押したあと、[早送り/スロー(+)]/[早戻し/スロー(−)]などを使って分割したい部分を探し、[一時停止]を押す

❺ [決定]を押す

❻ [◀]/[▶]を押して「プレビュー」を選び、[決定]を押す

・番組Bの始めの部分だけを再生し、分割したポイントで一時停止します。

❼ 分割ポイントが決まったら、[◀]/[▶]を押して「確定」を選び、[決定]を押す

・やり直したいときは**[◀/▶]**を押して「やり直し」を選び、**[決定]**を押したあと、手順❹〜❻をくり返します。

❽ [◀]を押して「分割」を選び、[決定]を押す

❾ [整理]を押して終了する

番組を削除したいときは

57ページをご覧ください。

お知らせ

プレビューとは…
分割を実行する前に、分割ポイントを確認するための映像(プレビュー)を見ることができます。

次のようなときは分割できません。
- 録画中の番組
- 毎週/毎日予約した番組
- プレイリストで使用している番組
- 録画登録数が100番組ある場合

プレイリストを作成する

プレイリストは録画した番組や情報を一切変えないで、自由に編集して再生ができます。プレイリストは最大100個まで作成できます。1つのプレイリストに登録できるシーン数は100シーンまでです。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

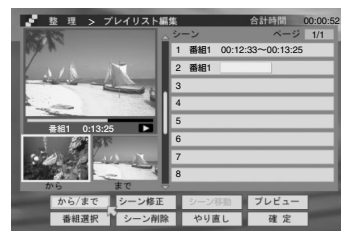
❷ ◁/▷/△/▽を押してプレイリストの「新規作成」を選び、決定を押す

❸ ◁/▷/△/▽を押してプレイリストを作成したい場面のある番組を選び、決定を押す

自動的に再生が始まります。

❹ 再生開始点(から)にしたい映像が表示されたら、決定を押す

・[早送り(▶▶)] [早戻し(◀◀)] [一時停止(❙❙)]などを使って探します。
・画面左下の「から」の部分に選択した画像のサムネイルが表示されます。

❺ 再生終了点(まで)にしたい映像が表示されたら、決定を押す

・画面左下の「まで」の部分に選択した画像のサムネイルを表示後、画面下のボタンが全て使用可能になります。ただし、シーンが1つしか登録されていないときは、「シーン移動」は選択できません。

❻ 必要に応じて手順❹、❺をくり返す

・**他の番組から選びたいときは**
[▼]を押して「番組選択」を選び、[決定]を押したあと、手順❸〜❺をくり返します。

・**シーンを削除したいときは**
1. [▲/▼/►/◄]で「シーン削除」を選び、[決定]を押します。
2. [▲/▼]で削除したいシーンリストの行を選び、[決定]を押します。

・**1つ前の状態に戻したいときは**
削除したシーンや移動したシーンなどを1つ前の状態に戻したいときは、[▲/▼/►/◄]で「やり直し」を選び、[決定]を押します。

・**プレビューしたいときは**
[▲/▼/►/◄]で「プレビュー」を選び、[決定]を押すと、シーン1から再生します。

❼ ◁/▷/△/▽を押して「確定」を選び、決定を押す

❽ 「作成終了」が選ばれている状態で、決定を押す

・プレイリスト編集画面が消えます。
・シーン修正、シーン移動、サムネイル、タイトル、ジャンル･ファミリーを修正したいときは、[◄]を押して「修正」を選び[決定]を押します。
詳しくは**54**〜**57**、**61**ページをご覧ください。

手順❸で毎週/毎日予約番組を選択したときは

・次の録画で上書きされたときに、現在のプレイリストは削除されます。

お知らせ

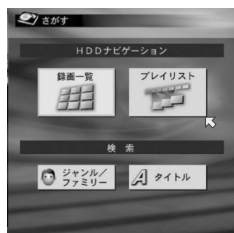
プレイリストのシーン表示について
・100行目は「00」と表示されます。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

プレイリストを再生する

作成したプレイリストの再生をします。

❶ さがす/トップメニューを押して「さがす」画面を表示させる

❷ ▶を押して「プレイリスト」を選び、決定を押す

❸ ◀/▶/▲/▼を押して見たいプレイリストを選び、決定を押す

・プログラム再生したいときは、**52**ページをご覧ください。

❹ ◀/▶を押して「はじめから再生」を選び、決定を押す

番組の始めから再生します。

・再生が終わると放送受信画面に切り換わります。

・早送り再生などで番組の最後までいくと一時停止状態になります。

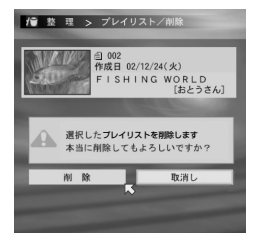
プレイリストを削除する

プレイリストを削除しても録画した番組や情報には影響ありません。

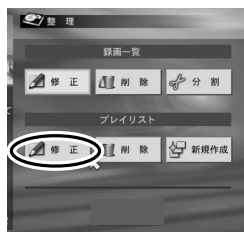
❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ◀/▶を押してプレイリストの「削除」を選び、決定を押す

❸ ◀/▶/▲/▼を押して削除したいプレイリストを選び、決定を押す

❹ ◀を押して「削除」を選び、決定を押す

❺ 整理を押して終了する

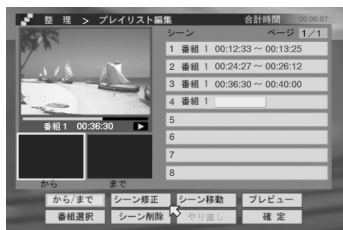
プレイリストを修正する（シーン修正）

作成したプレイリストのシーンが修正できます。

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ▼を押してプレイリストの「修正」を選び、決定を押す

❸ ◀/▶/▲/▼を押して修正したいプレイリストを選び、決定を押す

❹ ◀/▶/▲/▼を押して「シーン」を選び、決定を押す

❺ ▶を押して「シーン修正」を選び、決定を押す

❻ ◀/▶/▲/▼を押して修正したいシーンを選び、決定を押す

❼ 59ページの手順❹〜❽の操作をおこなう

プレイリストを修正する（シーン移動）

作成したプレイリストのシーンが移動できます。

❶ 「プレイリストを修正する（シーン修正）」の手順❶〜❹の操作をする

❷ ▶を押して「シーン移動」を選び、決定を押す

❸ ▲/▼を押して移動したいシーンリストの行を選び、決定を押す

❹ ▲/▼を押して移動先のシーンリストの行を選び、決定を押す

❺ ◀/▶/▲/▼を押して「確定」を選び、決定を押す

❻ 「作成終了」が選ばれている状態で、決定を押す

プレイリスト編集画面が消えます。

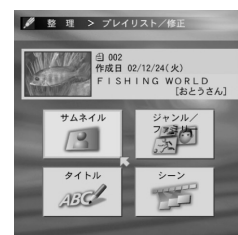
- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

プレイリストのサムネイル/タイトル/ジャンル・ファミリーを修正する

❶ 整理を押して「整理」画面を表示させる

❷ ▼を押してプレイリストの「修正」を選び、決定を押す

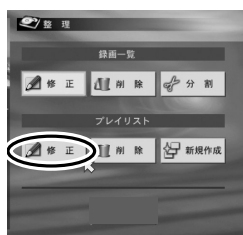
❸ ◀/▶/▲/▼を押して修正したいプレイリストを選び、決定を押す

❹ ◀/▶/▲/▼を押して修正したい内容を選び、決定を押す

❺ プレイリストを修正する

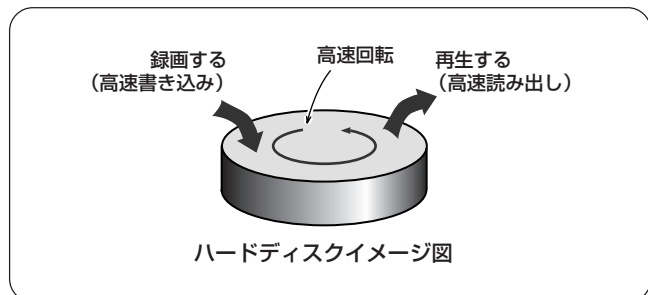
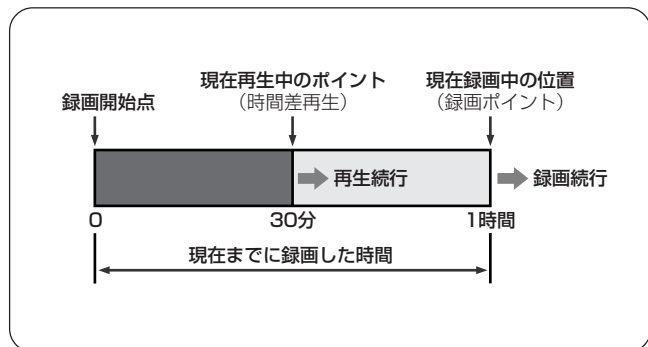
サムネイルを修正するときは
54ページの手順❺～❽の操作をする

タイトルを修正するときは
55ページの手順❺～❾の操作をする

ジャンル/ファミリーを修正するときは
57ページの手順❺～❻の操作をする

時間差再生機能について

時間差再生モードとは

本機は、ハードディスクに映像を録画し再生できます。このため従来のビデオデッキではできなかった高速の書き込みや読み出しが可能になり、録画と再生を同時に行うことができるようになりました。

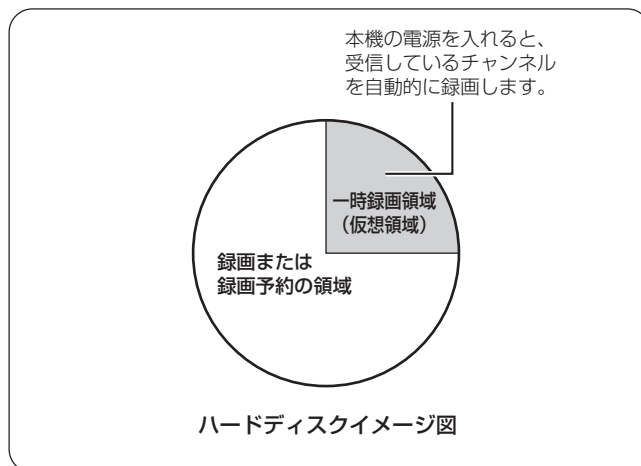
ハードディスクイメージ図

下図の様に録画ポイントから時間差をつけて再生することを「時間差再生」と言います。

ご注意

・ 基本機能設定メニューで時間差再生を「切」にしたときは、時間差再生ができません（➡ **37**ページ）。

一時録画とは

本機は、電源を入れると特に録画操作をしなくても、自動的にハードディスク内にある仮想領域に設定した時間枠*の中で、受信しているチャンネルを録画します。

* 時間枠：30分/1時間/3時間の設定（➡ **37**、**68**ページ）ができます。また、一時録画のときの録画モードは「SP」に固定されています。一時録画の操作について詳しくは、**44**、**68**ページをご覧ください。

ハードディスクイメージ図

常に最新の受信チャンネルを録画するため、過去の映像は上書きされます。
一時録画という機能により、少し前の番組は再生できますが、設定した時間枠を超えた番組はすでに上書きされているため、お好みの番組は再生できません。
お好みの番組を保存するためには、さかのぼり録画（➡ **69**ページ）、録画または録画予約をしてください。ハードディスク内の録画または録画予約の領域に録画された番組は保存されているため、あとからいつでも再生が可能です。

一時録画番組の自動消去について

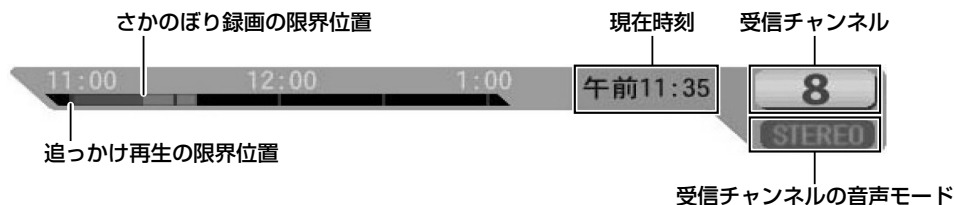
以下の操作をすると自動的に消去されます。

・電源を「切」にしたとき
・停電から復帰したとき
・通常録画（➡ **43**ページ）、録画予約（➡ **46**～**48**ページ）、さかのぼり録画（➡ **69**ページ）が開始されたとき
・HDD設定メニューで時間差再生の設定を変更したとき（➡ **37**ページ）
・チャンネル合わせを実行したとき（➡ **25**、**26**ページ）

便利な機能

HDDレコーダーのテレビ画面表示

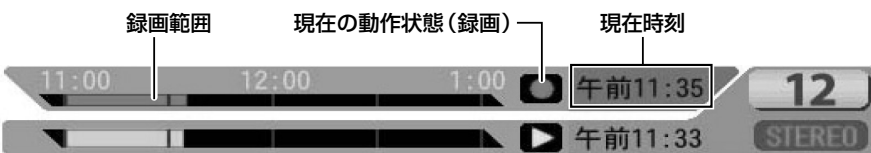
［画面表示］を押すと、下のような表示が出ます。もう一度押すと消えます。

オンエア（現在放送中の画面）表示

時間差再生情報の表示

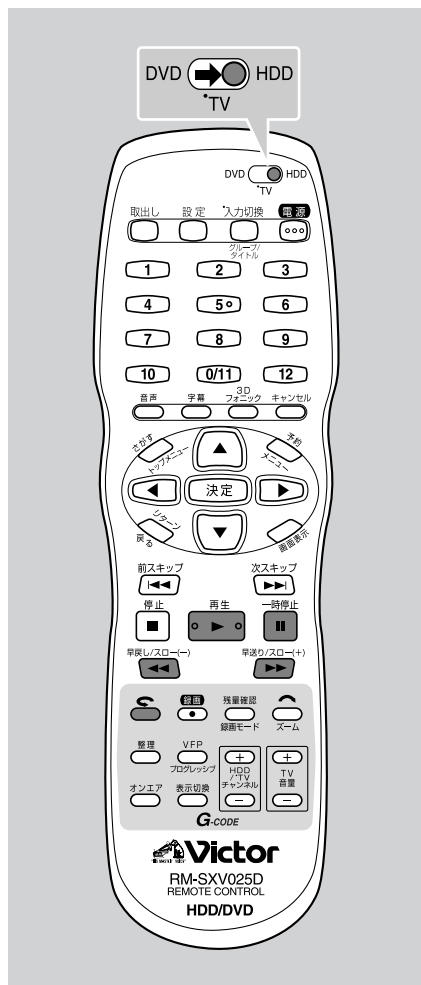
時間差再生をやめて現在の録画位置に戻すには

[停止(■)]または[オンエア]を押します。

時間差再生が止まり、現在の録画位置に戻ります。

録画情報の表示

再生情報の表示

いろいろな再生をする

● リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

追っかけ再生 ……………… 録画中/一時録画中の番組をさかのぼって再生する

[早戻し/スロー(−)]を押したあと、見たい場面で[再生]を押す

・録画開始点まで戻すと静止画を表示して一時停止します。**[再生(►)]**を押してください。

チョット見バック再生 ……… 再生中/録画中/一時録画中に見過ごしたシーンをちょっとだけ戻して見る

[チョット見バック]を押す

・押すごとに約7秒前に戻って再生します。
・一時停止中に押すと、約7秒前に戻って一時停止します。

一時停止再生 …………………………… 再生中/録画中/一時録画中に止めておいたシーンから続きを再生する

止めたいときに[一時停止]を押して一時停止にしておき、続きを見るときに[再生]を押す

・見ている映像が一時停止します。
録画中の場合は、録画を続行します。

・止めておいたシーンから続きを見ることができます。

1.5倍速再生 ………………………………………………… 番組を短時間で再生する

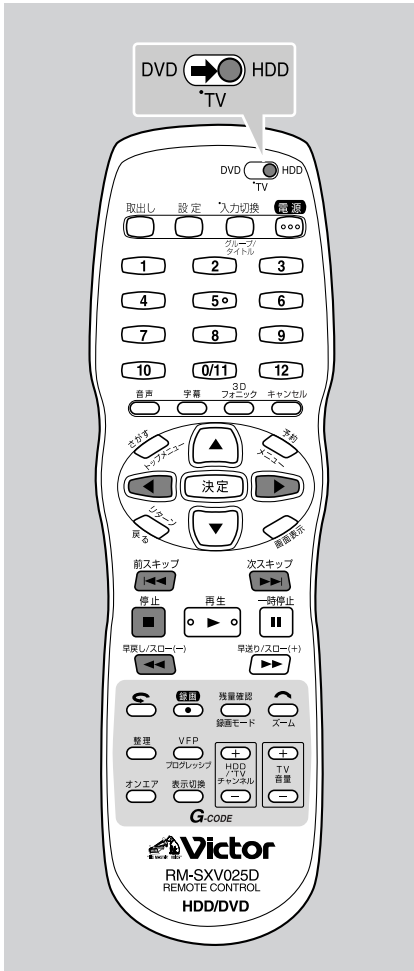
録画した番組の再生中に[早送り/スロー(+)]を1回押す

・1.5倍速再生になり、音声も早くなります。
・**[画面表示]**を押すと、テレビ画面の右上に「+×1.5」が表示されます。

お知らせ

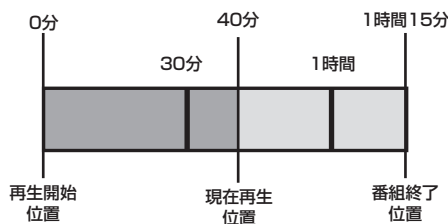
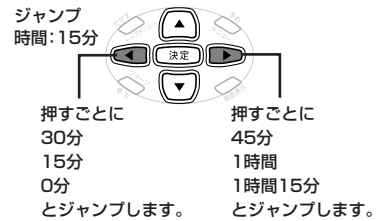
・追っかけ再生中に**[早送り(►►)/スロー(+)]**を押しても1.5倍速再生になります。
・追っかけ再生･チョット見バック･一時停止再生などの時間差再生を行うには設定画面の「HDD設定」➡「時間差再生」を「切」以外に設定してください(➡ 37ページ)。

いろいろな再生をする(つづき)

● リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

ジャンプ再生 .... ジャンプして再生中の頭出しをする

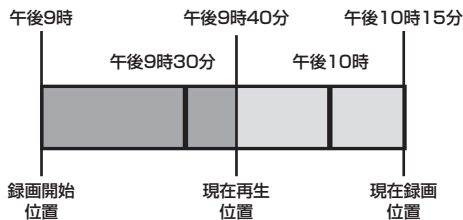
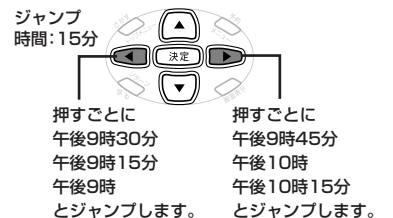
再生中に[前スキップ]または[次スキップ]([◀]/[▶])を押す

・押すごとに設定した時間ぶんジャンプして再生します。

例：通常再生で、ジャンプ時間を「15分」に設定したとき

再生開始位置を基準に15分区切りの位置にジャンプします。

時間差再生ジャンプ .... ジャンプして録画中の頭出しをする

録画中、オンエア中または時間差再生中に[前スキップ]または[次スキップ]([◀]/[▶])を押す

・押すごとに設定した時間ぶんジャンプして再生します。

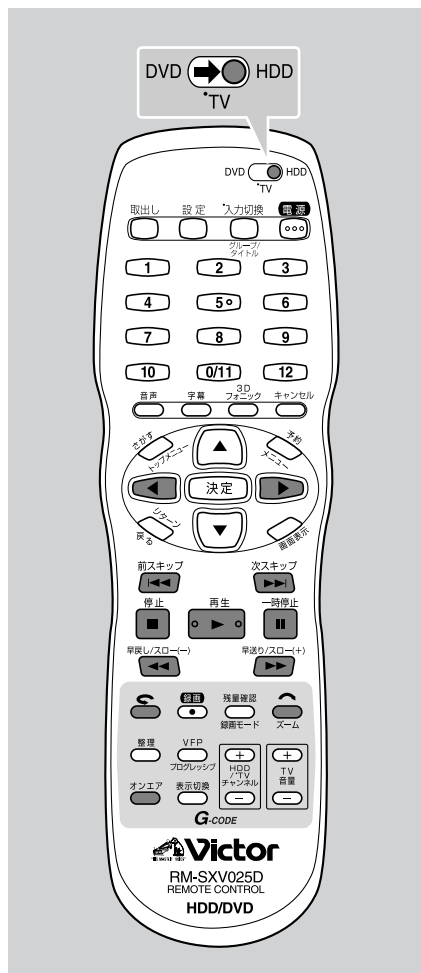
例：時間差再生で、ジャンプ時間を「15分」に設定したとき

現在再生位置の時刻を基準に前後の0分/15分/30分/45分の最も近い時刻へジャンプします。

再生開始位置または録画開始位置までいくと

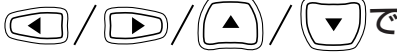
「これ以上は戻ることができません」を表示します。

番組終了位置または現在録画位置までいくと

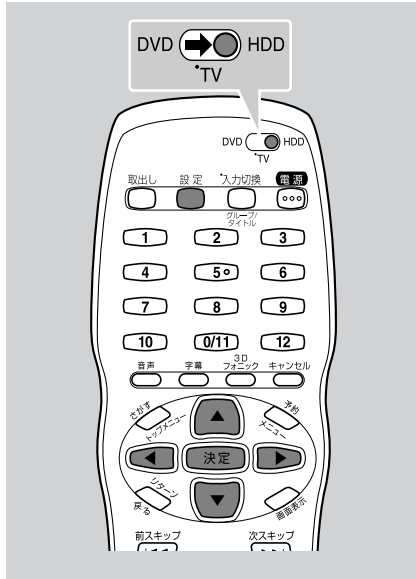
「これ以上は進むことができません」を表示し、一時停止状態になります。
[◀]、[早戻し(◀◀)]または[停止(■)]を押してください。

時間差再生機能に使えるボタン

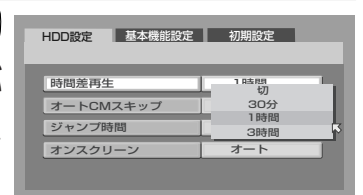
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

使えるボタン	ボタン名称と機能
再生	**再生(►)ボタン** 押すと、再生になります。
早戻し/スロー(−)	**早戻し(◄◄)/スロー(−)ボタン** 時間差再生中に押すと、押すごとに逆再生スピードが早くなります(➡ **45**ページ)。 静止画再生中にくり返し押すと、コマ送り再生になり、2秒以上押し続けると逆転スロー再生になります。
早送り/スロー(+)	**早送り(►►)/スロー(+)ボタン** 時間差再生中に押すと、押すごとに再生スピードが早くなります(➡ **45**ページ)。 静止画再生中にくり返し押すと、コマ送り再生になり、2秒以上押し続けると正転スロー再生になります。
一時停止	**一時停止(❚❚)ボタン** 押すと、一時停止(静止画再生)になります。
ズーム	**CMスキップボタン** 1回押すと、約30秒先にスキップします。 続けて押すと、その回数ぶん連続してスキップします。
	チョット見バックボタン 1回押すと、約7秒前に戻って再生します。 続けて押すと、その回数ぶん連続して戻ります。 スポーツ番組などでお使いください。
前スキップ 次スキップ ◄ / ►	**前スキップ(❙◄◄)または次スキップ(►►❙)ボタン** **◄/►ボタン** 時間差再生中に押すと、設定した時間だけジャンプして再生します。
停止	**停止(■)ボタン** 時間差再生中に押すと、現在放送中の画面に戻ります。 録画中に2回押すと、録画を終了し、現在放送中の画面に戻ります。
オンエア	**オンエアボタン** 押すと、現在受信中の画面に切り換わります。

HDDレコーダー編

一時録画の設定時間を変える

一時録画する時間を設定します。お買い上げ時は、「1時間」に設定されています。

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

❶ 設定 を押したあと、◀/▶/▲/▼で「HDD設定」➡「時間差再生」を選ぶ

❷ 決定 を押したあと、▲/▼を押してお好みの設定時間を選ぶ

・設定が切り換わるまでに10数秒かかることがあります。

❸ 決定 を押したあと、設定 を押して終了する

時間差再生の設定と録画可能時間について

設定時間によって、録画可能時間が異なります。

(目安です)

録画モード ＼ 時間差再生の設定時間	切	30 分	1 時間	3 時間
SP (約8 Mbps)	20 時間	19 時間	18 時間	16 時間
LP (約6 Mbps)	28 時間	27 時間	26 時間	23 時間
EP (約3 Mbps)	56 時間	53 時間	52 時間	46 時間
SEP (約2 Mbps)	80 時間	79 時間	77 時間	68 時間

録画モードの画質について

SP/LPモード ………………… スポーツ番組などの動きの速い番組を録画するときにお勧めします。

EPモード ………………………… ドラマなどの動きが遅く、あまり明暗のない番組を録画するときにお勧めします。

SEPモード …………………… アニメ番組のように輪郭がはっきりしている番組、録画可能時間に余裕がないときにお勧めします。

設定時間について

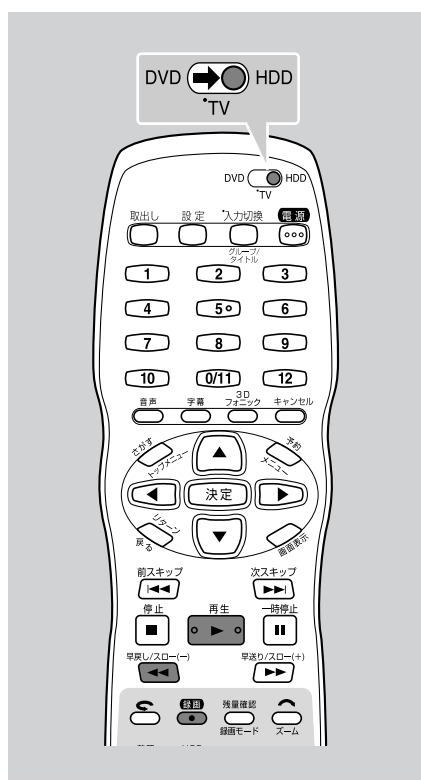
- 設定した時間だけ一時録画を行い、設定時間を超えると過去の映像から上書きされて新しく録画します。
  一時録画で録画された映像を見るときは、ソースをHDDレコーダーに選んでから操作してください。

録画フォーマットについて

- DVDビデオなどと同じMPEG2フォーマットを使っています。
  画質の目安として、1秒間にどれくらいのデータ量を記録できるかを示す単位(bps)を使います。この数値が大きい方が画質に有利になりますが、記録するために必要な容量も大きくなります。

一時録画の内容をHDDに保存する（さかのぼり録画）

オンエア（現在放送中の映像）を見ているときに、さかのぼって録画できます。
HDDレコーダーに保存するためには、今見ているチャンネルの範囲内でさかのぼってから録画します。
一時録画の内容を全てまたはチャンネルが変わっても録画したいときは、外部に接続したビデオ機器に録画してください（➡ 71ページ）。

- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。
- 「時間差再生」を「切」以外に設定します（➡ **37**ページ）。

❶ [早戻し/スロー(−)]を押す

・早戻し再生します。

・押すごとに速くなります。
見たいシーンを素早く探すときに便利です。

❷ 録画したい場面で[録画]を押しながら[再生]を押す

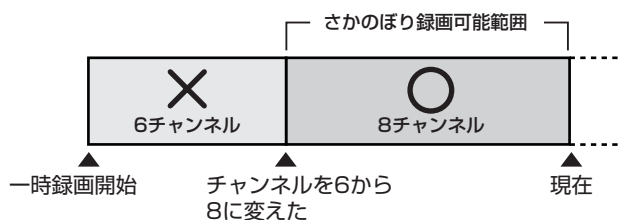
・本体で操作するときは、**[●(録画)]**を押します。

・本体の録画ランプが点灯します。

・数秒後、現在放送中の画面に戻ります。

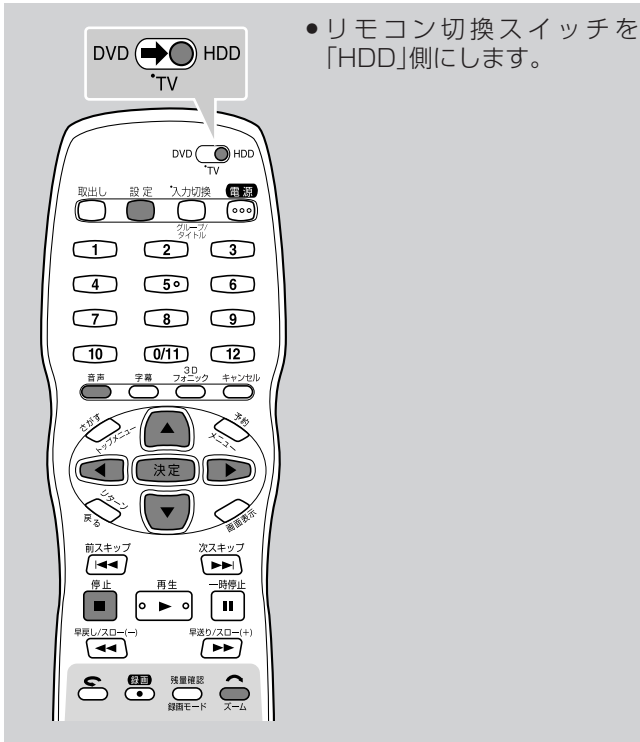
・さかのぼり録画のときは、SPモードでのみ録画されます。
他の録画モードには設定できません。

・さかのぼり録画が開始されると、開始以前の一時録画データは消去されます。

現在受信中のチャンネルと違うチャンネルは、さかのぼり録画できません。

残量時間が少ないときは

・設定画面の「HDD設定」 ➡ 「時間差再生」が自動的に［切］になります。

HDDレコーダー編

● リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

番組をくり返し再生する(リピート再生)

❶ 51ページの手順❶、❷の操作をする

❷ [◀]/[▶]を押して「くり返し再生」を選び、[決定]を押す

- くり返しの回数に制限はありません。
- 途中で止めるには、[停止(■)]を押します。
- リピート再生中に、一時停止やサーチなどをすると、リピート再生は解除されます。

コマーシャルを飛ばして再生する

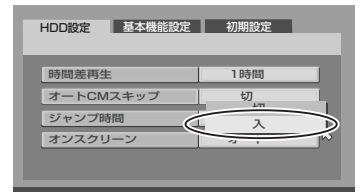
二重音声・モノラル放送の番組を録画するときにコマーシャル部分(ステレオ放送)を検出して、自動的にマークします。再生時に、このマーク部分でコマーシャルを自動的にスキップするかどうかの設定ができます。

オートCMスキップを設定するには

[⌒(CMスキップ)]を押さなくても、コマーシャル部分を検出して、自動的にコマーシャル部分をスキップして再生します。

❶ [設定]を押して設定画面を表示させる

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して「HDD設定」➡「オートCMスキップ」を選び、[決定]を押す

❸ [▲]/[▼]を押して「入」を選び、[決定]を押す

❹ [設定]を押して終了する

CMを飛ばして再生する(CMスキップ)

再生中に[ズーム]を押す

■ オートCMスキップが「切」のとき

- 押すごとに約30秒先にスキップして再生します。
- 30秒以内に番組開始点(二重音声またはモノラル放送の番組)があれば、その部分から再生します。

■ オートCMスキップが「入」のとき

- コマーシャル部分で[⌒(CMスキップ)]を押すと、コマーシャル部分の終わりまでスキップして再生します。

音声を切り換える

二重音声放送(二カ国語放送など)を見ているときや、二重音声放送(二カ国語放送など)を再生中に、聞きたい音声を選ぶことができます。

設定画面の「機能設定」➡「オンスクリーン」が「オート」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認できます(➡ 37ページ)。

[音声]を押す

押すごとに、聞こえる音声が切り換わります。

HDD 側の音声について

ステレオ放送(画面にSTEREOと表示)および、モノラル放送(画面にMONOと表示)は、[音声]を押しても切り換わりません。二重音声放送と外部入力のときは、次のように切り換わります。

聞こえる音声と画面表示					
	二重音声放送	音声の種類	──	主	副
		画面の表示	──	主-副	主-副
	外部入力の音声	音声の種類	L+R	L	R
		画面の表示	L-R	L-R	L-R

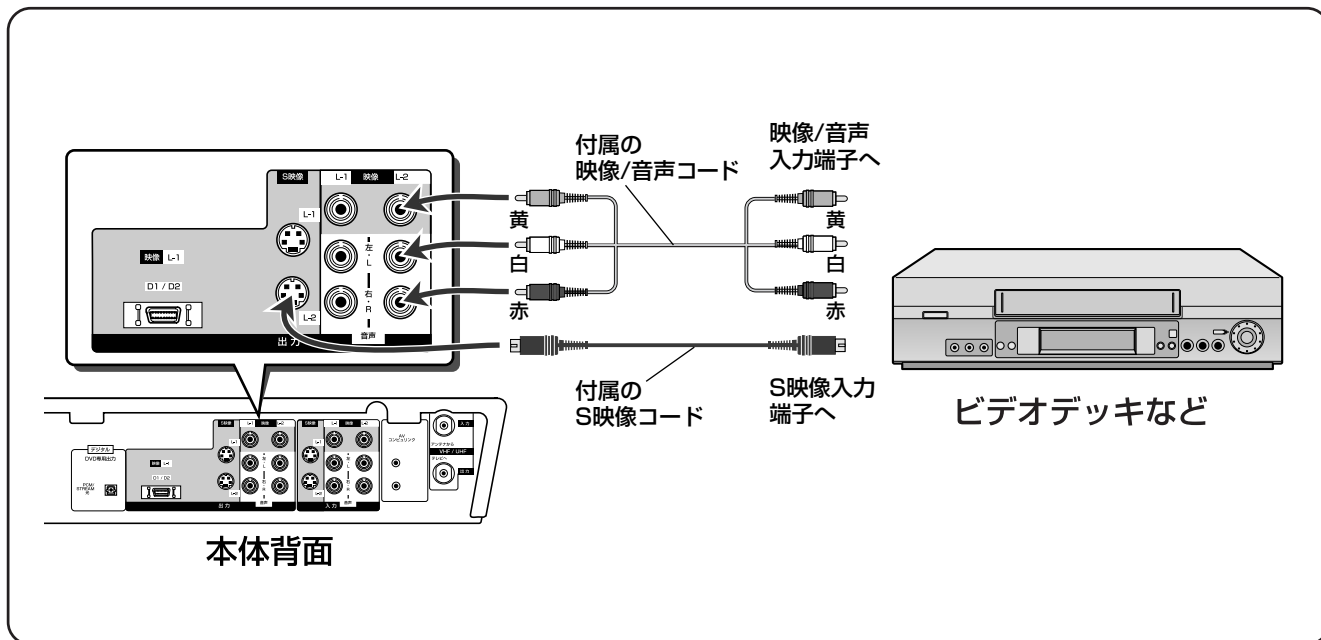
- 音声を切り換えたとき、音がとぎれたり、映像が乱れたりすることがあります。ただし録画した映像には影響はありません。
- 録画時には、主音声と副音声の両方が録音されます。

お知らせ

外部機器から録画する場合は

- BSデジタルチューナーなどの外部機器から録画する場合、外部機器側で聞きたい音声を選んでください。

ダビングする

本機で再生し、他の機器で録画する

本機（再生）

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。

❶ ソースをHDDレコーダーにし、ダビングしたい番組を選ぶ

・プログラム再生やプレイリストの再生映像をダビングすることもできます。

・番組の一部をダビングする場合は、ダビングしたい部分を探して再生一時停止にしておきます。

・ソースをDVDプレーヤー側にしてディスクを再生し、他の機器でダビングすることもできます。ただし、著作権保護のための信号が記録されているDVDソフトなどのダビングはできません(➡ **8**ページ)。

他の機器（録画）

- 詳しい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

❷ 録画を始める

❸ 再生を始める

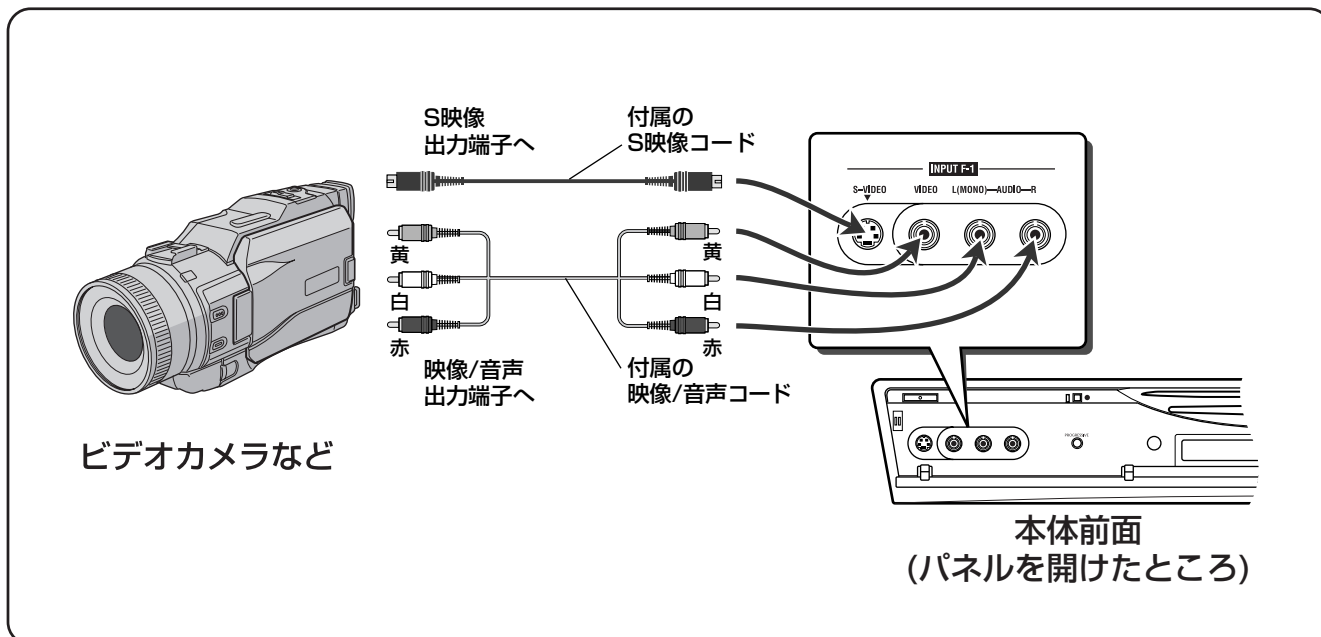
・再生が終わったら…

❹ 再生をやめる

❺ 録画を停止させる

ご注意

・ 録画中にソースをHDDレコーダーからDVDプレーヤーに切り換えないでください。

他の機器で再生し、本機で録画する

他の機器(再生)

- 詳しい操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機(録画)

- 本機の電源を「入」にします。
- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「HDD」側にします。
- 再生機をつないだ映像入力端子の種類(S映像または映像)を、「基本機能設定」➡「映像入力設定」で正しく設定してください(➡ **37**ページ)。

❶ ソースをHDDレコーダーにする

❷ ⊕ HDD/TV チャンネル/⊖で外部入力を選ぶ

- 背面入力は「L-1」または「L-2」、前面入力は「F-1」を選びます。

❸ ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

❹ ダビングしたい場面で録画を始める

- 録画中に、リモコンの**[録画(●)]**を押したまま**[一時停止(❚❚)]**を押すと、録画一時停止状態にできます(外部入力時のみ)。再生側のテープ交換などのときに便利です。リモコンの**[録画(●)]**を押したまま**[再生(▶)]**を押すと、録画を始めます。
- 録画をやめるときは**[停止(■)]**を2回押します。

ご注意

- 録画中は時間差再生モードになるため、実際の映像より数秒遅れてテレビへ出力します。そのため、ダビング開始点は数秒遅れ、終了点で停止ボタンを押したとき、余分に録画されます。

あなたがハードディスクレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

DVDプレーヤーの基本操作

ここでは、主にリモコンのボタンを使っての操作説明をします。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

- リモコンのボタンを使ってDVDプレーヤーの操作をするときは、リモコン切換スイッチを「DVD」側に切り換えてからお使いください。

また、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。ここでは、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。

例：オーディオCDでは使えない機能のとき

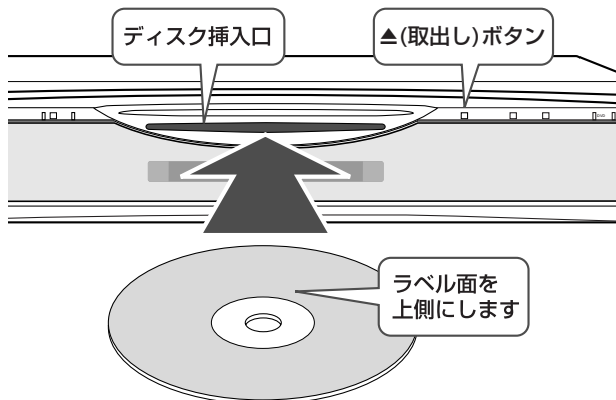
ディスクを入れる/取り出す

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

- 本機の電源を「入」にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

ディスクをディスク挿入口に入れる

途中からディスクが引き込まれ、ディスクによっては再生が始まります。

8センチディスクは、ディスク挿入口の中央から入れます。

- 両面ディスクのときは、再生したい面を下にして、ディスク挿入口に入れます。
- すでにディスクが中に入っているときは、引き込まれません。
- 電源「切」のときでも、自動的に電源が「入」になり、ディスクが引き込まれます。このとき、ソースがDVDプレーヤーになり、ディスクによっては再生が始まります。

ディスクを取り出すには

[取出し]を押す

ディスクが挿入口から途中まで出てきます。

- 本体では[▲(取出し)]を押します。
- 電源「切」のときは、電源「入」になり、ディスクが挿入口から出てきます。

ご注意

- 電源プラグを差し込んだあと約30秒間(本体のイルミネーションランプ点滅中)は、ディスク挿入などの操作はできません。
- ディスクを取り出すときは、ディスクが出終わるまでさわらないでください。また、ディスク挿入口から出た状態のままディスクを放置しないでください。

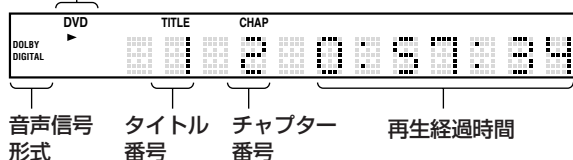
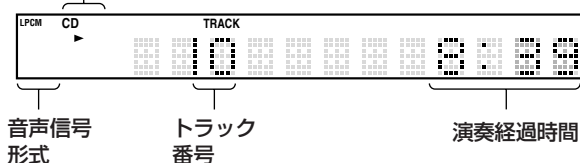
再生する

- 本機の電源を「入」にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

[再生 ►]を押す

ディスクの最初から再生が始まります。

リジュームの設定によっては、前回の続きが再生されることもあります(➡ **74**ページ)。

例：DVDビデオを再生したとき

例：オーディオCDを再生したとき

メニューが表示されたときは

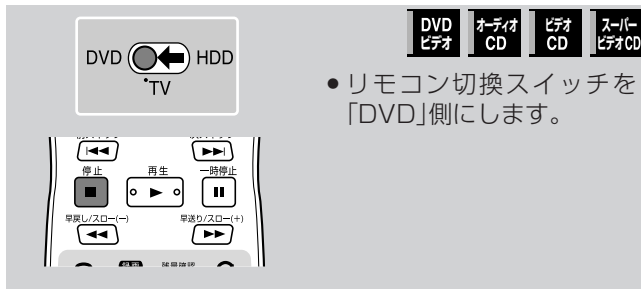
ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります(➡ **77**ページ)。

お知らせ

- 再生中にソースをHDDレコーダーに切り換えると、再生は停止します。

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

再生を停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

[停止■]を押す

再生が停止します。

リジューム設定(➡ **41**ページ)が「オン」のとき、テレビ画面上に「RESUME STOP」と一時的に表示されます。

このとき**[再生(▶)]**を押すと、記憶された位置から続きが再生されます**(リジューム再生)**。また、再生中にソースをHDDレコーダーに切り換えたときは、再生が停止し位置が記憶されます。電源を「切」にすると、位置の記憶は消去されます。

さらに、リジューム設定を「ディスクリジューム」に設定すると、ディスクを取り出したり電源を「切」にしても、停止した位置は記憶されます**(ディスクリジューム再生)**。ディスクリジュームは、30枚までのディスクに対して働きます。

・オーディオCDでは、リジューム再生は働きません。また、一部のディスクでも働かないこともあります。

位置の記憶を取り消すには

リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき:

・リジューム設定を「オフ」にする

リジューム設定が「オン」のとき:

・停止中に**[停止(■)]**を押す
・ディスクを取り出す
・電源を「切」にする
・プログラム再生、ランダム再生(ビデオCDのとき)を始める

お知らせ

・ディスクリジュームで停止位置を記憶したディスクは、リジューム設定を変更しても、「ディスクリジューム」に戻した場合は、記憶した位置から再生できるようになります。
・プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジューム機能が働きません。
・PBC対応のビデオCDや、記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
・両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生をするときは、再生位置が記憶された面を下にしてディス挿入口に入れてください。
・再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
・DVD ビデオのメニュー画面表示中やビデオCD のPBC メニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

⦸ :本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

▶ :再生を開始すると表示されます。

■ :停止すると表示されます。

❚❚ :一時停止(➡ **76**ページ)すると表示されます。

◀◀ ▶▶ :早送り/早戻し再生(➡ **75**ページ)をすると表示されます。

◀❚ ❚▶ :スローモーション再生(➡ **76**ページ)をすると表示されます。

:複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(➡ **80**ページ)。

:複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(➡ **80**ページ)。

:複数のアングルが収録されている場面で表示されます(➡ **84**ページ)。本体表示窓のANGLE表示も点灯します。

・オンスクリーンガイドは表示しないようにすることもできます(➡ **41**ページ)。

スクリーンセーバーについて

長い時間、テレビ画面に静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。DVD設定メニュー画面表示中、停止中、メニュー再生中など静止画が表示されてから5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、前の画面に戻ります。
スクリーンセーバー機能は「映像メニュー」(➡ **40**ページ)で設定します。

・スクリーンセーバー機能は、ソースがHDDレコーダーのときは働きません。

今見たシーンをもう一度見る（チョット見バック）

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます。

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

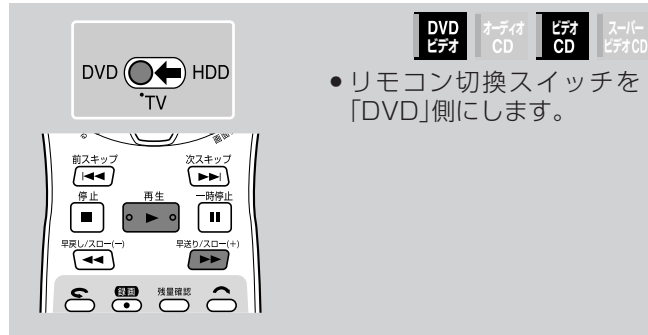
<再生中に>

（チョット見バック）を押す

約10秒前から再生が始まります。

・DVDビデオによっては、働かない場合があります。また、異なるタイトルにまたがっての再生中にも、働きません。

1.5倍速早見再生をする

音声を聞きながら早送り再生をします。

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

早送り/スロー(+)（▶▶）を1回押す

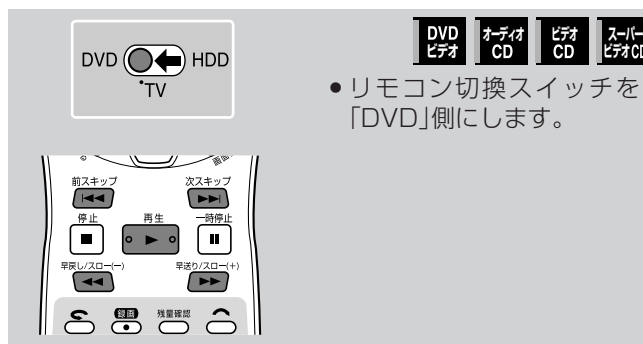
1.5倍速早見再生が始まります。

・DVDビデオでは、字幕も出ます。

・DVDビデオの音声形式がドルビーデジタルまたはDTSのときは、リニアPCM2chの出力になります。DVDビデオによっては音程や音質、音量が変わることがあります。

・早戻し再生から1.5倍速早見再生にする場合は、一度**[再生(▶)]**を押してから操作してください。

通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

早送り/早戻し再生をする

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

早送り/早戻し1

<再生中に>

前スキップ（|◀◀）または次スキップ（▶▶|）を押し続ける

[次スキップ(▶▶|)]を押し続けている間、5倍速の早送り再生になります。

[前スキップ(|◀◀)]を押し続けている間、5倍速の早戻し再生になります。

ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し2(リモコンのみ)

<再生中に>

早戻し/スロー(−)（◀◀）または早送り/スロー(+)（▶▶）を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが2倍(順方向のみ1.5倍速早見再生も含む)から60倍まで段階的に変化します。

通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

お知らせ

・早送り(1.5倍速早見再生は除く)/早戻し再生中に、音声が出ません。オーディオCDでは、音声が断続的に聞こえます。

・オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

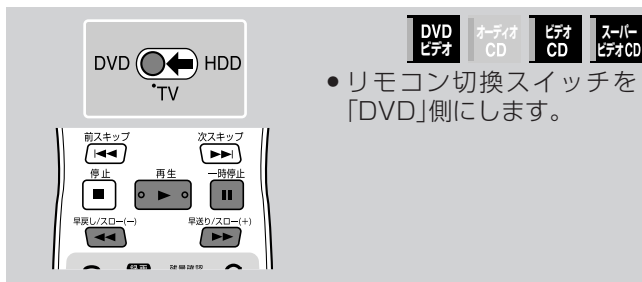
▶▶ x20
例：早送り20倍のとき

◀◀ x5
例：早戻し5倍のとき

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

一時停止/画像を1コマずつ送る/スローモーション再生する(スロー)

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

[一時停止]を押す

再生が一時停止し、本体表示窓の「II」が点灯します。

画像を1コマずつ送る(コマ送り)

<一時停止中に>

[早送り/スロー(+)]を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
・DVDプレーヤーでは、逆方向のコマ送りはできません。

スローモーション再生する

<再生中または一時停止中に>

[早戻し/スロー(−)]または[早送り/スロー(+)]を2秒以上押す

[スロー(+)(▶▶)]を押すと順方向のスローモーション再生になります。
・押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(順方向): $\frac{1}{32}$ ➔ $\frac{1}{16}$ ➔ $\frac{1}{4}$ ➔ $\frac{1}{2}$

[スロー(−)(◀◀)]を押すと逆方向のスローモーション再生になります。
・押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

(逆方向): $\frac{1}{32}$ ➔ $\frac{1}{16}$ ➔ $\frac{1}{4}$ ➔ $\frac{1}{2}$

・DVDビデオ以外のディスクでは、逆方向のスローモーションは働きません。

通常の再生に戻すには、**[再生(▶)]**を押します。

お知らせ

・スローモーション再生中に、音声が出ません。
・オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

I▶ 1/2　例:スローモーション順方向1/2のとき

◀I 1/32　例:スローモーション逆方向1/32のとき

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

前後のタイトル/チャプター(DVDビデオ)やトラック(オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD)の頭にスキップすることができます。

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

- 本機の電源を「入」にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<DVDビデオ/オーディオCD:再生中に><ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

頭出し1

[前スキップ]または[次スキップ]を押す

選んだチャプター/トラックが本体表示窓に表示され、再生が始まります。
[次スキップ(▶▶I)]をくり返し押すと、先のチャプター/トラックに進みます。
[前スキップ(I◀◀)]をくり返し押すと、前のチャプター/トラックに戻ります。
・現在再生しているチャプター/トラックの頭に戻すには、1回だけ**[前スキップ(I◀◀)]**を押します。

頭出し2(リモコンのみ)

数字ボタン(1〜9、0/11)を使って番号を指定する

指定した番号が本体表示窓に表示され、再生が始まります(ダイレクト再生)。
・DVDビデオのときは、チャプターが指定されます。
・DVDビデオのタイトルを指定するときは、**[グループ/タイトル]**を押してから数字ボタンを押します。ただし、停止中のときは、数字ボタンだけでタイトルが指定されることがあります。
・オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます。(停止中のときは再生が始まります)

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　:**[5]**を押します。
番号「10」を選ぶには:**[1]** ➡ **[0/11]**と押します。

ご注意

・DVDビデオやPBC機能(➡78ページ)対応ビデオCDによっては、この機能を使えないものもあります。
・⊘が表示されたときは…
押した番号のタイトルあるいはトラックが収録されていません。

メニューから再生する

DVDビデオのメニューや、ビデオCD/スーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール)を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。

DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざまで、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

- 本機の電源を「入」にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

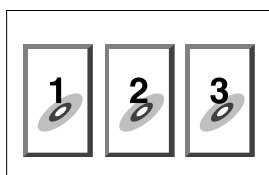
<DVDビデオ:いつでも>

❶ [トップメニュー]または[メニュー]を押す

メニュー画面が表示されます。

❷ [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を使って見たい映像や項目選び、[決定]を押す

選択したところから再生されます。

例:

ご注意

- [トップメニュー]を押したとき⊘が表示されたときは・・・
  そのディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するようなメニュー画面が収録されておりません。
- [メニュー]を押して⊘が表示されたときは・・・
  そのディスクにメニュー画面自体が収録されておりません。
- 停止中は、[メニュー]は働きません。

ビデオCDのメニューから選ぶ

PBC(➡ **78**ページ)が記録されたビデオCD/スーパービデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

- 本機の電源を「入」にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<PBC対応ディスクが停止中に>

❶ [再生 ▶]を押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

❷ 数字ボタン(1〜9、0/11)を使って見たいトラックの番号を指定する

選んだ番号のトラックが再生されます。

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　: [5]を押します。
番号「10」を選ぶには : [1] ➡ [0/11]と押します。

メニュー画面に戻るときは

[リターン]を押す

テレビ画面上に[次]または[前]が表示されたときは

[次スキップ(▶▶|)]を押してメニューの次のページへ進みます。
[前スキップ(|◀◀)]を押してメニューの前のページへ戻ります。

- 操作方法はディスクにより異なります。

メニューから再生する(つづき)

[メニュー]と[トップメニュー]について

- 複数のタイトルが収録されているディスクでは、**[トップメニュー]**を押して、タイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させせます。
  また、タイトルが1つだけのディスクでも、メニュー画面が収録されているときは、**[メニュー]**を押して、メニュー画面を表示させせることができます。
  各ディスクのメニュー構成についてはディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

ビデオCD/スーパービデオCDのPBC機能をオン/オフするには

PBCオフで再生するには、停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。表示窓に演奏経過時間が表示されます。

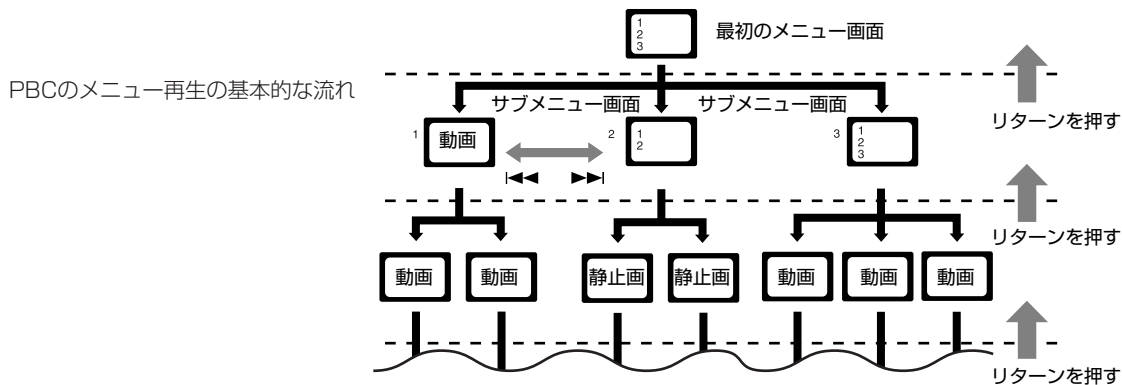
PBCをふたたびオンにするには、再生中に、**[トップメニュー]**または**[メニュー]**を押す、または**[停止(■)]**を1回(リジューム機能が「オン」のときは2回)押してから、**[再生(►)]**を押します。表示窓に「PBC」と表示されます。

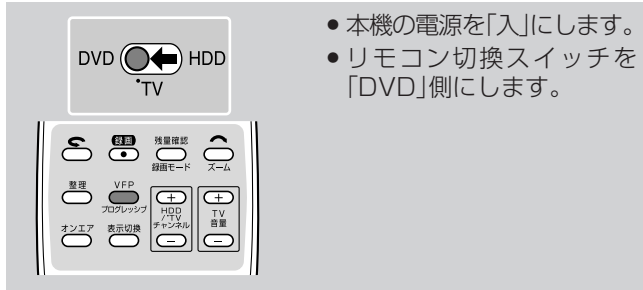
プレイバックコントロール(PBC)について

ビデオCD/スーパービデオCDのプレイバックコントロール(PBC)では、いくつかの階層に分けられて収録されたディスクの内容を、画面の指示にしたがって、再生することができます。
PBC対応ディスクを再生すると、通常は最初のメニュー画面が表示されます。そこで画面に表示された項目や番号を選んで、見たいところを再生したり、次の画面に進んだりすることができます。
本機では、PBC対応のディスクでも、PBCを使わずに収録されたトラックを連続して再生することができます。

また、PBC対応ディスクは、動画の4倍以上の解像度を持つ高精細な静止画を収録することもできます。

PBCのメニュー再生の基本的な流れ

DVDプレーヤーの便利な機能

スキャンモードを切り換える

本機のスキャンモードは、お買い上げ時は「インターレース」に設定されています。
プログレッシブスキャン対応テレビと本機のD映像端子で接続したときに、スキャンモードをプログレッシブ本式に切り換えます。

- 本機の電源を「入」にします。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<停止中に>

リモコンの VFP/プログレッシブ を1秒以上押す、または本体の[PROGRESSIVE]を押す

スキャンモードがプログレッシブ方式に切り換わり、本体のPROGRESSIVE（プログレッシブ）ランプが点灯します。

- **スキャンモードがプログレッシブ方式のときは、D映像以外の映像端子からは、映像が出力されません。**

インターレース方式に戻すには

[VFP/プログレッシブ]を1秒以上押す、または本体の[PROGRESSIVE]を押す
本体のPROGRESSIVEランプが消灯します。

PROGRESSIVEランプの点灯について

本機のスキャンモードがプログレッシブ方式のとき、本機の映像ソースの設定およびディスクの収録素材（➡ **40**ページ）によって、PROGRESSIVEランプの色が次のように変わります。

映像ソースの設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
「ビデオ（ノーマル）」 「ビデオ（アクティブ）」	赤	赤
「フィルム」	緑	緑
「オート」	緑	赤

- 停止中は、常に赤く点灯します。
- 本機の状態や再生の状態によって正しく点灯しない場合もあります。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVD ビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。
ビクターのデジタルダイレクトプログレッシブ方式は、DVD ビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

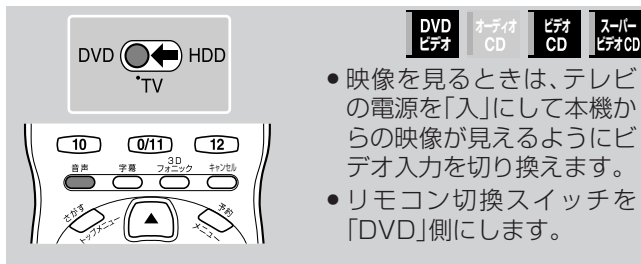
お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあます。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。
- プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について
  本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」にしてお使いください。ビクター製のテレビでは、HD-32LS3やAV-32AD3などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

音声言語/音声を選ぶ(音声)

DVDビデオやビデオCD/スーパービデオCDの中には複数の音声言語/音声が収録されているものがあります。それらの中から希望する音声言語/音声を選ぶことができます。
ビデオCDの場合、音声を切り換えることによって、カラオケの「歌あり/なし」を選ぶことができます。

複数の音声が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で画面に◯◯が表示されます。

・オンスクリーンガイドが「オフ」のときは◯◯は表示されません (➡ 41ページ)。
・メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます(➡ 84ページ)。

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　スーパービデオCD

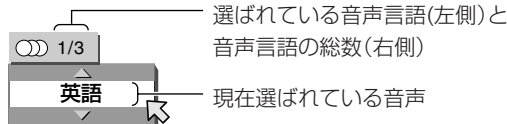
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

❶ 音声を押す

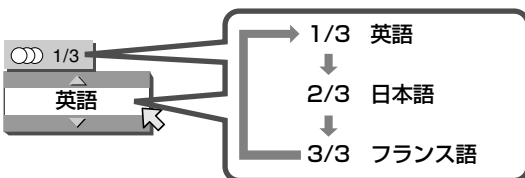
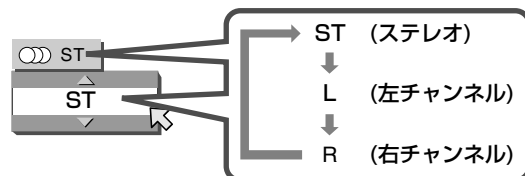
テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

例:DVDビデオのとき

選ばれている音声言語(左側)と音声言語の総数(右側)
現在選ばれている音声

例:ビデオCDのとき

❷ 音声をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切り換わります。

例:DVDビデオのとき

例:ビデオCDのとき

音声選択ウィンドウを消すには

[決定]を押す

何も操作しないと、ウィンドウは数秒間で消えます。

ご注意

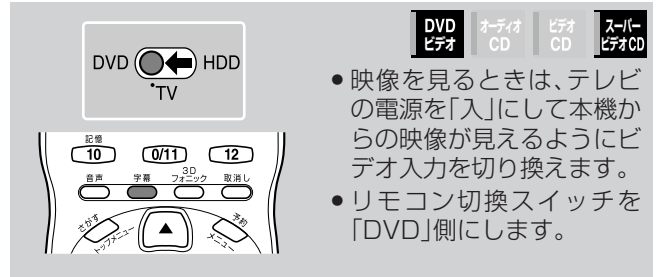
- ⃠が表示されたときは…
  ディスクに複数の音声が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 音声の切り換えは、ディスクに収録されていない音声言語/音声については、ご使用になれません。

音声言語の表記について

DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウに表示される音声言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ 42ページ)で表示されます。

字幕を切り換える(字幕)

DVDビデオ/スーパービデオCDの中には、複数の字幕言語が収録されているものがあります。それらの中から希望する言語を選びます。
複数の字幕が収録されているDVDビデオでは、再生の冒頭で▭が画面に表示されます。

・オンスクリーンガイドが「オフ」のときは▭は表示されません(➡ 41ページ)。
・メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます(➡ 84ページ)。

DVD ビデオ　オーディオ CD　　

- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

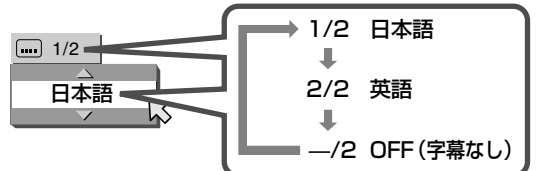
❶ 字幕を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

選ばれている字幕言語(左側)と字幕の総数(右側)
現在選ばれている字幕言語

❷ 字幕をくり返し押して字幕言語を選ぶ

ボタンを押すごとに、字幕言語が切り換わります。

例:

字幕選択ウィンドウを消すには

[決定]を押す

何も操作しないと、ウィンドウは自動的に消えます。

ご注意

- ⃠が表示されたときは･･･
  ディスクに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。
- 字幕の切り換えは、ディスクに収録されていない言語については、ご使用になれません。

字幕言語の表記について

DVDビデオの再生中、字幕選択ウィンドウに表示される字幕言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **42**ページ)で表示されます。

画面を拡大する(ズーム)

画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

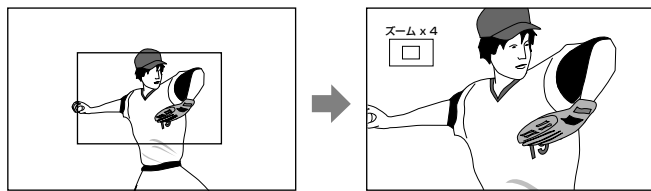
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

＜再生中または一時停止中に＞

❶ ズームを押す

画面が拡大されます。

- ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

1.8倍* ➡ 4倍 ➡ 8倍 ➡ 16倍 ➡ 32倍 ➡ 64倍

画面の左上部に現在の倍率と拡大位置が表示されます。拡大したい場所を選ぶには次の手順で行います。

❷ ◀/▶/▲/▼を押して拡大したい部分を選ぶ

通常の画面に戻すには

[決定]を押す

お知らせ

*1.8倍ズームについて

- レターボックスサイズ(16:9)のDVDビデオの映像を4対3(レターボックス)サイズのテレビで見ると、上下に黒い帯が見えることがあります。1.8倍拡大表示を選ぶと、この上下の帯がほとんど見えなくなります。ただし、画面の両端は切り取られます。

ご注意

- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

サラウンド感を出す(3Dフォニック)

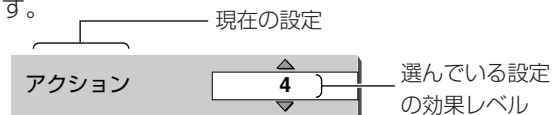
3Dフォニックを使うと、2本のスピーカーだけでもサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

＜再生中に＞

❶ 3Dフォニックを押す

テレビ画面に3Dフォニック設定ウインドウが表示されます。

❷ ◀/▶を押して設定を選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように設定が切り換わります。

❸ ▲/▼を押して効果レベルを調節する

効果レベルは1～5の範囲で選べます。

[▲]を押すと数値が大きくなります。

[▼]を押すと数値が小さくなります。

通常の画面に戻すには

[3Dフォニック]を押す

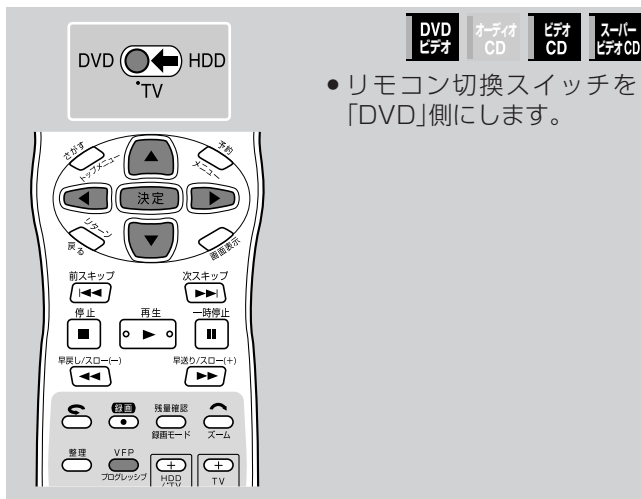
次ページに続く

3Dフォニックについて

・3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。その他のソースでは、3Dフォニックを使っても同様の効果は得られません。
・ドルビーデジタルのDVDソフトで、リア(サラウンド)の音声が収録されていない場合、3Dフォニックの設定は変更できますが、正しい効果は得られません。
・ドルビーデジタルのDVDソフトを再生しているとき、デジタル音声出力端子から出力されるビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。

画質を調節する(VFP)

VFP(Video Fine Processor)機能を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

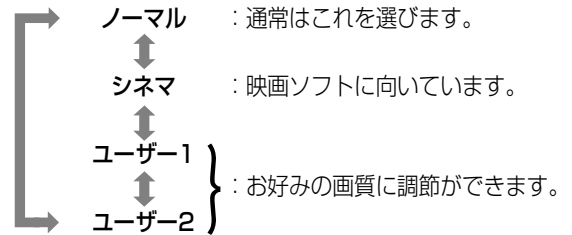
● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中に>

❶ [VFP プログレッシブ]を押す

テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

現在選択されているVFP モード

❷ [◀]/[▶]を使ってVFPモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにVFPモードが切切り換わります。

ユーザー1、2を選んだときは

続く手順❸〜❻で設定項目の調節をすることができます。
設定項目の調節内容は記憶されます。

❸ [▲]/[▼]を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ	：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。
明るさ	：画面の明るさを調節します。
コントラスト	：画面のコントラストを調節します。
色のこさ	：画面の色のこさを調節します。
色合い	：画面の色合いを調節します。
シャープネス	：画面のシャープさを調節します。
Yディレイ	：画面の色ズレを調節します。

❹ [決定]を押す

VFP設定ウィンドウが消えて、項目ごとの調節ウィンドウが表示されます。

例：「ガンマ」を選んだとき

❺ [▲]/[▼]を押して設定項目の調節をする

[▲]を押すと数値が大きくなります。
[▼]を押すと数値が小さくなります。
・数値の調節範囲は、設定項目によって異なります。

❻ [決定]を押す

再び、VFP設定ウィンドウが表示されます。
他の項目の調節をするときは、手順❸〜❻をくり返します。

VFP設定表示を消すには

[VFP]を押す
・数秒間何も操作しないと、VFP設定ウインドウは自動的に消えます。

ステータスバーとメニューバー

本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中のディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、さまざまな機能を呼び出して使う（メニューバー）ことができます。

・MP3ディスク/JPEGディスクの再生中には、ステータスバー/メニューバーは使えません。

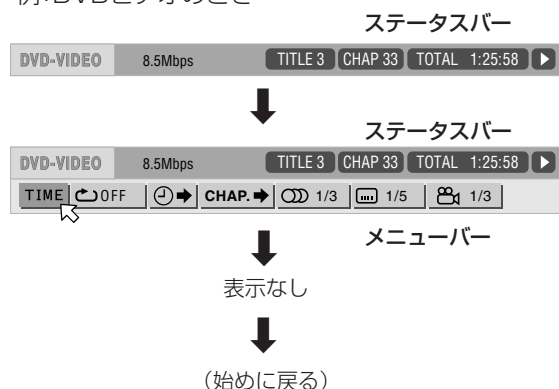
ステータスバーとメニューバーを使う（画面表示）

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<再生中または一時停止中>

❶ 画面表示を押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

例：DVDビデオのとき

❷ **メニューバー表示中に◀／▶を押してアイコンを選ぶ**

❸ **決定を押す**

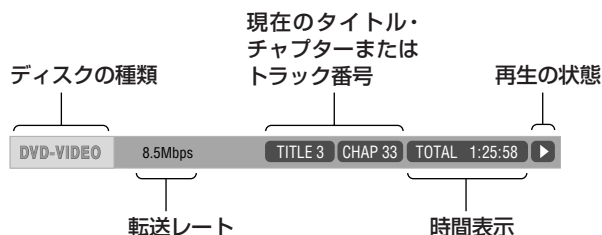
各機能が設定できるようになります。設定内容については「アイコン一覧」（➡ **84**ページ）をご覧ください。

・メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

ご注意

・DVDメニューやビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、DVDメニューやビデオCDのメニュー画面での操作がうまくいかないときがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

● ディスクの種類

DVDビデオのとき： DVD-VIDEO

オーディオCDのとき： CD

ビデオCDのとき： VCD

スーパービデオCDのとき： SVCD

● 転送レート（DVDビデオのみ）

映像の単位時間当たりの平均情報量を示しています。

● 現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号

DVDビデオのとき

TITLE 3 CHAP 33 ：現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 33 ：現在のトラック番号が表示されます。

● 時間表示

次の4つの時間表示ができます。

・現在再生中のチャプターまたはトラックの経過時間

・現在再生中のチャプターまたはトラックの残り時間

・ディスクの最初からの経過時間

・ディスクの残り時間

● 再生の状態

DVDプレーヤーの再生の状態を表示します。

再生中：▶　停止中：

一時停止中：❚❚　早送り/早戻し中：

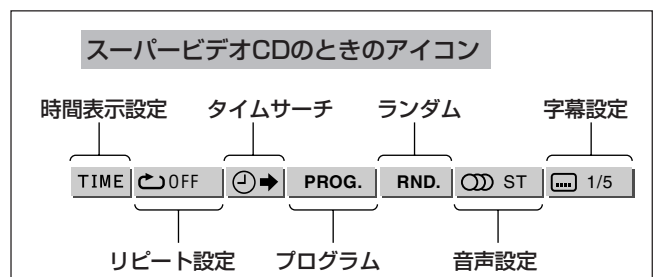
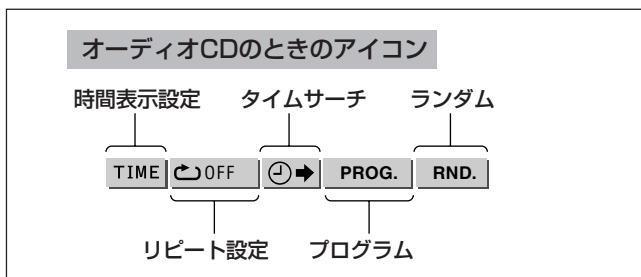
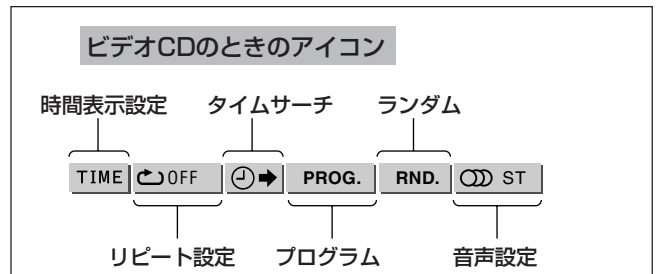
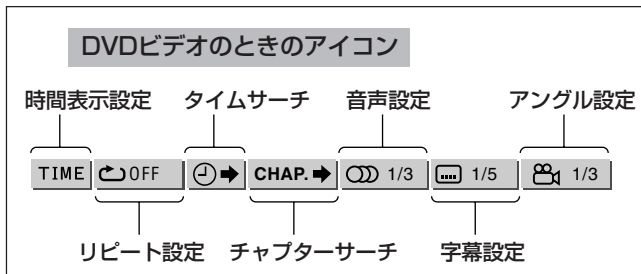
スロー再生中：◀❚ ❚▶

DVDプレーヤー編

ステータスバーとメニューバーを使う(画面表示) (つづき)

メニューバーについて

メニューバーからは次の操作をすることができます。メニューバーのアイコンはディスクの種類によって異なります。
詳しい使い方は、「アイコン一覧」をご覧ください。

アイコン一覧

● TIME 時間表示アイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
ステータスバーの時間表示を切り換えます。**[決定]**を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。

TOTAL : タイトル(ディスクの頭から)の再生経過時間
T. REM : タイトル(ディスク)の残り再生時間
TIME : チャプター(トラック)の再生経過時間
REM : チャプター(トラック)の残り再生時間

( )内はDVDビデオ以外のディスクのとき

・停止中は「– –:– –:– –」と表示されます。

● OFF リピートアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
いろいろなくり返し再生するとき選びます。詳しくは、「くり返し再生する」(➡ **85**ページ)をご覧ください。

● タイムサーチアイコン (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
再生したい場所を時間で、指定します。数字ボタンでタイトルまたはディスクの頭からの時間を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。

● CHAP. チャプターアイコン (DVDビデオ)
DVDビデオで再生したいチャプターを指定します。数字ボタンでチャプター番号を入力し、**[決定]**を押すと再生が始まります。

● 1/3 音声アイコン (DVDビデオ / ビデオCD / スーパービデオCD)
複数の音声を楽しめるディスクの再生中に音声を切り換えます。**[▲/▼]**で音声を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

● 1/2 字幕アイコン (DVDビデオ / スーパービデオCD)
字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。**[▲/▼]**で字幕を選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

● 1/3 アングルアイコン (DVDビデオ)
複数のアングルを持つDVDビデオの再生中、アングルを切り換えます。**[▲/▼]**でアングルを選び、**[決定]**を押すと切り換わります。

● PROG. プログラムアイコン (オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
プログラム再生をするとき選びます。
ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「順番を決めて再生する」(➡ **86**ページ)をご覧ください。

● RND. ランダムアイコン (オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
ランダム再生をするとき選びます。
ディスクの再生が停止しているとき使います。詳しくは、「無作為な順番で再生する」(➡ **87**ページ)をご覧ください。

くり返し再生する（リピート再生）

再生中のチャプターやタイトル(DVDビデオのとき)、再生中のトラックや全トラック（DVDビデオ以外のとき）をくり返して再生することができます。また、指定した範囲をくり返し再生することができます（A-Bリピート）。

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す

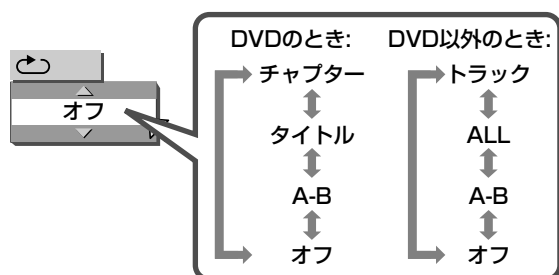
● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<DVDビデオ：再生中に><CDオーディオ：再生中または停止中に><ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中に>

❶ [画面表示]をくり返し押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶]をくり返し押して[カーソル]を[OFF]に合わせ、[決定]を押す

❸ [▲]/[▼]をくり返し押してお好みのリピート再生のモードを選ぶ

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

DVDビデオ（DVDビデオ以外）のとき

チャプター ：チャプターのリピート再生
（トラック ：トラックのリピート再生）
タイトル ：タイトルのリピート再生
（ALL ：全トラックのリピート再生）
A-B* ：指定範囲のリピート再生
オフ ：リピート再生のモードの解除

＊ 停止中には「A-B」は表示されません。「A-B」を選んだときは、右の手順をご覧ください。

❹ [決定]を押す

リピート再生が始まります。

・停止中のときは、**[再生(▶)]**を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押す

DVDビデオのときは、再生を停止すると同時にリピート再生のモードも解除されます。

DVDビデオ以外のときは、再生は停止しますがリピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

手順❸で「オフ」を選ぶ

指定した範囲をくり返し再生する<A-Bリピート>

リピート再生の手順❸で「A-B」を選んだときは、以下の手順に沿って、「A-Bリピート」を行います。

❹ くり返したい部分の頭で、[決定]を押す（Aポイント）

メニューバーに[A-]が表示されます。

❺ くり返したい部分の終わりで、[決定]を押す（Bポイント）

メニューバーの表示が[A-B]になり、AポイントとBポイント間のリピート再生が開始されます。

A-Bリピート再生を解除するには

[停止(■)]を押す

再生が停止し、A-Bリピート再生は解除されます。

・メニューバーの[A-B]に[カーソル]を合わせ、**[決定]**を押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
・**[次スキップ(▶▶|)]**または**[前スキップ(|◀◀)]**を押しても、A-Bリピート再生は解除されます。

ご注意

・[⊘]が表示されたときは･･･
　ディスクによってはA-Bリピート再生ができない場合もあります。
・タイトル、またはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
・プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-Bリピートはできません。

ステータスバーとメニューバー(つづき)

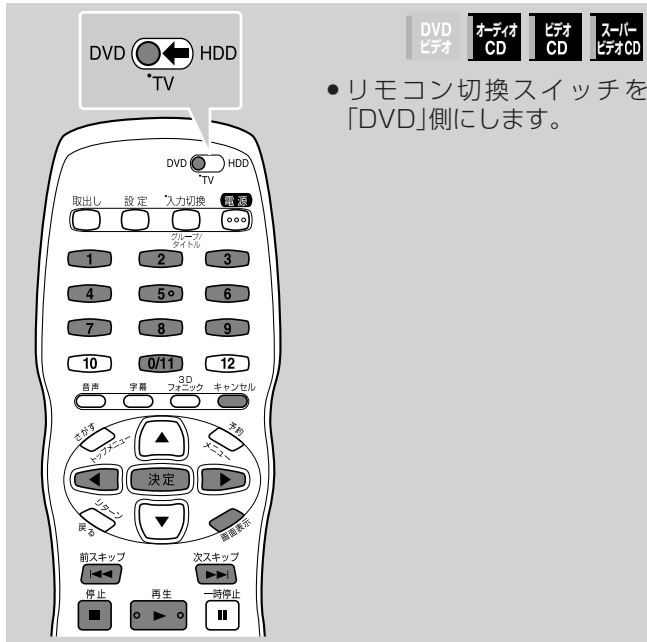
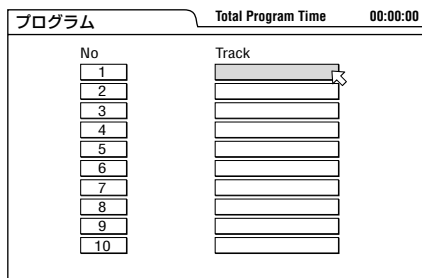
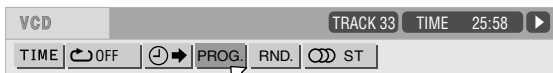
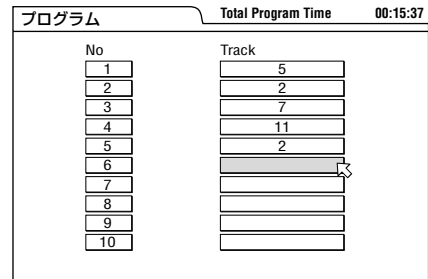
順番を決めて再生する(プログラム再生)

再生するトラックの順番を、最大99トラックまで自由に決めることができます。同じトラックを2回以上プログラム再生することもできます。

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<停止中に>

❶ [画面表示]をくり返し押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶]をくり返し押して[カーソル]を PROG. に合わせ、[決定]を押す

プログラム画面が表示されます。

❸ 数字ボタン(1～9、0/11)を使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

例 :「5」を選ぶときは、[0] ➡ [5]と押します。
「12」を選ぶときは、[1] ➡ [2]と押します。

99トラックまで設定することができます。また、一度選んだトラックをもう一度選ぶこともできます。

・プログラムの設定を間違えたときは
修正したいところまで[▲/▼]を押して[カーソル]を動かし、**[キャンセル]**を押します。

❹ [再生 ▶]を押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。

プログラム再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押す
プログラム画面が表示されます。

プログラム画面を消すには

[画面表示]を押す
プログラム画面は消えますが、プログラムの内容は消去されません。
[再生(▶)]を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容を消去するには

停止中に、プログラム画面を消して[停止(■)]を押す
すべてのプログラム内容が消去されます。

お知らせ

- プログラム再生中、**[次スキップ(▶▶|)]**を押すと次にプログラムされているトラックにスキップし、**[前スキップ(|◀◀)]**を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。
- プログラムされたすべてのトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの内容は残ります。
- 次の操作をするとプログラムの内容が消去されます。
  －ディスクを取り出す
  －ソースをHDDレコーダーに切り換える
  －電源を「切」にする

無作為な順番で再生する(ランダム再生)

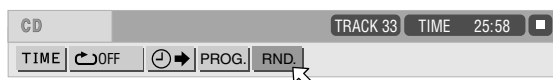
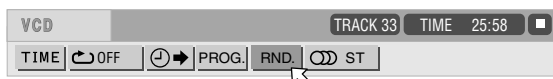
ランダム再生では、トラックの順番がランダム(無作為)に一度ずつ再生されます。

● リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。

<停止中に>

❶ [画面表示]をくり返し押してメニューバーを表示させる

❷ [◀]/[▶]をくり返し押して[カーソル]を RND. に合わせる

オーディオCDのとき:

ビデオCDのとき:

❸ [決定]を押す

ランダム再生が始まります。

すべてのトラックの再生が終了すると、ランダム再生は解除されます。

ランダム再生を途中で解除するには

ランダム再生中に[カーソル]を RND. に合わせて、[決定]を押すと、ランダム再生が解除され、再生しているところからの通常再生になります。

ランダム再生をやめるには

[停止(■)]を押す

ランダム再生は解除されます。

お知らせ

- ランダム再生では、すべてのトラックが1回ずつ再生されます。
- 次の操作をするとランダム再生は解除されます。
  - ーディスクを取り出す
  - ーソースをHDDレコーダーに切り換える
  - ー電源を「切」にする

MP3/JPEGディスクを再生する

MP3/JPEGディスクやファイルについては**10**ページをご覧ください。

- テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。
- MP3ファイルとJPEGファイルが混在するディスクのときは、DVD設定メニューで、あらかじめ再生するファイルの種類を設定しておきます(➡ **40**ページ)。

MP3ディスクを再生する

❶ MP3ディスクを入れる

MP3 CONTROL(コントロール)画面が表示されます。

❷ [▲]/[▼]をくり返し押してグループを選び、[▶]を押す

トラックが選べるようになります。

- [◀]を押すと、再びグループが選べます。

❸ [▲]/[▼]をくり返し押してトラックを選び、[再生 ▶]を押す

再生が始まります。

前後のトラックにスキップするには

[次スキップ(▶▶|)]または[前スキップ(|◀◀)]を押す

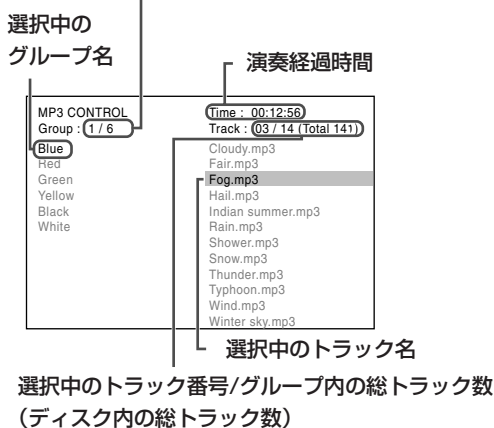
演奏を一時停止するには

[一時停止(❚❚)]を押す

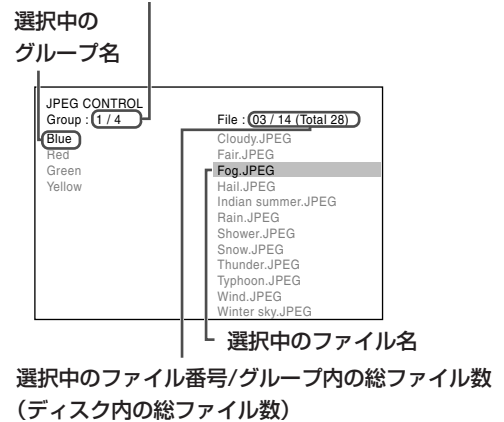
演奏を途中でやめるには

[停止(■)]を押す

ご注意

- ディスクの特性によって、再生までの読み取り時間が長くなることがあります。
- 早送り/早戻し再生、リジューム再生、プログラム再生およびランダム再生はできません。
- MP3以外のファイルはテレビ画面に表示されません。
- 現在の演奏経過時間以外の時間情報は表示されません。

JPEGディスクを再生する

❶ JPEGディスクを入れる

JPEG CONTROL(コントロール)画面が表示されます。

❷ [▲]/[▼]をくり返し押してグループを選び、[▶]を押す

ファイルが選べるようになります。

- [◀]を押すと、再びグループが選べます。

❸ [▲]/[▼]をくり返し押してファイルを選び、[決定]を押す

選んだファイルの再生が始まります。

前後のファイルにスキップするには

[次スキップ(▶▶|)]または[前スキップ(|◀◀)]を押す

JPEGコントロール画面を表示するには

[停止(■)]を押す

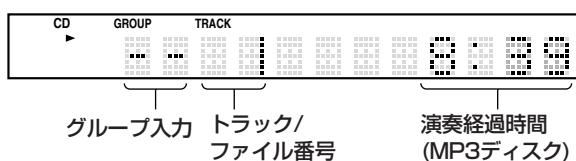
グループやトラック/ファイルを直接指定して再生する

再生するグループやトラック/ファイルを数字ボタンを使って、直接指定することができます。

<コントロール画面表示中または再生中に> MP3ディスク JPEGディスク

トラック/ファイルを選ぶときは、手順❶を飛ばします。

❶ グループを選ぶときは、[入力切換 グループ/タイトル]押す

タイトル入力表示が本体表示窓に現れます。

❷ 数字ボタン(1~9、0/11)を押してグループまたはトラック/ファイルを選ぶ

例:「5」を選ぶときは[5]を押します。
「20」を選ぶときは[2] → [0/11]と押します。
「57」を選ぶときは[5] → [7]と押します。

・99トラック/グループまで指定することができます。

くり返し再生する(リピート再生)

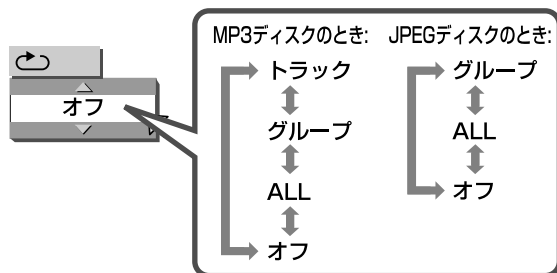
グループまたはディスク全体をくり返し再生することができます。

<コントロール画面表示中に> MP3ディスク JPEGディスク

❶ [画面表示]を押す

テレビ画面上にリピート表示が現れます。

❷ **をくり返し押してリピート再生のモードを選ぶ**

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

トラック　:　トラックのリピート再生
(MP3ディスクのみ)
グループ　:　グループのリピート再生
ALL　:　全トラック/ファイルのリピート再生
オフ　:　リピート再生のモードの解除

❸ [決定]を押す

リピート再生が始まります。

・停止中のときは、**[再生(►)]**を押して再生を始めます。

リピート再生をやめるには

[停止(■)]を押す
ただし、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには

手順❷で、「オフ」を選ぶ

画面を拡大する(ズーム)

[ズーム]を押して再生中の画像を拡大してみることができます。

・スライドショー再生中の画像を拡大表示するときは、画像全体が表示されたときに一時停止をして拡大してください。

・詳しくは、81ページの「画面を拡大する(ズーム)」をご覧ください。

ファイルを連続再生する(スライドショー)

画像を3秒間再生したあと、自動的に他のファイルも3秒間ずつ連続して表示させることができます(スライドショー再生)。

<コントロール画面表示中に> MP3ディスク JPEGディスク

❶「JPEGディスクを再生する」の手順❶~❸で最初に再生するファイルを選ぶ

❷ [再生 ►]を押す

選んだファイルから連続してスライドショー再生が始まります。

・画像が選択されているときに**[再生(►)]**を押すとそこからスライドショー再生が始まります。

・次の画像が再生される前に、**[次スキップ(►►|)]**または**[前スキップ(|◄◄)]**を押すと、前後の画像を表示させることができます。

スライドショー再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押す
JPEGコントロール画面が表示されます。

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)

過激なシーンを含むDVD映画ソフトを再生するときなど、ディスクが対応しているときパレンタルロックの設定に応じて、そのようなDVD映画ソフトの視聴を制限することができます。

パレンタルロックを設定する

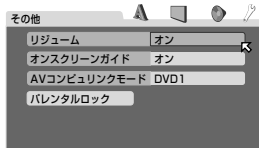
- リモコン切換スイッチを「DVD」側にします。
- 映像を見るときは、テレビの電源を「入」にして本機からの映像が見えるようにビデオ入力を切り換えます。

<停止中、またはディスクが入っていないときに>

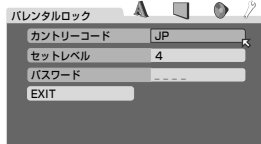
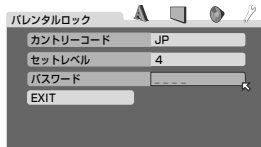
❶ [設定]を押す

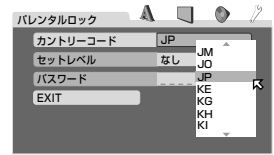
設定メニューが表示されます。

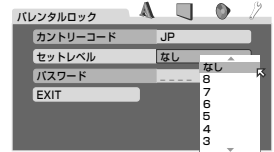
❷ [◀]/[▶]を押して「その他メニュー」に↖を合わせる

その他メニューが表示されます。

❸ [▲]/[▼]をくり返し押して↖を「パレンタルロック」に合わせ、[決定]を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

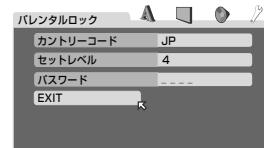
- はじめて設定するときは「カントリー」が選ばれます。

- 「パスワード」が選ばれたときは、数字ボタン(1〜9、0/11)を押して4ケタのパスワードを入力し、**[決定]**を押します。パスワードの入力を3回間違えると、「EXIT」が選ばれます。**[決定]**を押して、もう一度やり直してください。

❹ [▲]/[▼]を使って設定項目を選び、[決定]を押す

カントリーコード：

92ページの表を参考に**[▲/▼]**でカントリコードを選び、**[決定]**を押します。

セットレベル：

視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。**[▲/▼]**で数値(1〜8)または「なし」を選び、**[決定]**を押します。

パスワード：数字ボタン(1〜9、0/11)を押して4ケタのパスワードを入力し、**[決定]**を押します。

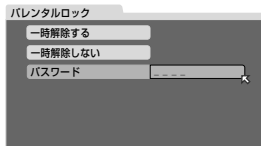
❺ 手順❹をくり返し他の項目を設定する

- パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

❻ [決定]を押す

パレンタルロックを一時解除する

パレンタルロックを厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。

<再生中に>

❶ 下の画面が表示されたら、▲/▼を使って☞を「一時解除する」に合わせ、決定を押す

☞が「パスワード」に移動します。

・「一時解除しない」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。**[取出し]**を押してディスクを取り出してください。

❷ 設定されているパスワードを数字ボタン(1〜9、0/11)を使って入力し、決定を押す

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

パスワードについて

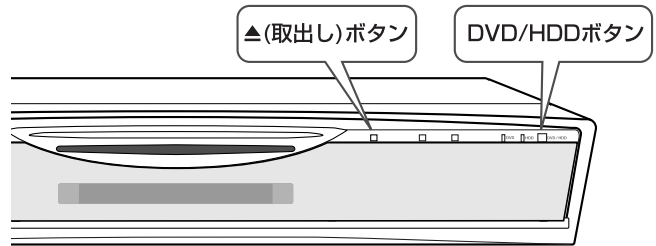
・現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。
・パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき☞は「EXIT」に移動し動かせなくなります。**[決定]**を押してもう一度最初からやり直してください。

チャイルドロックについて

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックをすることができます(チャイルドロック)。小さなお子さまがいるご家庭などで、誤操作を防ぎたいときお使いください。

<ディスクが入っているとき>

❶ 電源を「切」にする

❷ 本体の[DVD/HDD]を押しながら、本体の[⏏(取出し)]を押す

電源を「入」にして**[⏏(取出し)]**を押しても、本体表示窓に「LOCK」と表示され、ディスクが取り出せなくなります。

チャイルドロックを解除するには

もう一度手順❶❷の操作をくり返します。

カントリーコード一覧

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧です。

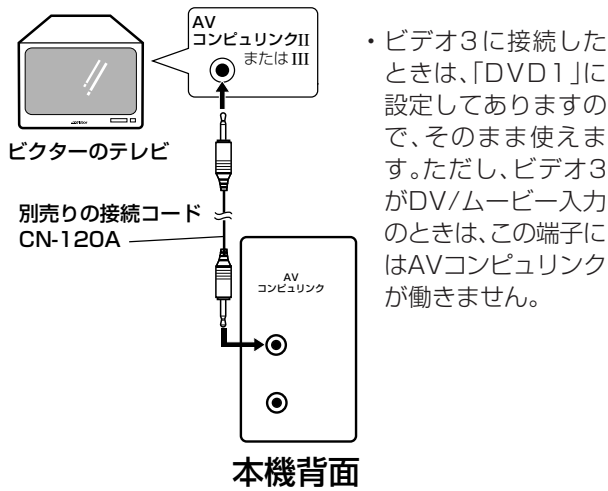
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

AVコンピュリンクの活用

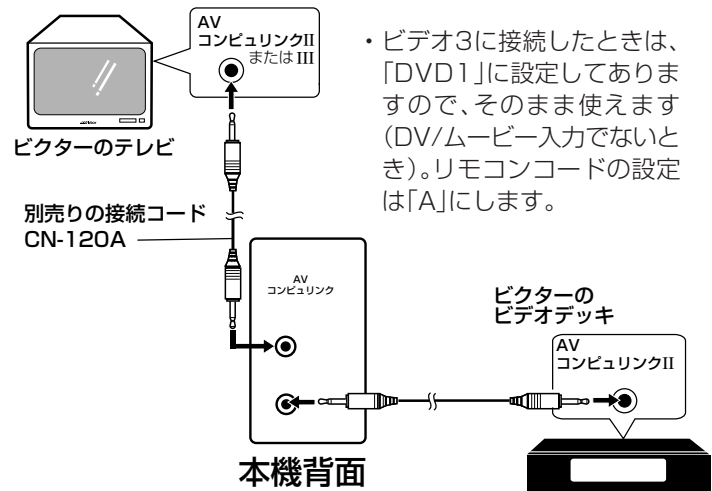
本機にテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどいくつかの機器をつないだあと、再生するための操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。ビクター製の機器をモノラルミニプラグ付きの接続コード（CN-120A：別売り）を使って各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPULINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

- 接続する前に、必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜いておいてください。すべての接続が終わってから電源を入れてください。
- AVコンピュリンクモードの設定（DVD1～DVD3 の切り換え）は、DVD設定メニュー画面（➡ **41**ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- **本機のAVコンピュリンク機能は、ソースがDVDプレーヤー側（➡ 23ページ）のときだけ働きます。**

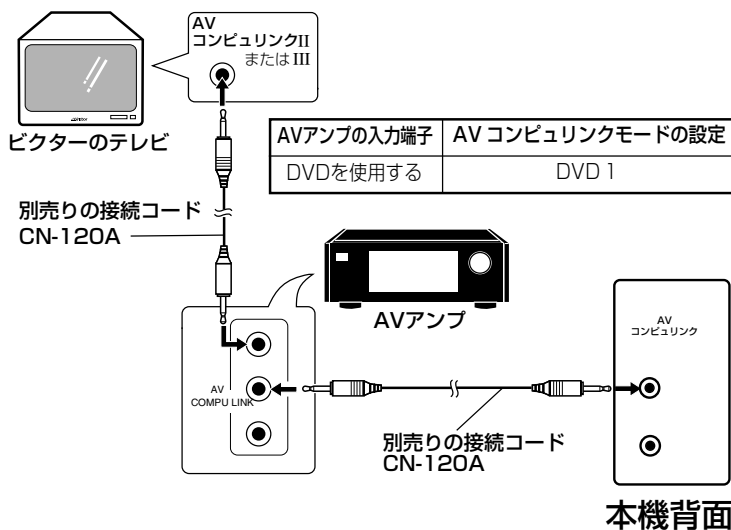
■ テレビとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ３に接続したときは、「DVD１」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ３がDV/ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	DVD２
ビデオ2のとき	DVD３

■ テレビおよびビデオカセットレコーダーとのAVコンピュリンク接続

- ビデオ3に接続したときは、「DVD１」に設定してありますので、そのまま使えます（DV/ムービー入力でないとき）。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ１のとき	DVD 2	B
ビデオ２のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

AVアンプの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD１

ご注意

- 本機からの音声出力をAVアンプにつなぐときは、AVアンプ側のDVD以外の音声入力端子に接続すると、AVコンピュリンクは正しく動作しません。
- D1/D2映像出力をテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

ソース機器（本機やビデオデッキなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1 テレビの主電源スイッチを「入」にする
2 ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる
3 ソース機器の[再生(►)]を押す

次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切り換えがソース機器を接続している外部入力（ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3）になります。
- AVアンプの電源が「入」になります。
- AVアンプのソース切り換えが**[再生(►)]**を押した機器に切り換わります。

AVアンプの電源を「入」にしたときは

AVアンプ側で選んだソースに応じた、テレビやソース機器の電源が「入」になります。（AVアンプ側で選んだソースが「DVD」のときAVアンプの電源を「入」にすると、本機ではDVDプレーヤーがソースとして選ばれて電源「入」になります）

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点検をしてください。下記の項目に当てはまらないときは、本システム以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、下記の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」（➡ **96**ページ）をお読みの上、修理を依頼してください。

HDDレコーダーについて

	症　状	処　置	参照ページ
一般	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか? ●コンセントを差し込んだあとは、すぐに電源が入りません。	– –
	チャンネルが変えられない	●録画中、再生中、時間差再生中はチャンネルを変えることはできません。	–
	リモコンが働かない	●リモコンコード(A/B/C/D)が合っていますか？ ●電池が消耗していませんか？	22、24
	ダビングできない	●正しい外部入力「F-1」、「L-1」「L-2」を選んでいますか？	71、72
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	●設定画面の「基本機能設定」➡「機能設定」➡「オンスクリーン」を「切」にしてください。	37
	ぴったりクロックが働かない	●地域選択後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、設定画面の「初期設定」➡「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	35
	リモコンの調子が悪い	●一度乾電池を取り出して、5分以上たってから再度乾電池を入れ、操作してください。または、新しい乾電池に交換してください。	22
再生	テレビに映像が出ない	●ビデオの入力を表示していますか？ 映像/音声入力端子付テレビ(AVテレビ)側で、本機を接続している外部入力に切り換えてください。	–
	早送り/早戻し再生中に映像が乱れる	●再生の速さを変えたり、スピードが切り換わる部分では、映像が乱れることがあります。故障ではありません。	–
	再生できない	●番組の終わり部分ではありませんか？ [画面表示]を押して確認してください。	64
	時間差再生できない	●設定画面の「HDD設定」➡「時間差再生」を「切」以外にしてください。	37
録画（映像）	希望の番組が録画できない	●チャンネルが合っていますか？ 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	26
	録画予約が設定できない	●日付と時刻を設定してありますか？	35
	録画予約を実行しない	●設定画面やさがす画面などを表示中は、録画予約を実行しません。 表示を消すと、消した時点から録画を始めます。 ●予約内容を確認してください。 ●停電があったときは録画予約を中断します。 停電から復帰したあとは録画を継続しません。	– 49 –
	Gコード予約ができない	●日付と時刻を設定してありますか？ ●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。 ●入力したGコードは正しいですか？	35 33 47
	本体表示窓に「ーー:ーー」を表示している	●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。	35
	録画予約中、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	●録画予約を32番組まで設定していませんか？ 予約内容を確認し、不要な予約を取消してから予約してください。	49
ナビゲーション	HDDナビゲーションにサムネイルが登録されない	●以下の場合は、サムネイルが登録されません。 ・HDD側で再生、時間差再生または録画中 ・HDD側で待機中のとき 録画終了後にサムネイルを修正してください。	54

・本機をお使いのとき、周期的な動作音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

DVDプレーヤーについて

	症　状	処　置	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントからはずれていませんか? ●コンセントを差し込んだあとは、すぐに電源が入りません。	― ―
リモコン操作	リモコンが動かない	●リモコンを受光部に向けて約5m以内で障害物を避けてお使いください。 ●電池を交換してください。 ●電池の極性(⊕、⊖)が違っていませんか？ 電池を正しく入れ直してください。 ●リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	― 22 22 ―
	テレビまたはビデオデッキが操作できない。	●入力した他メーカーのコード番号が間違っていませんか？ 正しいコード番号を入力し直してください。	24
音声	音が出ない	●オーディオコードを正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	18～21 11
	本体表示窓に「NO AUDIO」と表示され音が出ない	●再生中のディスクが不法なコピーディスクの可能性があります。 ディスクをお買い上げの店に確認してください。	―
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。	11
	テレビやHDDレコーダーの音声にくらべて、再生中の音量が小さい。	●DVD設定メニューで、Dレンジコントロールの設定を「TVモード」にしてください。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	41
映像	映像が出ない	●ビデオコードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しい入力を選び直してください。	― ―
	画面サイズがおかしい	●「TVタイプ」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	40
	映像が乱れる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか？ 本機とテレビを直接接続してください。 ●接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していないときに、本機でプログレッシブモードを選んでいる可能性があります。 本機のスキャンモードを「インターレース」に設定してください。	― 79
再生	「リージョンコードエラー！」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。ディスクを取り換えてください。	9
	再生ができない(本体表示窓に「0:00」と表示されて、再生が始まらない)	●ディスクを正しくセットし直してください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、数時間してからディスクを入れてください。 ●視聴制限が設定されていませんか？ パレンタルロックの設定を変更してください。 ●MP3ディスク/JPEGディスクの設定を正しく設定し直してください。	― 9 ― 8 90 40
	「言語メニュー」の設定項目が切り換えられない	●ディスクの再生を止めて「言語メニュー」の設定をしてください。	40
	音声言語/音声/字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、音声ボタンと字幕ボタンの操作を受け付けていません。字幕言語設定で切り換えてください。	― 40
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●「字幕言語」設定が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-Bリピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	― 40 ―
その他	ディスクが取り出せない	●チャイルドロックが設定されていませんか？ 本体表示窓に「LOCK」と表示されるときは、チャイルドロックが設定されています。本機の電源を「切」にして本体の[DVD/HDD]を押しながら本体の[▲(取出し)]を押し、チャイルドロックを解除してください。 ●[▲(取出し)]を押してディスクを取り出すときに、出てくる途中のディスクに触れると出てこなくなる場合があります。このようなときは、電源を「切」にして再度[▲(取出し)]を押してください。	91 73
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源「切」にして電源プラグを接続し直してください。	―

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

94、95ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ハードディスクレコーダー一体型DVDプレーヤー
型名	XV-HDV1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0155)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル１Ｆ
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
東海・北陸				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株）松江S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株）鳥取S.C.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市愨領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1102

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様

映像入力端子 入力感度 / インピーダンス

映像（コンポジット） L-1、L-2、F-1 ： 0.5V(p-p)/75Ω〜2.0V(p-p)/75Ω

S映像 L-1、L-2、F-1

Y入力 ： 0.8V(p-p)/75Ω〜1.2V(p-p)/75Ω

C入力 ： 0.2V(p-p)/75Ω〜0.4V(p-p)/75Ω

映像出力端子 出力レベル / インピーダンス

映像（コンポジット） L-1、L-2 ： 1.0V(p-p)/75Ω

S映像 L-1、L-2

Y出力 ： 1.0V(p-p)/75Ω

C出力 ： 0.286V(p-p)/75Ω

コンポーネント、D1/D2映像 Y出力 ： 1.0V(p-p)/75Ω

P_B/C_B、P_R/C_R出力 ： 0.7V(p-p)/75Ω

音声入力端子 入力感度 / インピーダンス

アナログ入力 L-1、L-2、F-1 ： 310mVrms/47kΩ

音声出力端子 出力レベル / インピーダンス

アナログ出力 L-1、L-2 ： (HDD) 310mVrms/10kΩ

(DVD) 2Vrms/10kΩ

デジタル出力（DVD） 光 ： −21dBm 〜 −15dBm （ピーク）

その他の端子 AVコンピュリンク (×2)

アンテナ端子

75Ω F型コネクター VHF/UHF 一軸

ハードディスク（映像/音声）

録画方式 映像 MPEG2 (VBR)

音声 MPEG1 Layer2

ハードディスク容量 80GB

最長録画再生時間 SP ：約20時間

LP ：約28時間

EP ：約56時間

SEP ：約80時間

チューナー（テレビ受信）

受信方式 周波数シンセサイザー方式

音声多重受信方式 インターキャリア方式

受信チャンネル VHF ：1チャンネル〜12チャンネル

UHF ：13チャンネル〜62チャンネル

CATV ：C13(63)チャンネル〜C63(113)チャンネル

CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

DVDプレーヤー

再生可能ディスク	DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3ディスク、JPEGディスク)、DVD-R/RW(ビデオフォーマット)
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式
水平解像度	500本
周波数特性	CD　：2Hz～20kHz（サンプリング周波数 44.1kHz） DVD：2Hz～22kHz（サンプリング周波数 48kHz） DVD：2Hz～44kHz（サンプリング周波数 96kHz）
ダイナミックレンジ	16bit、98dB以上 20bit/24bit、100dB以上(JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.002% W.PEAK)以下(JEITA)
全高周波ひずみ率	0.006%以下(JEITA)

タイマー（タイマー予約・時計）

タイマー予約	1年間32番組予約
時計	12時間(午前・午後)方式
停電補償時間	約60分

その他

電　源	AC 100V、50Hz/60Hz共用
消費電力	電源「入」時　35W 電源「切(待機)」時　10W
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	435mm×68mm×345.7mm
質　量	4.8kg

- JEITAは電子情報技術産業協会に定められた測定方法による数値です。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。
  外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This HDD Recorder/DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用語解説

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は4：3、ワイドテレビおよびHDテレビの横：縦は16：9の比率をもっています。

一括チャンネル合わせ
本機に記憶されている地域ごとのチャンネルプリセットを利用してチャンネルを設定する機能です。チャンネルと同時に、ガイドチャンネルも設定されます。

オートCMスキップ
二重音声・モノラル放送の番組を録画するときにコマーシャル部分（ステレオ放送）を検出して、自動的にマークします。再生時に、このマーク部分でコマーシャルを自動的にスキップする機能です。

オートチャンネル合わせ
現在の受信状態からチャンネルを設定する機能です。十分な受信感度がないチャンネルは設定されない場合があります。ガイドチャンネルは、手動で設定する必要があります。

おまかせ毎週予約
同じ曜日の同じ時間に放送される番組を録画するのに適した方法です。ハードディスク上に番組1回分の録画領域だけが確保され、録画内容が毎週更新されていきます。

おまかせ毎日予約
毎日同じ時間に放送される番組を録画するのに適した方法です。ハードディスク上に番組1回分の録画領域だけが確保され、録画内容が毎日更新されていきます。

か

ガイドチャンネル
Gコード®を使って録画予約する場合に必要なチャンネル番号です。実際のチャンネルとは異なることがあります。

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

片面ディスク
DVDディスクのうち、信号読み出し面が片面のみのものをいいます。片面1層と片面2層があります。

コンポジット
輝度信号と色信号を周波数多重技術で複合した映像信号と、色の基準となるバースト信号、同期信号を組み合わせた複合映像信号のことです。

コンポーネント
光の3原色からなる映像信号を再現するために必要な情報の一部を、各々別の信号線で伝送するビデオ信号方式のことです。R/G/BやY/C_B/C_Rなどの信号形式があります。

さ

再生可能地域管理（リージョンコード）
あらかじめ設定された地域についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を8つの地域に分け、これに各地域番号（リージョン番号）をつけ識別します。ディスクに設定された再生可能地域番号の中に、プレーヤーに付与された地域番号と合致する番号があれば、プレーヤーはこのディスクを再生できます。

さかのぼり録画
オンエア（現在受信中の映像）を見ているときに、一時録画内の時間をさかのぼって録画する機能です。

サムネイル
録画した番組の見出し用の静止画です。

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号に変換する際の標本化周波数のことです。1秒間に何回の割合で、もとのアナログ信号を標本化し、デジタル信号に変換するかを数値で表したものです。

時間差再生
本機では、通常の録画以外にハードディスクに録画領域（仮想領域）を確保して受信放送や外部入力の映像を設定時間内で一時的に録画することができます。その一時録画を利用して映像を再生することを時間差再生といいます。

色差信号
R/G/Bのそれぞれの信号から輝度信号（Y信号）を引いた信号で、色相と色の濃さを表す信号をいいます。

た

ダウンミックス
サラウンド方式(3ch以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2ch音声に変換して再生する機能をいいます。一般には、信号チャンネル数よりもスピーカーの数が少ないときに行われるミキシングのことです。

チャプター
タイトル内の各章のことです。

チャンネルスキップ
不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを選べるようにするかどうかを設定する機能です。

チャンネル表示
本機では受信チャンネルのチャンネル表示番号を変更することができます。たとえば、1～12の間に空き番号がある場合に、CATVのチャンネルなどの表示番号を設定し、ワンボタンでチャンネルを合わせることができるようになります。「一括チャンネル合わせ」または「オートチャンネル合わせ」をしたあとに設定します。

ディスクメニュー
DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ドルビーデジタル
家庭用デジタルサラウンド方式として開発されたドルビーデジタル(AC-3)方式のことをいいます。最大フロント3ch、リア2chおよびサブウーハー0.1chで構成される5.1chが特長です。

は

パレンタルロック
映像および音声の内容が視聴者に対して適切なものかどうか(たとえば教育上好ましくないシーン等に対して)を、あらかじめソフトに設定されたパレンタルレベルと、本システムに視聴者が設定した再生可能パレンタルレベルの上限とを照らし合わせ、本システムが自動的に判断し再生する機能です。

ぴったりクロック
テレビ放送の時報に合わせて内蔵時計の誤差を自動修正する機能です。本機の電源が「切」でも一時的に電源が「入」になり修正します。

ビットレート
1秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のことです。本システムではMP3再生時に、録音時のビットレートを表示します。

プレイリスト
録画した番組やその情報を一切変えないで、番組中のシーンを時間単位で指定して再生する機能です。1つのプレイリストに、複数のシーンを複数の番組から登録することで、名場面集などを作成することができます。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

ま

マルチアングル
DVDビデオの一つのタイトルの中に、同一時間で進行する複数の場面を収録し、これをユーザーの操作により切り換えて視聴できるようにした機能です。

マルチチャンネル
DVDビデオでは、一本の音声トラックで一つの音場を構成するように定められていますが、このうち3つ以上のチャンネルをもった音声トラックの構成をいいます。

マルチランゲージ
一つのタイトルが複数の言語に対応して制作されていることを一般的にマルチランゲージといいます。

ら

リニアPCM音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮をまったくしない方式のことです。

両面ディスク
DVDディスクのうち、信号読み出し面が両側のものです。反対の面を再生するには、ディスクを裏返す必要があります。

レターボックス
4:3テレビに映画などの横長の画像を欠けることなく映し出すために画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出す手法です。

画面が文字通り郵便受けに似ていることから名付けられたものです。

録画一時停止
本機では現在受信中の放送を録画する場合(一時録画を含む)、再生映像を一時停止することはできますが、録画は続きます。ダビングなどで、外部入力を選んでいる場合には、録画一時停止することができます。

録画フォーマット
ハードディスクへの録画形式は、DVDビデオなどと同じMPEG2フォーマットを使っています。

画質の目安は1秒間にどれくらいのデータ量を記録できるかを示す単位(bps:bit per second)を使います。この数値が大きい方が画質に有利になりますが、記録するために必要な容量も大きくなります。

アルファベット

CMスキップ
再生中にボタンを押して映像を30秒ぶん先にスキップさせる機能です。

HDDナビゲーション
ハードディスクに録画した番組には、録画日時、チャンネル、モード、サムネイルなどのさまざまな情報が登録されます。本機ではHDDナビゲーション機能を使って、これらの情報を番組とともに一括管理して、番組の検索や情報の修正などをスムースにおこなうことができます。

用語索引

ア

カ

サ

タ

ハ

マ行

ラ

ワ

数字・アルファベット

別売りのオプション品

- 光デジタルケーブル ：XN-110SA
- 音声コード（RCAピンプラグコード） ：CN-510E
- 映像コード（RCAピンプラグコード） ：VX-110E
- S映像コード ：VC-S110E
- コンポーネント映像コード（Dプラグ～ピンプラグ×3） ：VX-DS210
- D映像接続コード（Dプラグ～Dプラグ） ：VX-DS110
- 接続コード（ミニプラグ） ：CN-120A
- アンテナコード ：VX-22A（UHF/VHF用）
- アンテナコード変換アダプター ：VZ-71
- DVDレンズクリーナー ：CL-DVDL

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
97ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京 ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV & マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0303KTYMDWJEM